

**平成26年** (2014年)

**久米島町議会会議録**

第3回臨時会 (5月20日)	1日間
第4回定例会 (6月12日～13日)	2日間

**久米島町議会**

## 目 次

目 次	I
平成26年第3回久米島町議会臨時会会期日程	III
平成26年第4回久米島町議会定例会会期日程	IV
平成26年第4回定例会一般質問通告一覧表	V

### 〈平成26年第3回久米島町議会臨時会（5月20日）〉

#### 第1号（5月20日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 承認第1号 専決処分について（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	4
日程第4 議案第31号 球美中学校9号棟建築工事請負契約について	4
日程第5 議案第32号 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約について	5
日程第6 承認第2号 専決処分について（久米島町税条例等の一部を改正する条例）	6
日程第7 承認第3号 専決処分について（久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例）	7
日程第8 同意第2号 副町長の選任について	8
閉会	10

### 〈平成26年第4回久米島町議会定例会（6月12日）〉

#### 第1号（6月12日）

出席議員	13
議事日程第1号	14
開会	15
日程第1 会議録署名議員の指名	15
日程第2 会期の決定	15
日程第3 議長諸般の報告	15
日程第4 一般質問	18
散会	76

〈平成26年第4回久米島町議会定例会（6月13日）〉

第2号（6月13日）

出席議員	79
議事日程第2号	80
開会	81
日程第1 会議録署名議員の指名	81
日程第2 議案第33号 平成26年度久米島町一般会計補正予算（第1号）について	81
日程第3 議案第34号 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） について	98
日程第4 議案第35号 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	99
日程第5 議案第36号 久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例に ついて	99
日程第6 議案第37号 仲原家設置条例について	100
日程第7 議案第38号 議決内容の一部変更について	105
日程第8 議案第39号 ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について	105
日程第9 報告第2号 平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書について	108
日程第10 報告第3号 平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書 について	109
日程第11 同意第3号 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について	109
日程第12 同意第4号 教育委員会委員の任命について	110
日程第13 同意第5号 教育委員会委員の任命について	111
日程第14 同意第6号 監査委員の選任について	112
日程第15 選挙第1号 久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	113
閉会	113

## 平成26年第3回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会      平成26年5月20日（火）  
 閉 会      平成26年5月20日（火）      会期1日間

月 日	曜日	会議区分	開 議 時 刻	摘 要
5月20日	火	本 会 議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開会</li> <li>○会議録署名議員の指名</li> <li>○会期の決定</li> <li>○議案審議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第31号 議案第32号</li> <li>承認第2号 承認第3号</li> <li>同意第2号</li> </ul> </li> <li>○閉会</li> </ul>

## 平成26年第4回久米島町議会定例会 会期日程

開 会      平成26年6月12日（木）  
 閉 会      平成26年6月13日（金） 会期2日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
6月12日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 会期の決定</li> <li>○ 議長諸般の報告</li> <li>○ 一般質問</li> <li>○ 散会</li> </ul>
6月13日	金	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開議</li> <li>○ 会議録署名議員の指名</li> <li>○ 議案審議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第33号   議案第34号   議案第35号</li> <li>議案第36号   議案第37号   議案第38号</li> <li>議案第39号</li> <li>同意第4号   同意第5号   同意第6号</li> <li>報告第2号   報告第3号</li> <li>選挙第1号</li> </ul> </li> <li>○ 閉会</li> </ul>

平成26年第4回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	幸地猛議員	1. 久米島町第2次総合計画策定について	18p～22p
2	仲村昌慧議員	1. 県議会議員の選挙区について	22p～27p
		2. 教科書の採択について	
3	玉城安雄議員	1. 久米島高校園芸科の廃科、島留学における里親制度に対する町の対応について	27p～37p
		2. 航空路線問題について	
		3. 通学路の街灯設置について	
4	翁長学議員	1. 宇江城、比屋定地内の農道整備計画は	37p～39p
5	棚原哲也議員	1. 高速船の早期導入について	39p～47p
		2. 日台漁業協定及び日中漁業協定について	
		3. 仲原家の利活用について	
6	島袋完英議員	1. 現代版組踊笠末若茶良の公演について	47p～60p
		2. 地域公民館の活性化で福祉向上を	
7	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	60p～68p
		2. コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林の植栽について（河川等を含む）	
		3. 真謝、天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀について	
		4. 久米島一周線謝名堂から泊間の拡張工事について	
8	平良義徳議員	1. 旧久米島中学校跡地について	68p～72p
9	饒平名智弘議員	1. 保育士や幼稚園教諭採用をすべきでないか	72p～76p

平成26年（2014年）

## 第3回久米島町議会臨時会

1 日 目

5 月 20 日

平成26年第3回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年5月20日(火)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	5月20日 午前9時57分	議長	喜久里 猛
	閉会	5月20日 午前10時33分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員  出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	13番	玉城 安雄	1番	棚原 哲也
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	保久村 学	
副町長		環境保全課長		
教育長		建設課長		
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長	上原 厚	消防長		
福祉課長	田端 智	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者				

平成26年 第3回久米島町議会臨時会

議事日程 [第1号]

平成26年5月20日(火)

午前9時57分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	3 p
第2		会期の決定について	3 p
第3	承認第1号	専決処分について(久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	4 p
第4	議案第31号	球美中学校9号棟建築工事請負契約について	4 p
第5	議案第32号	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約について	5 p
第6	承認第2号	専決処分について(久米島町税条例等の一部を改正する条例)	6 p
第7	承認第3号	専決処分について(久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例)	7 p
第8	同意第2号	副町長の選任について	8 p
		閉会	10 p

(午前 9時57分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。会議を始める前に今回、町長に就任されました大田治雄町長に一言お祝いのことばを申し上げます。この度の町長就任おめでとうございます。

久米島町の第3代町長として、島の振興と住民福祉の向上に頑張ってくださいよう衷心よりお願い申し上げます。

議会としまして、町から提案された付議事件については十分に検討を加え、町民福祉の向上に努めてまいりたいと思います。これからの4年間公約の実現など取り組まなければならない行政課題が山積しています。健康に留意され、町政運営にあたっていただきます。

それでは、大田治雄町長から、町長就任、初議会にあたり、就任あいさつの申し出がありますので、これを許します。

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

おはようございます。この度の町長選挙において、私5月12日に無投票当選というかたちでの就任に至りましたが、その間、議会の皆さん、そして役場職員の皆さん、地域の皆さんのたくさんの支援をいただき、無事当選することが、私としてもたいへん喜んでおります。これから4年間、私は立候補にあたっては6本の基本政策を掲げて立候補しました。まず、1つには1次産業の復活。2番目には教育の再生。3番目には観光産業の再生。そして4番目には福祉の充実。5番目には公共事業の推進。そして、6本目の次世代産業の誘致による雇用の創出。

細かいものについては、6月定例会で施政方針として詳細については皆さんに申し上げ

たいと思います。

これから4年間、新たに副町長人事も決定されるかと思っていますので、スクラムを組み、久米島の振興発展のために、そして町民一人ひとりが幸せを感じるような久米島町づくりを邁進してまいりたいと思います。

どうか、議員の皆さんも、また執行部、そして町民の皆さん、いろんなかたちで、それぞれスクラムを組んで繁栄のために頑張っていきたいと思います。どうか、よろしく願いします。

○ 議長 喜久里猛

これで町長の就任あいさつを終わります。

ただいまから平成26年第3回臨時議会を開会いたします。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、13番玉城安雄議員、1番棚原哲也議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りします。

本臨時会の会期は、本日5月20日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、会期は本日の1日間に決定しました。

**日程第3 専決処分について（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）**

○ **議長 喜久里猛**

日程第3、承認第1号、専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
大田治雄町長。

（大田治雄町長登壇）

○ **町長 大田治雄**

お配りした資料の順番がちょっと入れ替えがありますのでよろしくお願ひします。

それでは、承認第1号、専決処分の承認について。地方自治法第179条第1項の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、議会の承認を求めらる。

平成26年5月20日

久米島町長 大田治雄

次ページに、専決1号、専決処分の文面の内容を添付しております。そして、条文についてはその次のページにおいて、改正前、改正後、それぞれの条文の中で下線の引かれた箇所が今回の改正内容の箇所になります。条文の朗読については省略します。ご審議よろしくお願ひいたします。

○ **議長 喜久里猛**

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ **議長 喜久里猛**

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ **議長 喜久里猛**

討論なしと認めます。

これから承認第1号、専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

（挙手全員）

○ **議長 喜久里猛**

全員挙手です。従って、承認第1号、専決処分（久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）については原案のとおり可決されました。

休憩します。（午前10時4分）

○ **議長 喜久里猛**

再開します。（午前10時4分）

**日程第4 球美中学校9号棟建築工事請負契約について**

○ **議長 喜久里猛**

日程第4、議案第31号、球美中学校9号棟建築工事請負契約についてを議題といたします。本案について、提案理由の説明を求めます。大田治雄町長。

（大田治雄町長登壇）

○ **町長 大田治雄**

議案第31号、球美中学校9号棟建築工事請負契約について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求めらる。

記

1. 契約の目的 球美中学校9号棟建築工事

2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 232,200,000万円
4. 契約の相手方

住所 久米島町字大田565番地

称号 久米建設株式会社

氏名 代表取締役 宇禄 弘

平成26年5月20日提出

久米島町町長 大田治雄

提案理由

球美中学校9号棟建築工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由であります。

次ページに請負契約の契約書の写しを添付しています。その次に今回の建築の平面図を添付しています。なお、今回の入札においては、建築業者の資格社9社を指名し、その内の久米建設、宇禄弘さんが2億1千500万円で、これは消費税抜きです。落札率が99.23%となっています。以上が、この案件の説明になります。よろしくお願ひします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

休憩します。(午前10時6分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時7分)

(「進行」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、議案第31号、球美中学校9号棟建築工事請負契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひます。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第31号、球美中学校9号棟建築工事請負契約については原案のとおり可決されました。

#### 日程第5 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約について

○ 議長 喜久里猛

日程第5、議案第32号、海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約についてを議題とします。本案について、提案理由の説明を求めます。大田治雄町長

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

議案第32号、海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約について。海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項5号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 74,304,000円
4. 契約の相手方

住所 沖縄県島尻郡久米島町字嘉手苺156

番地

商号 有限会社 比嘉組

氏名 代表取締役 比嘉政弘

平成26年5月20日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由

海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

次ページに請負契約の写しを添付しております。その次に、計画平面図を添付しております。なお、今回の入札に当たっては先ほどの案件と同じで9社を指名し、その内の比嘉組比嘉政弘さんが、落札率98.8%で落札しています。以上となっております。ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 1番 棚原哲也議員

この図面の中で、冷熱農業研究ハウス、これは実線で引かれた部分と点線で文字が入ってない部分もあるんですけども、これも含めて全体がその対象になるのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今回の工事で対象になるのは、この全体配置図の左側に栽培室A棟、栽培室B棟、栽培室C棟の3棟がございますが、この3棟のみ

でございます。その右側に点線であるのは、研究所の将来計画の図面となっております。以上でございます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第32号、海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約についてについてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第32号、海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証施設工事請負契約については原案のとおり可決されました。

日程第6 専決処分について(久米島町税条例等の一部を改正する条例)

○ 議長 喜久里猛

日程第6、承認第2号、専決処分(久米島町税条例等の一部を改正する条例)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

承認第2号、専決処分の承認について。地方自治法第179条第1項の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の

規定によりこれを報告し、議会の承認を求め  
る。

平成26年5月20日提出

久米島町長 大田治雄

次ページに専決第2号の専決処分書の内容  
等を添付しております。その次に条文の改正  
箇所、これも改正前、改正後、それぞれ下線  
の引かれた箇所が今回の改正内容となりま  
す。条文の朗読については省略します。ご審  
議よろしくお願いたします。

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、承認第2号、専決処分（久米島  
町税条例等の一部を改正する条例）について  
を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の  
方は挙手願います。

（挙手全員）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、承認第2号、専決  
処分（久米島町税条例等の一部を改正する条  
例）については原案のとおり可決されました。

日程第7 専決処分について（久米島町固  
定資産税の課税免除の特例に関  
する条例の一部を改正する条  
例）

○ 議長 喜久里猛

日程第7、承認第3号、専決処分（久米島  
町固定資産税の課税免除の特例に関する条例  
の一部を改正する条例）についてを議題とし  
ます。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

（大田治雄町長登壇）

○ 町長 大田治雄

承認第3号、専決処分の承認について。地  
方自治法第179条第1項の規定に基づき、別  
紙のとおり専決処分したので、同条第3項の  
規定によりこれを報告し、議会の承認を求め  
る。

平成26年5月20日提出

久米島町長 大田治雄

次ページに、専決第3号、専決処分書の内  
容等を明記した資料を添付しております。そ  
の次が条文の改正内容、これも改正前、改正  
後、それぞれ下線の引かれた箇所が今回の改  
正部分となります。ご審議よろしくお願  
いたします。

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから、承認第3号、専決処分（久米島  
町固定資産税の課税免除の特例に関する条例  
の一部を改正する条例）についてを採決しま

す。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、承認第3号、専決処分（久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例）については原案のとおり可決されました。

日程第8 副町長の選任について

○ 議長 喜久里猛

日程第8、同意第2号、副町長の選任についてを議題とします。

本件は桃原秀雄総務課長に係わる付議事件でありますので、審議の都合により、桃原秀雄総務課長の退席をお願いします。

休憩します。(午前10時12分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時12分)

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

同意第2号、副町長の選任について。久米島町副町長に下記の者を選任したいので、地方自治法162条の規定により、議会の同意を求める。

記

住所 沖縄県島尻郡久米島町字宇根1751番地

氏名 桃原秀雄(とうばるひでお)

生年月日 昭和34年7月30日生

平成26年5月20日

久米島町長 大田治雄

提案理由

副町長の選任について、地方自治法第162条の規定に基づき、議会の同意を得る必要がある。

次ページ目をお開きください。略歴書でございますが、彼は、昭和53年久米島高等学校を卒業し、そして57年3月に沖縄国際大学を卒業しております。そして平成元年4月1日に役場の採用となり、これまで長年、行政経験が豊富で、そして主な役職としても、昭和59年から仲里村青年団協議会の会長、そして平成5年より仲里村体育協会事務局長、そして平成20年には仲里小学校のPTA会長、そして平成22年4月より、久米島PTA連合会の会長等も務めています。

非常に適任な方と思って私は指名しておりますので、ご審議よろしくお願ひいたします。

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

それでは仲村昌慧議員。賛成？ 反対？

○ 12番 仲村昌慧議員

賛成です。

○ 議長 喜久里猛

反対討論ありますか。

それでは、仲村昌慧議員、賛成討論をお願いします。

○ 12番 仲村昌慧議員

同意第2号、副町長の選任について、賛成

の立場で討論いたします。

提案されています桃原秀雄氏は、平成元年に役場入りして、これまで長年役場の職員として頑張ってきておられます。行政経験が、いま町長から述べられたとおり豊かで、識見も豊富で、人格が高潔であります。

特に、教育関係にも長年務めておりますし、それからPTA会長、久米島の連合会の会長など、教育関係には積極的に取り組んでこられております。本人も教育に力を入れたいという豊富を述べておりましたし、非常に期待が持てます。

それから町長は初登庁の就任のあいさつのときに、町議会、そして役場職員とともに力を合わせて公約を実現したいと述べております。桃原秀雄氏は5年間議会事務局に勤めておまして、議会の立場から行政を見る経験をして、議会を最も理解している方だと思います。そして、総務課長として1年2ヵ月ですか、役場職員をまとめてきておりますし、町長の公約実現のために力を十分発揮して、町長を支えてくれるものと信じております。副町長として最適任であります。よって、私は本案に賛成するものであります。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

これで討論を終わります。

これから同意第2号、副町長の選任についてを採決します。

本案の採決は無記名投票で行います。

議場の出入り口を閉鎖します。

休憩します。(午前10時21分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時22分)

ただいまの出席議員数は13人です。

次に立会人の指名を行います。

会議規則第32条第2項の規定によって、13番玉城安雄議員、1番棚原哲也議員を指名します。

投票用紙を配ります。

投票用紙、全部、届いてますか。

念のため申し添えます。本案に賛成の方は「賛成」、反対の方は「反対」と記入お願いします。なお、白票については会議規則第84条により反対と見なされますので注意してください。

投票箱を点検します。

休憩します。(午前10時25分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時26分)

異常なしと認めます。

事務局長が氏名を読み上げますので順番に投票していただきます。

それでは氏名を読み上げますので順次投票をお願いします。

○ 事務局長 仲地泰

それでは、1番棚原哲也議員からお願いします。

続きまして、2番幸地猛議員お願いします。

次に、3番平良義徳議員お願いします。

次に、4番翁長学議員お願いします。

次に、5番宇江原総清議員お願いします。

次に、6番安村達明議員お願いします。

次に、7番喜久村等議員お願いします。

次に、8番島袋完英議員お願いします。

次に、9番崎村正明議員お願いします。

次に、10番饒平名智弘議員お願いします。

次に、11番山里昌輝議員お願いします。

次に、12番仲村昌慧議員お願いします。

次に、13番玉城安雄議員お願いします。

○ 議長 喜久里猛

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。

これで投票を終わります。

これから開票を行います。

玉城安雄議員、棚原哲也議員、開票の立ち会いをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

投票の結果を報告します。

投票総数13票。有効投票数13票。無効投票数0。

有効投票の内、賛成13票。反対0票。以上のとおり全員賛成です。従って、同意第2号、副町長の選任については可決されました。

議場の閉鎖を解きます。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時会に付議されました事件は全て終了しました。

これで、平成26年第3回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時33分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号13番） 玉城 安雄

署名議員（議席番号1番） 棚原 哲也

平成26年（2014年）

# 第4回久米島町議会定例会

1 日 目

6 月 12 日

平成26年第4回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年6月12日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	6月12日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	散会	6月12日 午後4時36分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員  出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	2番	幸地 猛	3番	平良 義徳
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	上里 浩	
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長	保久村 学	
教育長	比嘉 隆	建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	津波 実	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	真栄平 建正	
税務課長	上原 厚	消防長	上江洲 勝志	
福祉課長	田端 智			
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第 4 回久米島町議会定例会

議事日程 〔第 1 号〕  
 平成26年 6 月12日 (木)  
 午前10時00分 開 会

日程	議案番号	件 名	頁
第 1		会議録署名議員の指名（久米島町議会会議規則第120条）	15p
第 2		会期の決定	15p
第 3		議長諸般の報告	15p
第 4		一般質問	18p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。会議を開く前に報告します。本日は内山幹雄さん、智子さんご二人が議会傍聴の申し入れがありましたので許可しました。お二人には傍聴規約を守っていただいて傍聴していただきたいと思ひます。

ただいまから平成26年第4回久米島町議定例会を開会します。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、2番幸地猛議員、3番平良義徳議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を行います。

お諮りします。本定例会の会期は本日6月12日と6月13日の2日間としたいと思ひます。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。したがって、会期は本日6月12日と6月13日の2日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成26年3月24日から私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成26年3月以降の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略いたします。

これで諸般の報告を終わります。

これから大田治雄町長の所信表明があります。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

まず、はじめに今回の施政方針の資料配布、私が公務出張で調整期間が少なかったということで配布の時期が遅れたことに対しては誠に申し訳なく思っております。すみませんでした。

それでは、所信表明。

はじめに、平成26年6月定例議会の開会にあたり、町政運営に対する私の所信を申し上げます。

平成24年度にスタートした沖縄振興特別推進交付金制度及び政府の経済政策により、沖縄県における現在の景気は拡大傾向にあります。特にLCC就航による航空路線の拡充や円安の効果により、観光産業が好調に推移しています。また個人消費も消費税増税があったものの売り上げは前年を上回る伸びを示しております。

久米島町においては、沖縄振興特別交付金いわゆる一括交付金を活用して農水産業、商工観光業、建設業、福祉、教育分野などにお

いてこれまで制度的に困難であった事業に対して予算充当が可能となったことにより、町内の景況感の改善に繋がることが期待されております。しかし、一括交付金制度は10年間の期限付き制度であり、短期間の内に持続可能な地域社会をいかに構築するか、その真価が問われております。

ご存じのように、久米島町は経済活動の基盤となる人口が平成6年に1万人を割り込んでから毎年平均で約80人ずつ人口が減り、平成26年5月末現在で8,341人になっております。この20年間で1,600人も人口減少したことになりますが、久米島を含む離島地域において人口減少の主たる原因、要因は「少子高齢化」のみで捉える傾向がみられますが、本町においては、転入、転出等の社会動態に大きな差が生じていることが人口減少の主たる原因となっております。

このような状況にいかに対処するのか、私は100年の大計で望む必要があると考えています。いかに久米島に人を呼び込み、定住人口を増やしていくか、戦略の立案が必要です。そのためには他地域と同じ事をやっても効果はありません。久米島がもつ最大限の魅力、豊かな自然とくらしの知恵を融合させて、未来を見据えた世界に一つだけの「いのち輝く島」久米島を町民のみなさまと共につくっていきたくと考えております。

具体例を申し上げますと、現在、世界で唯一、試験運転実施中の海洋温度差発電の実用化に向けて、その前提となり国が推進する「海洋エネルギー実証フィールド」を久米島へ誘致します。また、海洋温度差発電を皮切りに再生可能エネルギーを活用して、エネルギー自給率を100%の島を目指すとともに琉球大

学、佐賀大学などの大学、研究機関と連携を図りながら海洋資源を活用した新たな産業の創出に積極的に取り組んでまいります。

次に、議案審議の前に、先の3月定例議会において方針が示された平良前町長の政策を踏襲ととしつつ、各分野についての私の所信・方針を述べます。

まず最初に、産業の振興。

本町の基幹産業の一つであるサトウキビについては、増産基金の活用により耕作放棄地の解消、肥培管理の徹底、病虫害防除、収穫体制の強化などにより生産拡大を図ってまいります。

次に、畜産については、関係機関が連携を図りながら久米島ブランド牛としての定着を図られるよう家畜共済掛金助成事業、優良雌牛自家保留支援事業、優良雄牛導入支援業などに取り組んでまいります。

次に、野菜栽培については、病虫害の駆除を実施しつつ、生産拡大を図るため小規模ハウスを導入します。また花卉については、安定的な出荷ができるよう集出荷場の冷蔵庫を整備します。

漁業については水産物の安定生産を図るための保存施設や水産物加工施設及び直売所を整備します。

観光産業については、高速船の導入推進、周辺離島への周遊航路開設、滞在体験プログラムの充実及び全島Wi-Fiを活用した観光利便性向上により観光入客数の増加を図ってまいります。

次に、商工業については、町商工会との連携を強化しながら新商品開発や新たな販路開拓も視野に積極的に施策展開を実施してまいります。

## 2 番目の教育・文化の振興。

久米島の未来は人づくりがもっとも重要だと考えております。学力向上に向けた支援及び公立図書館、町営塾などの教育環境整備に取り組んでまいります。またグローバル化に対応できる人材を育てるため、久米島町の姉妹都市提携先であるハワイ郡をはじめとする地域、海外へ積極的に生徒を派遣してまいります。

久米島高校については、高等教育だけでなく町の農商工の担い手育成の観点からも重要な教育施設であり、久米島経済の根幹をなすものと考えております。少子化による生徒数の減少は、園芸科の廃科という問題を抱えておりますが、学校現場と地域を連携して魅力化を推進し、島外を含めた入学生の増加を図ってまいります。

文化振興について、久米島は琉球王朝や大陸文化の影響を受けく民俗芸能や古典民謡などが古くから受け継がれています。このような無形文化資産の継承を図るため古典民謡大会や民族芸能大会の開催、また島の歴史を題材にした現代版組踊の実演などにより、児童生徒をはじめとした町民が自らの地域の歴史に誇りを持てる気運を醸成してまいります。

## 3 番の福祉の充実。

町民福祉につきましては、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

保健医療については、医療機関と連携して、「久米島町健康プロジェクト」を推進して健康で長寿の島づくりを目指します。

また、児童福祉については、認可保育所の

支援強化により待機児童ゼロを目指します。

高齢化福祉については、高齢化率25%という超高齢化社会が到来し、独居老人や老人夫婦世帯の増加、また、介護を要する方や認知症の方等の高齢化の問題が重要な課題となっております。社会福祉協議会や介護事業所等の関係機関と連携して事業推進を図ってまいります。

## 4 番目の環境保全。

豊かな自然環境の保全を快適で潤いのある社会環境をつくるため、ごみ等廃棄物の減量化や適正処理及び不法投棄対策の監視及び回収等に努めてまいります。また、赤土流出防止については、「ホタル飛び交う豊麗しの島」にふさわしい河川・水辺環境をつくるため、南部保健所などの関係機関と連携・協力し、引き続き監視体制及び指導強化を行います。

緑化推進については、クメノサクラや久米紅等の花木を保護増殖し、島の在来花木を年中楽しむことができる環境を整備してまいります。

## 5 番目の生活基盤の整備。

町民の生活・福祉の向上及び産業振興の基盤となる町道、農道、漁港等の整備を積極的に進めると同時に県で事業実施しております県道整備、港湾整備、河川整備、排水路整備、水質保全についても積極的に取り組んでまいります。

また、安心して使える水を確保・供給し環境にも配慮した上下水道事業を推進してまいります。

以上、平成26年度の町政運営にあたり、私の所信について述べてまいりました。世界の経済情勢、パワーバランスはめまぐるしく変化し、混沌していますが、外的要因にも強く

小さな島であっても持続可能な社会を実現するためには、町民の皆様とともに知恵を出し合い、協力しながら行う協働のまちづくりが求められます。

明るいまちの未来をつくるため、町民の皆様、そして議員各位のご理解、ご協力をお願いして、私の所信表明といたします。

平成26年6月12日

久米島町長 大田治雄

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで町長の所信表明を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第4、ただいまから一般質問を行います。一般質問の時間は会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。それでは順次発言を許します。

2番幸地猛議員。

(幸地猛議員登壇)

○ 2番 幸地猛議員

おはようございます。2番幸地です。通告書に従って、これより一般質問を行ってまいりたいと思います。

久米島町第2次総合計画策定について。久米島町総合計画策定は、当然、昨年度策定されて、そして町民に公表され、今年度から町のあらゆる施策の基本となり、久米島町の有るべき姿こうだよということで、町政への指針となり得るものだと思います。そこでその策定が遅れた理由は。

2点目に、第1次総合計画の点検はどうなっているか。

3点目に、総合計画は、町民の声を反映す

べきだと思うがどういう方法で行うか。

4点目に、策定スケジュールはどうなっているか。

5点目に、策定年月はということですか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの幸地議員のご質問にお答えいたします。

久米島町第2次総合計画策定について。

(1)平成24年度スタートした一括交付金の計画策定や申請、事務調整等の為に不測の時間を要した為、総合計画の策定への取組が遅れている状況であります。

2番目の第1次総合計画の点検はどうなっているかですが、これから町内で、後期5カ年間で実施した事業や目標・指標等の点検、評価を行い、その後さらに、まちおこし委員会等での点検・評価を実施し、審議会へ報告する予定であります。

次に(3)番、総合計画には町民の声を反映すべきだと思うがどういう方法で行うか。計画に町民の声を反映させることにつきましては、第1次の計画策定時と同様、重要なポイントと位置づけております。地域懇談会の開催、各種団体へのヒアリングの実施。まちおこし委員会等、委員の公募等を予定しております。

(4)番、策定スケジュールは、10月中旬までに1次構想・計画の点検を完了し、12月議会において、第2次基本構想(案)を上程する予定であります。年明け1月末までに2次計画前期(案)をまとめ、3月上旬に審議会に諮問し、3月下旬に答申を受ける予定であります。

す。

5点目、策定年月日は、平成27年3月31日を予定しております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

一括交付金の策定や申請、それから事務調整のために不測の時間を要したため、総合計画策定の取り組みが遅れている状況です。ということですが、今の答弁では、一括交付金の業務が忙しいから総合計画は後回しでもいんじゃないかという考えに聞こえてくるんですよ。一括交付金の業務が各課との事務調整、あるいは県との事務調整、そして議会対応など、その仕事の大変さは理解できますが、かといって久米島町の10年間の方向性を定める総合計画の策定を後回しにしていいというものではないと思うんですよね。また、この総合計画策定は仕事の片手間のできる業務ではないと思います。これまでの過去の計画の総合点検、それから委員会の設置、町民の声をどう反映するのか。また各種団体との内部調整、議会対応などまるまる1年あっても時間が足りないぐらいだと私個人思っているんですね。本当は2カ年ぐらい前から余裕を持って、策定されるほどの行政事務として重要な業務だと思っています。

策定された計画そのものは町民にも公表されるし、また町民、誰もが10年後の久米島町の姿は想像できる。10年後の久米島町こうだなということが推測できる計画だと思っています。10年後には人口がどれだけあって、街はこうなりますよと、こう変わっていきましようというのが、この総合計画の基本だと思

うんですよね。どこの市町村も自分たちの街の将来像を描いて行政運営をなされるのがもっとも基本的な考えだと思っているんです。どうも久米島町は、そのへんのところを軽くみているのではないかということを感じます。そこでまず町として、この総合計画をどう捉えているか。再度お聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま幸地議員からご指摘のありました総合計画策定の遅れなんです、やはり職員の事務分掌も含めて、少し私の采配が足りなかった部分もあると思っております。このあたりはこの場をかりてお詫び申し上げたいと思います。

総合計画策定については、先ほど町長の所信表明にありましたとおり100年の大計というようなスパンが述べられておりましたが、10年後50年後、そのあたりを見通して町の将来計画を作るものだと思っております。今回、1年間策定が遅れている状況なんです、第2次久米島町総合計画ということでスケジュールを組んでいますので、そのあたりは速やかにその作業に取り組んでいきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

それで答弁で後期5カ年間で実施した事業や目標、指標等の点検、評価を行い、その後、さらにまちおこし委員会等での点検、評価を実施し審議会へ報告する予定ですと、この中にでてきている、まちおこし委員会の人数

とどういったメンバーでしょうか。それと審議会の人数とメンバーをお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

まちおこし審議会、想定されるメンバーなんですけど、前回第1次久米島町総合基本計画、前期・後期の基本計画とメンバー構成は、ほぼ同様になると思うんですけど、やはり全町民を網羅するという意味で、人数の確定はしておりません。これからメンバーの候補をあげて庁内で協議していきたいと考えております。前回の反省点として、いろいろ各組織団体のトップの皆さんに参加していただいたんですが、その前に事務方でたたき台を十分つくって、練って、その上で各団体を網羅していきたいと考えております。

審議会のメンバー候補も、これからということになります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

そこでスケジュール等を見ますと、町民の声を繁栄すべきだというふうに考えていますよね。そしてこれから地域懇談会、それから各種団体のヒアリングなど実施をしていくと思うんですが、地域懇談会どういったかからでやるのか、例えば各部落だけなのか、それとも校区だけなのかですね。そういった方法などあるかどうか、それと各団体とありますけれども、例えばどういう団体なのか、観光協会なのか、その他たくさんありますよね。どこまで考えているのかとか、団体の組織の数、どういった団体なのか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまのご質問にお答えします。まず私がこれから取り組みたいのは、各字の区長さんに、こちらで定めた様式によって、その地域が何を要望しているか、ハード部門、ソフト部門、それぞれを各字で出し合って、そして第2段としては小学校区毎に何処かの公民館を使って学校の体育館でもよろしいですし、小学校区6校を対象に期間を定めてもちろん、議会の皆さんも同席していただいて、その地域が校区が何を必要としているか、全体的なハード部門、ソフト部門含めて計画を出し合って、それを一括してまとめて、これからの予算のどういうメニューがあるのか、そのへんも担当部署で各担当課との調整も行ってこの計画を作成したいという思いであります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

いちばん町政にとって大事なものは、町民の声だと思うんですね、幅広く町民の声を聞いてそれを行政に取り入れるということで、ぜひ内容のある懇談会を実施してほしいと思っています。

それから策定スケジュールを見ますと10月中旬までに1次構想、計画、点検を完了し12月議会において第2次基本構想（案）を上程する予定ですということになりますと、実質半年なんですね、これから選考して7月から始まっても12月も定例会も中旬ですから半年ないですね。僕は非常に懸念するのは半年間で例えば懇談会する各団体に意見を聞く、あるいは議会と調整をすとか内部の事

務調整、果たして大丈夫なのかなということなんです。この10年間のあるべき町の姿を半年間で決めるということは僕は至難の業だと思うんです。おそらく精力的にやらないと単なる文書になってくるんじゃないかなという懸念もされるわけですね。ですからこの半年間、例えば細かくスケジュールが決まっているのか、それとも今からそういったことを決めていくのか、そのへんのところを担当課長お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

やはり町民の声を拾い上げるといいますか、計画に繁栄させるという意味で半年間というのはおっしゃられるように短いというふうに感じております。ちょっと担当の方でいろいろスケジュールを作ってスピード感を持って取り組みたいということですので、そのあたりは関係機関と調整しながらスケジュールに沿ったかたちで策定を進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

去った予算審議の時にも討論いたしました。おそらく全国の市町村を探しても、この総合計画を策定しないで予算編成をしている市町村は、この久米島町だけだと思うんです。これは基本的な業務ですから、あれをやるこれをやるという前の前提の計画なんですね。ですからこれは担当課もたいへん忙しいと思うんですが、ぜひ、僕の経験では選任職員配置して死にものぐるいで、このスケジュールをこなしていけないと、僕は12月までは

間に合わないんじゃないかと、要するにしっかりしたものをつくるためには久米島町の10年後の姿を誰もが、素晴らしいこういう町になるんだなということを認識できる計画が出来上がるには、専任職員を配置しないと僕はこなせないと思うんです。例えば内部の事務調整ありますね。これは至難だと思いますよ。県ともいろいろありますよ。補助金関係とかそれから各団体、部落いろいろ声もあると思うんですが、それをまとめて文章化して、それを町民に公表するそういった計画策定というのは今の片手間ではできないと思うんです。ですからぜひ専任職員を配置して、僕は業務にあたるべきだと思うんですが、町長お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

まさに今、幸地議員からおっしゃるとおりであるかと思っております。先ほどの人事の報告では皆さんに報告していませんが、今回、同じく6月1日付けで職員の入替えもしました。強力に推進するために中堅クラスのばりばりした職員を今貼り付けて今回、取り組みということと、そしてまずは先ほどもありましたとおり、これまでの予算の流れ、各省庁の補助事業がありましたが、ヒアリングの積み重ねで予算が成立して計画に反映しておったんですが、この24年度から一括交付金化して、この予算の流れの仕組みがまるっきり変わってきました。そういう調整等もあって計画と上手にかみあわないような今流れになっております。これはうちの町だけではなく他の市町村も混乱して、それぞれの計画とそぐわないような事業が推進されています。

そのへんも県も含めて、その反省はやる必要もあるかと思いますが、今後はそういう流れの一連の一括交付金の流れのもと、この先10年はそれと上手く計画とかみ合わすような施策を進めてまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この業務は1課だけではできない業務ではないですね。やっぱり全庁的に各担当課長もそこにいますので、全課にまたがりますので、ぜひ役場全体で勢力的に取り組んで、素晴らしい計画ができることを期待しております。これから12月までたいへんだと思いますが、私たちも自分なりにもこういうことをぜひ盛り込んでほしいというのがあります。他の議員の皆さんもそういったかたちのものを思っていると思うんですよ。そこで議会との対応と申しましょか調整どういったかたちで考えているかどうか、例えば出来上がって(案)をただ提示をして、どうですかということなのか、それ以前にこういった部落懇談会みたいに議会の全員協議会の中でもやりとりをする考えがあるかどうか、そのへんお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

まずは基本としては先ほど申し上げたとおり、地域の要望それぞれの議員の皆さんもその地域代表でもありますし、地域の字の要望、先ほども申し上げたハード部門、ソフト部門含めて出し合って、そして校区でまとめてどういふものを地域にはほしいと計画してほしいというような要望等も吸い上げて最終的に

はトータルをコンパクトに担当課がまとめたものを議員の皆さんにも示して、それで完成するような、また委員会の手続きも必要ですので、その手順を踏んでまとめたいということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

それでは最後に、できなかつたことをここでくどくどいうつもりはありませんが、しかし非常に大事な業務なんですね、総合計画というのは。そこで12月までたいへん厳しい日程だと思いますが、ぜひ全庁で役場職員全体で積極的に取り組んで、素晴らしい計画ができあがることを期待して一般質問を終わります。

(幸地猛議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで2番幸地猛議員の一般質問を終わります。

次に12番仲村昌慧議員の発言を許します。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

12番仲村昌慧です。町長就任してから今日で2カ月目に入ります。今日、所信表明が示されました。町長が掲げる6つの公約が実現されることを期待して、これから一般質問を行います。

県議会議員の選挙区について質問をいたします。県議会の議会改革推進会議は、公職選挙法の一部改正を受けた選挙区見直しの検討に入ることを確認し、各党派が持ち帰って協議するとしています。今、選挙区の見直しについて、非常に重要な局面を迎えております。町が求めている選挙区見直しの実現のために

どのように取り組んでいるのか伺います。

次に、教科書の採択について私は、昨年の9月定例会で、久米島の小中学校の教科書が、那覇教育事務所管轄に所属していながら、島尻地区の教科書を使用していることは不都合であり、是正すべきでないかと質問しました。是正されるまでには、相当の時間を要し、困難するものと思われていたが、今年5月30日に地区変更が決定し、久米島町は島尻地区から那覇地区に編入することになりました。教材研究や教員研修などの面での不都合が解消されるものと思います。

島尻地区から那覇地区に変更決定に至るまでの経緯と、この決定をどう評価するのか、教育長の見解を伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

仲村昌慧議員の最初の質問にお答えします。県議会議員の選挙区についての案件であります。平成25年10月16日に久米島町で開催された南部離島町村長連絡協議会臨時会で「沖縄県議会議員選挙区の見直しに関する要請について」協議、可決し、沖縄県議会に平成26年2月に同連絡協議会より陳情要請を行っております。それを受け、県議会は県議会改革推進会議を5月8日に開催し、議員のご説明のとおり取り組んでおります。今後は南部離島町村と連携しながら進めていきたいと考えております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

12番仲村昌慧議員の教科書の採択についてお答えいたします。今年1月と4月に島尻採択地区協議会、沖縄県教育庁義務教育課からの教科書採択についての要望、改善に向けた意向調査がありましたので久米島町の方針を示しました。4月9日の「教科用図書無償措置法に関する法律」の改正により、5月21日島尻採択地区協議会規約から久米島町を削除、那覇地区協議会規約に追加、同日にて、県教育委員会で教科書採択地区変更の決定、そして5月30日公布されたことにより、久米島町は那覇地区協議会の構成メンバーとなりました。このことは就任以来、懸案事項でありましたが、今後は児童・生徒・教職員を取り巻く環境改善に繋がるものと考えます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

県議会議員の選挙区について再質問いたします。前平良町長は選挙区の見直しについては町民にとって悲願の問題である不可能ではなくて非常に可能性があると思っている積極的に取り組んでいきたいと述べています。

大田町長は選挙区見直しについてはどのような見解をもっているのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。私も前町長と同様で、これは非常に今後、改善する案件にあるかと思っております。私が思うにはこれから行動を起こしたいという思いであります。まずは久米島の各種団体を代表して、

そして議会の皆さんから要請を採択させて、私共にそのメンバー構成でもって、県議会の各会派、そして県議会議長、手続きとして知事宛に送るべきかどうかは検討しますが、早い時期にこれを実現したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、町長の力強い行動を起こすという言葉が聞かれて非常に私も力強く思っています。実は町長が就任してからまだ1カ月ですので、町長に苦言を呈するのはどうかと思いますが、この件については平成24年3月議会で同僚議員が質問しました。そのときは次期選挙まで4年と4カ月間ありましたので、このように順調に進んでいけば、次期選挙区からこれが実現されるものと私は期待しておりました。しかし1年経過しても進展が見られない、昨年の9月議会において、私はその進捗状況を質問しましたが、そのときは全く同じような答弁で各首長との意見交換をしている段階であるということ、意見交換というのは1、2回すませて、そのあとどんどん進んでいくべきなのに以前として進んでいない。何もしていなかったんじゃないかと私は強い口調で言いました。

その後、10月16日に今答弁にありましたように久米島町で開催された南部離島町村長連絡協議会臨時会で沖縄県議会議員選挙の見直しに関する要請を可決しています。しかし、可決してから県議会に要請するまでに4カ月間も要しています。普通だったら可決して即行動に移して要請すべきだと思いますが、4カ月間も要した理由は何なのかお伺いしま

す。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄副町長。

○ 副町長 桃原秀雄

ただいまの質問にお答えいたします。去年の10月、久米島で臨時会を開きましたが、その中で可決はしたんですが、そこに6離島町村長議長が全員参加されていなくて、参加されていない首長、そして議長の皆さんに、また個人的に説明して了解を得ないといけないということで、そのへんの説明等々、そして島尻郡区の議員の皆さんとか、そういった首長の皆さんにも理解をえないといけないということで前町長が個人的にあたって理解を得るために時間を要したということになります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

県議会の次期選挙まで、あと2カ年ぐらいになりました。少なくとも1年前までには選挙区見直しについては結論がだされるべきだと思っております。もう時間がありません。本当に早めに行動に移していただきたいと思っておりますが、5月8日に県議会の改革推進会議が行われている。そのときに各会派に持ち帰って検討すると1カ月立ちました。おそらくもう各会派は検討していただきたいの検討案がだされていると思います。その情報収集はなされているのかどうか、お伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまの議員の質問なんですけど、5月の後半に南部離島町村長議長連絡協議会の方に

問い合わせをいたしまして、協議会を通じて県議会の方に確認しましたところ、現在、議会総務企画委員会に付託されており継続審議中であるというお答えをいただきまして、現在、審議内容については情報を得られていない状況です。

そして会派に持ち帰って審議中ということでその審議状況についてもなかなか情報として把握できていない状況です。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今、非常に重要な局面ですので、各会派、県会議員の中にも久米島町とおつき合いをされていらっしゃる方々、いろんな情報が収集できると思います。そしてぜひ久米島の気持ちを訴えて、県議会に上程されるように各会派にそれを訴えていくべきだと思っています。本当に今の次期に行動に移さなければ、この中で一番気になるのはそのまま従来の選挙区をそのまま維持することも可能なように、その方に落ち着く可能性があるだろうなと非常に心配しているんですね。ただ久米島町が中心となって周辺離島町村を引っ張っていかないと、ただ久米島は各会派のその協議を見守るだけでは、これ本当にこれさっき心配された今の選挙区をそのまま維持する方向に行くんじゃないかと心配していますので、中心となって久米島町が引っ張って行って、各離島も巻き込んで強力に推進していくようお願いしたいと思うんですが、町長、再度答弁してこの質問を終わりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの議員からありますとおり、私は早い時期来月7月いっぱいにも、この関係市町村とは連絡取って一緒になって、さっき申し上げたように県議会の会派そして議長宛に再度仕切り直したかたちで要請していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

特に国政選挙においても久米島は那覇と一緒の一区であります。それで教育行政においても那覇管轄の事務所に所属しております。また久米島から飛行機、船で行く場合でも那覇とのいろんな緻密な関係があります。そして久米島出身の市会議員が数名おられますので久米島にとっては那覇選挙区に編入した方が非常に久米島にとっても良い方向にいくと思いますので、ぜひそれを実現するようにお願いしたいと思います。

次に、教科書の採択について、今教育長から答弁がありました。私はこれが本来あるべき姿だと思っております。今回の決定が。しかし、これまでずっとおかしいと思いながらそのままにしてきた。今回僕は非常に難航すると思ったんですが、今回このように急にこのような結果として決着したのか、その理由をちょっとお伺いしたいなど。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これまでできなかったことにつきましては、国の無償化法に基づく法律であり、これがネックとなりました。これにつきましては八重山地区における教科書問題が発端とな

り、いろいろ地方教育行政の中における教科書の決定事項そして無償化法における国の法律ということで相反する法律があり、その中でいろいろ支障があるということで今回の方で無償化法に基づく法律の改正がされました。これまで私たち久米島町そして関係する南北大島それから伊平屋、伊是名、恩納村につきましては、ぜひ教育事務所管轄における教科書の採択ということでもお願いしてきたわけなんですけれども、これがなかなか国の法律が壁となってできなかったということがあります。これは島尻郡の構成郡ということがあり、遡って明治の方に島尻郡の構成があります。そして私たち那覇教育事務所につきましては、復帰前ということがあり、それが島尻郡とまた那覇教育事務所という管轄で、そのへんまた相反することがありましたので、なかなか上手くいかなかったというのがあります。今回、国の法律が変わり、そしてまた教科書採択地区協議会においても島尻郡から那覇地区の方に変わったということがあり、これは私たち本当にこれまで那覇地区における研修会での教職員の研修、そして児童生徒が那覇地区に転校した場合にいろいろ一時的ではあるんですが、障害があったというのがこれまでありましたので、教科書採択地区協定が那覇地区に移ったことで子どもたち、教職員の研修もよりスムーズにいくものと考えております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

私はこの件に関して昨年9月議会で教育長に質問したときに教育長の答弁は先行きは全く不透明で今後どうなるかわからないと、国

の法律の変更なければ島尻教科書から那覇、浦添で使われている教科書に移るのは大変厳しい状況であると思われるという答弁をしております。そして11月の全協の説明の中にも教科書の変更を求めるには島尻採択地区協議会を脱会し那覇・浦添地区に加入するか島尻教育事務所に属し現状の島尻教育庁を使うかを選択となると非常に厳しい見通しを示されておりましたが、教育長の答弁のように今回この法改正になった理由は八重山教科書の問題が発端となっているということは新聞等でも報じられています。国の圧力に耐え、筋を通した県教委、八重山教委、国の圧力を跳ね返したというように新聞は報じています。そして今申し上げているとおり、今回の改正は八重山の問題を解決するためのものだと政府の関係者もそのように述べております。そして琉球大学の田中洋、准教授は国の圧力に屈しなかった県教委、竹富教委の判断は小さな自治体でもきちんとした法の理論手続きを持って主張すれば国の介入を妨げるということも証明したということを行っています。

私は信念をもって、そして食い付くぐらいしつこく追求して物事に取り組んで、全ての面で取り組んでいただきたいなと思っております。

これまで教育長にはいろいろと厳しい辛口で質問をしてまいりましたが、今回、教育長が任期を満了に伴って退任されるということで寂しい思いではありますが、今後ともまた教育行政について、久米島町のいろんなことについて、またご尽力くださることを期待して、私の6月定例会の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで仲村昌慧議員の一般質問を終わります。

休憩いたします。(午前10時55分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時04分)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員の発言を許します。

(玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

13番玉城です。私の方から3点ほど質問したいと思います。まず最初に久米島高校園芸科の廃科、島留学における里親制度に対する町の対応について伺いたいと思います。

平成26年度久米島高校は、県内外から5名の生徒が入学し島留学制度がスタートした。県内外からの生徒募集については学校にも問い合わせがたくさんあります。今年度以降も増えると思われる。しかしながら、受け入れ先となる里親の依頼に大変苦労したとも聞きます。里親依頼については、今後も同じ状況だと考えられます。28年度には園芸科の廃科問題も差し迫っている状況で、受け入れに関する対策を早急にすることが重要であります。

以上のことから次のことを当局に伺います。里親制度では今以上の生徒募集はかなり厳しいと考えられるが、久米島高校と連携しての対策は考えているか。

2番目に 学生寮については、どのように考えるか。

3番目に現段階では、久米島高校園芸科は28年度入学生を持って廃科の方向であると聞いています。上記のことも含めて当局の考えを伺います。

続きまして2番目に航空路線問題について伺います。久米島の航空路線については、毎年のように航空運賃の値上げ、欠航、遅延等の問題が議会においても取り上げられています。現状は改善されていない状況でもあります。また路線内において最も高い料金で最悪なサービスを受けている状況であります。諸問題とかが起きてから行動しても何の効果もないと思っています。常に諸問題を想定し、先手を打って行動を起こすべきだと考えるが当局の見解を伺いたいと思います。

3番目に通学路の街灯設置について伺いたいと思います。過去の議会において、久米島高校、球美中学校の通学路となっている一部ですが、久米島一周線の(山城～儀間間)の歩道の整備について何回か取り上げてきましたが、県管轄であるため県との調整が必要との答弁でありました。今回、町内で球美の島エコアイランド事業で一括交付金を利用して各集落の街灯の取り換え工事を、沖縄電力さん、NTTさんの電柱を利用して行っているわけですが、その間も未設置間を県と調整し、街灯設置ができないか伺いたいと思います。以上3点よろしく願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

13番玉城安雄議員の久米島高校園芸科の廃科、島留学における里親制度に対する質問についてお答えいたします。まず高校との連携対策についてなんです。里親制度につきましては、チラシ配布で、今月、里親を募っています。前回同様、厳しい状況だと思われるので、再度、議員の皆様を含め、町民に里

親のご協力をお願いするものです。

2点目、学生寮について、県の意向は、里親制度を活用して受入体制を構築するようにとの事ですが、今後の事を考えた場合、寮なしでは受け入れはできないものと思われますので、寮整備に向け県と調整を図ってまいります。

3点目、園芸科の廃科につきまして、募集停止の条件として、過半数割れが2年連続して生じた場合となり、次年度は過半数割れの予想ですが、28年度は過半数を越えるものと推測されます。廃科は該当しないのではと思います。編成整備計画でも、このように明記されていますので継続の方向で協議を図って参ります。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

2点目の航空路線問題についてお答えいたします。久米島の航空路線における欠航、遅延等の多発に関しては、毎月ごとの到着時間のデータ分析を元に、去った4月7日に町長、これ前町長です。議長をはじめとする町内関係団体で、抗議文書により嚴重なる抗議と改善策を求めたところであります。また、関係機関に対しても問題解決に向けて要請しているところであります。

こうした行動を積極的に行うことにより、責任ある公共交通機関としての役割とサービスの向上を求めてまいります。

次の通学路の街灯設置についてお答えいたします。質問にあります地区については球美の島エコアイランド事業で街灯設置は可能で

ありますので積極的に計画を進めてまいりたいと思っております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは最初の質問から久米島町高校に関する問題から順をおって再質問したいと思います。

1番から3番まで関連していますので、関連づけて質問したいと思います。まず島留学制度、今年度から島外から5名の入学者がいて4名が里親制度を利用しているわけなんです。当初、去年、里親を募ってもなかなか決まらない状況が続き高校をはじめ教育委員会、関係者の皆さんがたいへん苦勞したと聞いています。「久米島高校の魅力化発展を考える会」でも里親のあり方が議論され、現在同居で身元引き受けるかたちになっていますが、今後もこのようなかたちで募集をするのか伺いたいと思います。魅力化発展を考える会では、いろいろ同年代の子どもさんの家庭で預かる方法もあるんじゃないかなとか、いろいろ話もありましたが、今年度も同じような方向で募集してくるか、伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

今年の区長会に里親募集ということでチラシを配布しております。これにつきましては来る6月18日に改善センターの方でお集まりいただいた皆さん方への募集ということで説明を開催したいということがございます。そして来週なんです、久米島高校におきまし

て、「久米島高校魅力発展を考える会」また会合がございますので、このへんにつきましては、昨年同様の取り組みがいいのか、さらにまた新たな取り組みということのできるのか、さらにいろんな皆さん方からのご意見を聞きながら進めていきたいと思っております。昨年度4名の方々が里親ということでお引き受けいただきましたので、その方々もお招きし、現在の状況を踏まえながら、また18日の里親説明会におきましては、もっと詳しいかたちでのご説明ができればと今考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

チラシ等で募集するということですが、今年度4名の里親スタートしておりますが、とにかく人様の子どもを3年間預かるということは本当に簡単なことではありません。残念ながらいろいろ募集してもお願いしてもなかなか集まらなかったということで、幸いに4名が引き受けてくださってスタートしたわけですが、これについては、魅力化発展を考える会の中でもそうなんです。町と久米島高校と本当に連携して組まなければ、非常に厳しい状況があると思っております。そこらへん町長の考えを伺いたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。先ほど細かいものについては教育長からの説明はございませんでしたが、今考えられるのが里親が非常に厳しい状況でありますので、一部の今久米島中学校が使っていた教員宿舎、今空き

状況が5室あります。そこを補正予算でこれは県との調整が前提であります。調整を進めた後にその部屋を改造して、生徒、数にすると8名は対応できるかと思っております。そこに寮母管理人を町がおいてやる方法。

そしてあと1点は民間を活用した民間の施設を来週初めに東京の方から来て調査することになってはいますが、今、不動産屋が管理している空き施設があります。そこを改良すれば25名ほど対応できるかなという思いであります。今、教育長からも答弁しましたが、いろんなかたちで町を上げて、これ取り組む必要があると思っております。もちろん、建前上としては県は里親じゃないとだめということになってはいますが、それをぜひお互い政治の力も使って、それを変更するようなかたちで取り組もうということを進めております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今、町長からの答弁もありましたが、やっぱり県教育委員会の方針は里親で募集して欲しいということ当事者である久米島高校にはいっているようでありましたが、寮設置についてもいろいろ責任問題とかいろんな問題が生じることを想定して、そういうふうに話しているわけですが、しかしながら久米島高校存続のためには島外から、ぜひ、20名、30名の生徒を近い将来募集しないと存続がいかないんじゃないかなと考えております。そこらへん町長の答弁がありましたとおりの政治力を使ってでも、この寮設置を認めさせて進めていってほしいと思っております。

続きまして、存続問題についてであります。答弁では過半数割れが2年連続して生じ

た場合となり次年度は過半数割れになりそうですが、28年度は過半数を超えるものと推測されますので廃科は該当しないのではないかとお思いますと答弁されていますが、ある情報によりますと定員割れということで28年度には予定どおり廃科という話もございしますが、そこらへんこの情報が錯綜して、何かわかりませんが、教育長おわかりでしたら事実関係をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

議員のご発言のとおり話をしまして、28年度をもって園芸科廃止という話もありますが、これは私たち県の方とこれまで再三意見交換をしてきてまして、県立高等学校編成整備計画、これは平成24年度から平成33年度までの計画がございしますが、その中におきまして、まずは分校となる要素としては久米島高校が今360名ぐらいおりますので、それを240名を切った場合には分校ということも予想されますよという話がございました。しかしこれは地域の実情、いろんなことを考慮してそういったことも再度、皆様方と協議をしますということがございました。

あと1点はこれまでも例えば園芸科ですと園芸科の定数今40名ですので、その40名の20名を割った場合、それが2カ年続いた場合には廃科にしますよということが、これまでの説明がありましたが、ただ編成整備計画の中におきましては、久米島高校においては、但し書きがございまして、但し、久米島高校の園芸科につきましては定員を満たした場合には計画を再検討しますということがあり、そのへんが先ほどの連続2カ年の定数の半分割

った場合ということと、それが少し意味合いが違うかなということがありますが、それを考えた場合、じゃあ普通科定員を満たさなければ廃科ということになるのか、そのへんもありますので、これにつきましてはいろいろ県の考え方、そして久米島町の思いもありますので、そのへんは県と再度詰めていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

今教育長の答弁をいただきましたが、但し書きの中に定員を満たした場合には、その場限りではないということもございします。我々はそれをするために頑張っているわけですよ。園芸科を廃科にしないために、久米島高校存続のためにこの里親制度、今申し上げた寮設置とか動くわけですが、ぜひ久米島の人口の減少が続いているなか、子どもたちの数も必然的に減ってきます。この園芸科の廃科もしくは久米島高校の存続の問題については我々議会もそうですが、行政、久米島高校地域が一体となって考える時期にきていると思います。行動は既に起こしているんですがもっと積極的に行動を起こす時期に来ていると思います。この流れが、この3、4年の動き、この流れが頓挫しないように、より一層行政の協力も求めたいと思いますが、最後にこの件について町長の答弁、もう一度お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

まさに議員がおっしゃるとおり、いろんなかたちで私は、それに新たな教育長を登用す

る人事案件の調整で県の教育長とお会いしました。そして那覇教育事務所長ともお会いしました。諸々の問題、これまで我々議会の皆さんが共通認識して抱えている問題等も生にお話も申し上げました。今回の高校の問題においても、これも地域が本当に深刻に思っているということを強く申し上げてきました。先だって、私、奄美大島の全国離島振興協議会の総会で島根県の海士町の山内町長ともお会いすることができて、向こうでは本当に1クラス廃科になろうとしたのが、現在では2クラスに増えて、もう過半数が島外の生徒が来るようになったという状況であります。それも今年新たに町の予算を使って寮を設置して、県に貸すというような調整で今進めているということ、ああいう事例等もありますので、積極的に我々は外のいろんな研修もして、そしていろんな知恵を借りて、この島の存続に向けて、一丸となったかたちで取り組みを進めていきたいなと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

まさにそのとおりで、この園芸科、定員を満たすんじゃないで1クラス多くするという気概をもって我々も一緒になってとりくまないと、この問題はいつまでも解決しないと思いますので、ぜひ今後ともご協力お願いしたいと思います。

続きまして、次の質問に移りたいと思いません。航空路線問題についてなんです、この議会始まる前にテーブルの上に去った4月の要請の内容と回答について配られているんですが、ざっと目を通した限り数字的には何も問題はありませんとかというふうな回答にな

っていますが、この回答内容について、どのようにお考えでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

開会の前にお手元に久米島路線の欠航、遅延についてという資料をお配りしてあります。右下に手書きのページがふってありますので、1ページから2、3、4ページまではこちらからの抗議の文書、あと5ページからはJ T Aからの回答文書となっております。特にJ T Aからの回答文書は問題がないというような内容の趣旨になっております。特に9ページ一番最後のページをご覧ください。9ページの運行実績、これは10月から3月までの運行実績であります、この一番右側の定時到着率、これを世界的に15分未満で到着した場合は定時に到着したということになっております。15分以上遅れますとこれは遅延ということになっておりますが、その路線毎の率となっております。

これからすると半期13年10月から3月までの下半期のデータでございますが、久米島町が89.4%、平均が85.7%というようなかたちになっております。そういうかたちで、それほど大きな問題はないというようなかたちになっておりますが、J T Aの報告これは航空局にも報告がいきますので、内容的にはトータルで見ればそういう結果になるだろうということで思っていますが、独自に町の方としては空港管理事務所のデータを基に毎月のデータを作っています。

それによりますと非常に悪い月とそうでない月がある。トータル的にいえばそれほど大きな問題はないだろうというような状況にな

っていますが、やっぱり月ごとに空港管理事務所のデータを基にいろんな問題点を検討して、それに対して対応をしております。

特に4月の要請を行った時に定時運航率が84%ということで極端に悪かったということと欠航が14便1カ月に欠航があったということで、それを受けての4月の抗議行動となっております。

あとJ T Aの数字をどう読むかということはそのそれぞれのご判断になると思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

確かにデータ数字等を見ればそんなに問題はないというような趣旨の受け取り方もできますが、やっぱり利用する方々が本当に迷惑被っているところもいっぱいあるわけですよ。遅延により、その経済的損失とかけっこうある方もいらっしゃると思います。そこらへんもっと積極的に訴えていただきたいと思います。私がこの問題について取り上げたのは、過去の議会においても、やっぱり何名かの同僚議員が、そのような質問をしています。都度、抗議活動、要請活動をしているわけなんです。やっぱり何ら改善はされていないような状況にあります。感じ方では逆に逆行しているのではないかなというような感じさえしています。

それで過去の議会の答弁にある何点かの現状について伺いたいと思います。まず他社の航空会社の参入の可能性、2番目に遅延欠航についての要請、抗議活動の成果は出ているか。R A Cの大型機の導入は可能性としてはどうか、航空運賃の値上げに対する対応策は迅速に行っているか、4点伺いたいと思

います。お答えお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず1点目の他航空会社の導入可能性についてなんです。ハードルは非常に高いけれどもやらなければいけないものだと考えています。既に要請活動は行っております。ハードルは高いがということなんです。どうということかと申しますと、今久米島の年間の乗客数これは前年度25年度で226,251人です。22万人を運んで今R A Cは黒字にJ T Aが赤字、R A Cの黒字をJ T Aさんに補填してほぼとんとんというのが現状でございます。あと石垣島と宮古島につきましては、J T AとR A Cで約60万人運んでいます。また他航空会社もあります。約100万人超えているということで人口規模と面積がうちの約5倍それぞれでございますので、その5分の1のおおよそですね、そこになっています。宮古島・石垣島について約100万人の客数に対して4社が乗り入れていると単純計算で1社あたり25万人は運んで、それぞれとんとんの実績をもっているということです。

そこに久米島町22万人の乗客に対して2社あるいは3社参入した場合、今の客ではもちません。従って参入することによって新たに本土、沖縄・那覇路線、あとそれに久米島線を繋ぐことによって新たな誘客が図れるという仕組みを作ってもっていかないと、なかなか厳しいだろうと思っております。

そのあたりの手順戦略については、町だけではできませんので、沖縄県の方とも連携を取って調整しながら、この2社導入に向けて取り組んでいきたいと考えております。

2点目に、これまで要請行動を抗議行動を度々やってきていますが、その成果はあるかということなのですが、先ほどもお答えいたしました。去った3月が非常に極端に悪かったということで、何を基準に極端に悪いかといいますと、これは世界の航空会社の評価を図るものが一つに定時到着率というのがございまして、それは世界の1位がJALグループが世界で1位となっています。それがJALグループ全体で89.75%が世界1位ということになります。その89%約90%四捨五入して90%ですが、この90%を基準に考えますと先ほどの資料の一番最後にあります全路線合計で85.7%しかないということはやっぱり平均よりは定時効率というのはサービスは悪いと考えていただいているのではないかと考えています。久米島路線が89.4%という数字がJALの報告では出ていますが、これでは平均並、全国平均並という数字の結果にはなっていますが、独自に管理事務所で集計した結果によりますと3月が84.8%ですから極端に悪いわけですが平均より、それだけ悪いサービスを受けているということでもあります。尚かつ14便の欠航があったわけですから非常に町民が憤慨するのもこれは当たり前のことでありまして、それを受けて4月の抗議行動となったわけです。

じゃあ4月の抗議行動を受けて良くなったのかということですが、まだ4月の実績しか出ていなくて5月の実績がでていませんが、定時到着率から4月は89.0%、これは管理事務所の調べです。欠航についても片道2往復4便ということで、4月に比べれば改善されたというような結果になっております。それと全体的にはJTAとRACが、JTAがジ

ェット機を4便売却しています。JTAはその売却した分を久米島・那覇路線あと与那国路線、宮古・那覇路線の3路線をRACに移管しているわけですから、RACは機種5機は変わりませんので、機材そのものにほとんど余裕がないということです。ですからある程度の遅延や欠航は、この機材の処分以前よりは増えるこれは物理的にどうしようもないというところもあります。

ただ安全が第一ですから点検整備の部分を優先して運行していかないといけない部分もありますので、構造改革で機種を削減したために、ある程度物理的には従来よりは難しい部分もあるという点だけは、一応ご理解いただきたいと思えます。

成果については、今申し上げましたとおり、これが抗議行動の成果かどうかははっきりは申し上げられませんが、4月については改善はしているということです。引き続き5月後についても月々の運行状況を見ながらいろんな要請、あるいは抗議をしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

確かに答弁のとおり直々には非常に飛行機も混んで航空券も取りにくいとか、欠航が多いとかそういう問題もあります。確かに1民間企業にいろいろ料金の問題とか、そういうのを要請しても、むこうも企業の収益性もあるだろうし、一概に直ぐ改善するとは思われないんですが、現に島民も不便をかこっているわけですが、そこらへん引き続き取り組んでいけたらなと思えます。

答弁漏れがありました。RACの大型機の

導入と航空運賃の値上げに対する対応、対策は迅速に行っているかというところですね。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

失礼しました。3点目と4点目ちょっと抜けていましたので、まずRACの機種を更新につきまして、2年後ということになっています。同じくJTAの方も2年後の更新を予定しています。どういった機種が入るかについては、今RACの内部ではほぼ決まっているようですが、これは補助事業で購入する関係であと今後、国交省との交渉がございますので、まだ正式決定ではないということで、社内情報の部分では今あるボンバル機の一つ上のクラス、標準で70名ぐらい乗りのものを座席を少し潰して貨物を積めるようなかたちで、やっていこうというような社内の考えのようです。先ほど申し上げましたとおり正式決定ではない、国交省との調整がありますので、正式な決定ではないということをお聞きしております。

あと航空運賃の値上げに対する対応で、いろんな情報が流れていました。特に4月の手前、航空券は2カ月前から販売いたしますので、4月からは新年度になりますので、その新年度の離島住民負担コスト軽減事業が、どうなるか分かっていないときに発売したのは約8千円上乗せしてJTA発売しております。そしてそれが決定したあとも、その還付の手続きを取っているというようなことがあります。ずっとこの情報が8千円値上げして、そのままいくのではないかという情報が流れていました。それから4月から消費税分の3%加算されまして値上げをいたしております。

す。これも国全体の仕組みですから、これはやむを得ないものだと考えています。あとRAC、JTAとも7月に約5%の再度値上げを予定していました。これについてはRACの役員会において当時の副町長である現町長が役員会に参加しまして、反対意見を述べて役員会でもあと大東とか県の役員がいますので、行政出身の役員が反対をいたしました。そのあと町の先ほどご説明した文章の中にも値上げ反対ということは絶対に容認できないということはおたわれております。そのあとは国会議員への働きかけを行っております。あと県議会への働きかけ、そして自民党県議団の要請等もありまして7月の値上げは回避された格好になっております。そういうことで、この値上げに対しても情報収集に努めながら、また今後とも迅速な対応を取っていきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

RACの大型機の導入については、順調にいけば2カ年後には導入の可能性があるということで理解してよろしいですか。この料金の問題については本当にJALのホームページ上で公開されて一般住民が値上げはどうなっているんだとか、我々議員にもけっこう質問があるんですよ。逆にいろんな要請問題とかこういう文書があるんでしたら情報を我々にも公開していただいて、聞かれた場合に即返答できるようなかたちで、次回から出せる情報は全部出して共有した方が良くないかなと思っていますので、そのところよろしく願いいたします。

町長、高速船の導入が進まないなか久米島

として、入域客を増やすとか、旅行会社はもちろんです、この久米島の移動手段が飛行機が安心して安全で利用できるように取り組んでいきたいと思いますが、町長の決意のほどをよろしく願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど担当課長からも答弁がありました、私もRAC社の取締役の一員でありますので、今回の遅延等の問題についても強く抗議しました。そして料金改定についても先方から説明に来ておりましたが、我々は納得できんよということで、それも役員会の中で南北大東の村長、そして私、県の統括官それぞれの取締役が反対動議を出して、そしてさらには国会議員の先生方にもこのお話を申し上げて、上からの料金改定については今税制のいろんな燃料税とかも緩和していただいておりますしこれからまた離島割引についてもいろんなかたちで支援をやっている中で運賃の値上げというのは絶対これは納得いかないということで今回据え置きになっております。

ただ、もう一つ島外に出て行っている。島出身の皆さんが非常に恩恵がないという苦情もたくさんありますので、その16日とか盆とか正月に、今までは該当しなかった早割・特割制度を、それをその時期にも該当させるようなことも航空会社の方としては検討するというので回答をもらっています。

そして機種替えについては先ほど担当課長から言いましたとおり、27年度から2機28年度2機いま5機保有していますから最終年度で1機という機種替えの今予定で進めています。今説明ありましたとおり75名乗りを貨物

を多く積めるように50席、50席以上席を作るとスチュワーズが2人必要になってきますので、それを人件費を抑えるために50名以下ということで、これも経営方針でありますので、そのへんは何とも言えませんが、今39名乗りで4機あります。それに変わっても50名乗りが飛べば、今よりは非常に良くなるかと思っております。

そして他社の参入ですが、これ先月末に静岡にある航空会社を要請してきました。先方からも県をとおして久米島視察に来ておりますので、私もその席に参加して、向こうの考えとしては、チャーター便を今北海道に飛ばしている飛行機を夏場を北海道、冬場を久米島、宮古に飛ばしたいということで、あとは商品作りをエージェンツ旅行会社がどう取り組むかが今課題であります。航空会社としては積極的に参入するというので回答をもらっております。それをぜひ我々としても環境整備をして、そういう競合路線でない例えば名古屋から久米島、場合によっては宮古を経由して帰るといいう仕組みづくり三角路線を結ぶような方法とか、いろんな案があると思いますので、ぜひまたそのへんも議員の皆さんも感心を向けて環境整備を一緒にやってもらいたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。料金の問題等は7月まで据え置き、またこの問題にしても、年度末になるとまた再燃してくると思いますので、そこらあたり常に先手を打って対応できるようによろしく願いしたいと思います。

続きまして3番目、街灯の設置についてな

んですが、この件に関しても過去の議会で何回か取り上げました。過去の答弁では県の方針として街灯については、県の道路照明施設設置に合致しないから、今、質問した山城の未設置区間ですね。設置はできないという答弁でした。今回の答弁では町の独自の一括交付金で実施しているエコアイランド事業で設置可能かという質問をしたんですが、設置可能と答弁されておりますが、県の方とは調整したのか、していなければ今後調整するのか、伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

今のエコアイランド事業なんですが、現計画が1,650灯で認可下りて平成24年に310、平成25年で241灯で主に県道沿いの街灯を取り替えて、これは計画を調べ、電力柱に据え付けるということで20何万かかかるやつは12万4千円、1灯あたり施工費込みで、それで全て進めています。そこで今、町長が答弁ありました施行設置は可能ですということなんですが、実際、現場で調べてみたら真我里から山城もけっこう暗いです確かに、そこから山城から儀間までも設置できる電力柱が42基可能かなというものがあまして、設置は可能です。因みに1個あたり約250円、月1万500円、年間12万円ぐらいの電力費用というのもそれも調整が必要だとは思われますが、先にそこを真我里、山城、儀間と今計画されている街灯の部分からそこを持っていくという調整が必要です。ですから1,650灯という中においてやらざるを得ない、それをいかにして増設できるかというのを、いまから調整したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

現在の事業では、1,650灯、その中から設置するとしたら何処かから間引きせざるを得ないということですよね、答弁は。この1,650灯ではなくて新たな事業では可能なんですか。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

すみません。私もこの2日に就任して、そこまではまだ調べていないです。ただ可能かどうかというのはちょっとこっちもいろんな箇所から、各字からそういう要望が非常に多いです。なのでそのへんも含めて調査して進めたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

このエコアイランド事業、ぜひ、追加で区間を出してもらって設置できるようにお願いをしたいと思います。42基と言いましたが、電気料も約12万4千円この街灯というのは維持管理費は各自自治体が負担するわけですが、その間については電気料はそれぐらいだったら行政の方でもってもいいんじゃないかなと思います。町長そこらへんどう考えますか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。基本的には学生の通学路ということで、これは中学校だけじゃなくして小学校含めて高校も夕方自転車を乗る子たちが何名かおります。その安

全確保するためにはこれは当然、行政が僕の場合によっては県の負担にしたいなという思いで今後要請してまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

この区間については街灯の問題だけでなく、歩道の問題、高木等の問題いろいろあります。特にサンケミカルの高木、そこらへんの撤去も含めてそこらへんの低木も含めて、安全な通学路を確保するために、県と連携を取りながら実現できるようにお願いして、私の質問は終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

(玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで13番玉城安雄議員の一般質問を終わります。

次に4番翁長学議員の発言を許します。

(翁長学議員登壇)

○ 4番 翁長学議員

4番翁長です。私は、農道整備について伺います。宇江城、比屋定地内の農道整備計画は。

①宇江川の東堂原から中堂原に通じる農道は、頻繁に利用されている道である。以前に要望をしたが、今後の計画は。

②比屋定新原のエポック養殖場に通じる道も未整備のままである。今後の整備の計画は、その2点を伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの翁長議員の質問にお答えしま

す。現在、各字区長さん、土地改良区から情報収集し、整備の必要箇所を取りまとめております。質問にあります地区についても事業化が可能か検討していきたいと考えます。基本的には農道それぞれ台帳にある道路そして一般道路、それぞれが補助メニューが違いますので、そのへんをもう少し確認しながら内容を精査し進めてまいりたいと思っております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

まず最初に①から質問したいと思います。私が、今回、道路整備について質問したのは先ほど言ったとおり、宇江城については非常に重要な道だと思っております。以前にも字の計画に優先順位を付けて、どの道路から整備という規模を区長を通じてあったと思うんですが、この道路が優先順位としては、字の方では最初に整備してくださいと以前に整備した要望した記憶があります。しかしながらこの道路が未だ後回しにされております。現に今でも別の道路は整備の進んでいる道路もありますが、この道路が未だ優先順位から地域では一番に上げてはいるんですが、遅れた理由、先ほどいろんなものがあってということで町長からあったんですが、再度この未だ整備されていない理由を伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

この道路、調べてみたら台帳に登録されていない。無理をして計画できるのもあるんで

すが、取りあえずは台帳整備が優先です。これ自体は県も昨日の県本庁のヒアリングで非常に県庁的にも県は取り組みたいという良いお返事をいただいて、今来週からそれに向けて、整備に向けてヒアリングを計画に乗けるようにやっている最中でございます。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

この道路に関しては、字の集落外作業において路肩の方も大分崩れてきております。そして橋の上が切り立った断崖というか、すごい急斜面になっておりまして、ここも建設課に以前、確認して転落防止のガードレールを応急処置的にはやっております。この現場は課長と共に1週間前でしょうか確認したところ、課長の方もこの道路というのは、整備する必要があるということで、良い返事を受けております。

また距離的に700m、1kmない、けっこう長い道路ですので、そして急な勾配であって、雨が降る度に補修、補修というかたちでいままでにけっこう経費がかかっております。それも経費もかからないためには、改めて道路の整備計画をやってほしいと思います。

その道路計画と同時に大田課長とこの現場を視察したときに下の方に川が流れております。課長もびっくりしておりました。水量が多いと水の量が多いと。

そして話は違うんですが、この河川は紬の染色の時にも利用されております。この計画の中で産業振興課とともに、この地場産業である紬の染色の泥落としの、そういうのも同時に進行できないか、これも伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

比屋定ゆいまーる館の皆さんが、そこを中心に使っているかと思いますが、私も現場確認してちょっと検討したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

建設課長と現場も視察しておりますので、ぜひ、この道路を字の皆さんがスムーズに農作業にできるように整備を進めていただきたいと思います。

続きまして2番目に、比屋定新原のエポックに通じる道なのですが、そこもそうです。新原一带はほとんど整備されております。しかしながら、この道路は①と同様、以前にここも要望した覚えがあります。エポック、エビ養殖場です。日本一のクルマエビの生産高を誇る久米島町ということをやっております。やはりエビというのは生きたまま出荷しておりますので、現状の道というのは雨降りの度に穴が開いて養殖場の皆さんが応急処置的に自分らで凹みに砂を入れたりして整地しております。その道路に関しても計画の方はどうでしょうか、伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

これも一応道路台帳を調べたら、比屋定3号で土地改良団地の方から比屋定3号で、その入口の方が農道7号となって接続されているんですよ。先週の農林サイドとの打ち合わせでは、これは整備事業で十分できる。ただ町道7号については、今、土木の方にはいろ

いろと要請している事項があつて、今後これも含めて調整していきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

一刻も完結に整備が必要な道路であります。町内において各字の道路計画、整備計画はこれから見直しし、どこの優先順位が先きなのかということで町の方も計画をするということで伺っておりますので、ぜひ優先順位を付けて整備できる道路は先に整備していただいて農作業等、産業等に支障がないように今後道路を整備していただきたいと思ひます。以上をもって私の質問を終わりたいと思ひます。

(翁長学議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで4番翁長学議員の一般質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

午前中これで休憩します。

(午前11時57分)

○ 議長 喜久里猛

午後の部を再開します。(午後1時27分)

1番棚原哲也議員。

(1番棚原哲也議員登壇)

棚原議員、すみませんちょっとだけ。

佐久田正照さんが傍聴に出席していますので許可してあります。佐久田さんは傍聴規則を守っていただいて傍聴をお願いします。

○ 1番 棚原哲也議員

こんにちは。私は1番棚原です。私の方から3点ほど質問いたします。

1番目に、高速船の早期導入についてでございます。高速船の導入について8年前から

前政権下でかかげられ、平成24年6月に検討委員会も設置し、26年3月までに5回の勉強会で取りまとめをし、その結果を町長及び久米商船(株)に提案するスケジュールであつたがいまだ実現に至っていない。委員の人選も含め、導入に係る課題の取りまとめを急ぐ必要がある。前勉強会の副会長、現町長としての取り組み方針を伺いたい。

2点目、日台漁業協定及び日中漁業協定について。日台漁業協定については、政府間協議及び漁業者間協議を経て昨年協定を発効したが、漁船の衝突事故や台湾漁船の協定ルール違反操業等が多発している。特別協力水域及び久米西漁場に主に漁獲依存している本町の漁業者の操業の安全と、安定した漁業経営が成り立つよう行政として日台、日中協定の破棄を求める必要があると思うが、どう考えるか伺いたい。

3点目、仲原家の利活用について。改修工事が完了した仲原家の管理、利活用について伺いたい。

以上3点、よろしくをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの棚原議員のご質問にお答えします。まず、高速船の早期導入についてであります。昨年度まで、高速船導入に関する勉強会で現状と問題点の取りまとめを行いました。その結果を踏まえ、今年度、勉強会メンバーに久米商船を加えた高速船導入に関する検討委員会を立上げ年3回の委員会の開催を予定しています。検討委員会の中で課題の解決方法や導入方針及び導入方法について協議

を行い必要事項を取りまとめ、高速船の早期導入に努めてまいります。

続いて2点目の日台漁業協定及び日中漁業協定について。日台漁業取り決め及び日中漁業協定の見直しについては、平成25年5月31日付けで沖縄県漁業協同組合連合会代表理事及び沖縄県漁業協同組合長会会長から支援要請を受けたところでありますので、今後も機会あるごとに町の立場から見直しを求めて参ります。

3点目の仲原家の利活用について。現在、管理運営業務について2団体からの応募があります。選定委員会において管理者を決定したのち、教育者で歴史研究家でもあった仲原善忠先生の功績及び久米島を代表する伝統工芸品の久米島紬を内外に広く紹介、発信できる施設として利活用を図ってまいります。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

それでは、1点目から再質問に移らせていただきます。高速船の早期導入についてでございます。勉強会で現状と問題点のとりまとめを行ったとしているが、勉強会で協議予定の事項が6項目ございました。1点目に高速船導入の必要性。2点目に高速船の規模及び能力。3点目に高速船の船種。4点目に購入にかかる資金計画。5点目が導入後の運営方法。6点目、その他高速船導入に必要な事項ということで6件の勉強会での協議事項がございましたけれども、この6件のうちの3番目の高速船の船種ぐらいまでしか勉強会の中では話し合われてない。購入にかかる資金計画とか導入後の運営方法、その他の事項のあ

との3項目については協議されていないということでございます。

それで3点ほどお伺いしたいと思います。この6点のうち造船会社のプレゼンを受け、規模及び能力と船種について意見交換したのみで、他の項目には触れられておらず、現状、問題点の取りまとめを行ったとはいえないのではないかと。

2点目、久米商船を加え高速船導入に関する検討委員会を立ち上げ、委員会の開催を予定しているとしているが、久米商船からの委員として代表権を有している社長に参加してもらう考えはないか。

3点目、必要事項を取りまとめ、早期導入に努めますと答弁しているが、平成23年12月定例会一般質問で導入時期についての質問に対し、プロジェクト推進室長の答弁で、「フェリーニューくめしま」の引退時期が平成27年か28年頃と久米商船から聞いており、導入のタイミングは平成27年から28年が適切でないかと答弁しているが、大型船の設計から発注、建造まで最低でも1年以上の期間を要することから、早期に新たな委員会の立ち上げと事務局の体制を強化し、早期導入に向け取り組みが必要があると思うが、新大田町政の公約にも掲げており、27年または28年度導入、または新町政の1期4年以内に導入するという考えがあるか、お伺いたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの棚原議員の質問にお答えします。前回、前年度まで高速船導入の勉強会ということで3回程度開催しておりまして、取りまとめが今ご指摘のあった6項目のうち船

種をどうするかというようなことが主に勉強会の中では決まったような感じですが、それ以外の資金計画とか運用方法、その他のことについては、まだ勉強会でも十分煮詰めてない部分があります。資金計画、運用方法については船舶、事業者等も検討会には入ってもらって、そこで具体的な議論をした方がよいかと思っております。早期に検討会を立ち上げるとすることでよろしく願います。

2点目に、委員会を開催するにあたって、代表、社長の方を委員のメンバーに入れた方がいいのではないかとということなんですが、これもやはりいま久米島航路は1社のみの運行で、それが1つのまた航路補助の要件ということでもありますので、第一に久米商船の社長を委員会のメンバーとして、ぜひ、入ってもらいたいと思っております。

3点目の高速船の導入時期について、前回議会の一般質問の中でも出ていたんですが、「フェリーニューくめしま」の引退時期というのは、久米商船が決めるということですが、桃原社長の話によりますと、「ニューくめしま」も船齢は古いんですが、もう少し長めに使いたいという意見もあります。そのあたり実際引退時期がいつになるかはっきりしないところがあるんですが、検討会の中で確認して、それに代わりの船の更新時期を決めて、それに向かっていろいろ船種も含めて決めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

これは平成25年の12月の議事録ですが、その中にも前町長の答弁で、運行する久米商船さんがなかなか、やっぱり積極的じゃなかつ

たということが一番大きなことで、今後久米商船さんも非常に乗り気になってきておりますので、再度具体的に進むように取り組んでまいりますと答弁されております。

それから、先ほど町長の所信表明の中でも産業の振興の中で、観光産業についてという項目、この中で一番筆頭に挙げておりますのが高速船の導入推進ということで、現状航空運賃の問題とか、いろいろ問題がございまして、高速船はぜひ早急に導入しないと久米島の観光産業、久米島のその他の産業の振興に非常に影響を及ぼすんじゃないかと思っております。よって、前町長の答弁、それから先ほどの町長の所信表明にあたりまして、再度町長の方から導入についての、いつ頃導入したいという思いを述べていただければと思っております。願います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど担当室長より回答がありましたが、私の思いとしては、今回「フェリー琉球」の県の一括交付金でリースの買い上げが今年で終わります。これは1億円余りの予算でリースの残分を、各航路の古い順に買い上げを進めていますが、この「琉球」が今年該当します。ですから久米商船さんとしても経営が今までよりは楽になってくるかと思えます。違約金とか3千万円ぐらい発生すると聞いていますが、それを差し引いたとしてもかなりゆとりが出てくると思えます。で、代わる今の残りのフェリーの更新については、ぜひこの高速船を導入してもらいたいということで、内々お会いする中でも私は言っております。

これはどういう船をつかったほうがいいのか

か、そのへんもいま東京都の大島とかいろんな離島を回っている航路等もありますので、そして北は新潟の佐渡島、そして五島列島周辺の船とか、それぞれをいろんなかたちで分析して、より効果的な効率の良い船を決めながら、もちろん国、県の予算をつかってできる方法で今後、先ほど施政方針の中でも謳っておりますので強力に進めてまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

この件につきましては、事務局含めて検討委員会の中で早めに精査して早期導入に向けて取り組んでいただきたいと思います。

次に、2点目の日台、日中漁業協定についてでございます。答弁の中で、今後も機会あるごとに町の立場から見直しを求めていくとの答弁でございますが、久米西の好漁場には特別協力水域が設定され、北緯26度を境に操業方法が設定され、県内及び本町の漁船の操業は北緯26度以北の狭隘化した漁場で操業を強いられているのが現状である。漁業者からも衝突の危機に何度も遭遇したとの話も聞こえております。久米西の特別協力水域を日台協定から除外し、安全に操業できる漁場を確保するのが行政の役目だと思うが、どう考えるかお伺いいたします。

また、6月9日の参議院決算委員会において本県選出の国会議員は、日中漁業協定があるために中国のサンゴ漁船及び底引船等が日本のEEZ、これは排他的経済水域でございます。北緯27度以南の沖縄近海の漁業資源の枯渇をもたらすため協定の見直しを求める質問をいたしております。この質問に対しまし

て、岸田外務大臣の答弁でございますが、漁業法について、監視通報の制度、また中国側の取り締まりも効果的にするよう日中漁業委員会で協議していると答弁されております。

また、尖閣諸島近海が本マグロの産卵場所であり、西太平洋の日本近海で漁獲されるマグロ資源の保護についての質問に対し、林農水大臣は、中国も参加させて協議しているとの答弁だが、近況の中国の海洋政策を見るにつけ、協定は一旦破棄し、再協議する必要があると思うが、町長の考えをお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

1点目にご指摘ございました特別協力水域、これは東経125度30分より東側の水域でございますが、これは久米島漁協さんが日中漁業協定の交渉に入った時点から反対している水域でございます。これについては漁業協同組合長、そして連合会の会長等も含めて上京して反対の意見を述べております。それにも関わらず結果として125度30分より東の海域に特別協力水域が設けられたということで、その分については非常に久米島の漁民にとっても水域、漁場が狭められたということで大きな不利益を受けております。

それに対しては、町に対しても見直しの要請がございまして、それを受けてこれまで町も漁業協定、特に特別協力水域の見直しについては機会あるごとに見直しを求めているところでございます。また、今後とも引き続きその見直しを求めていきたいと考えております。

その協定を締結したあとに、その受けた不

利益に対する救済措置として、国の方からいろいろな事業が出ております。その中の1つが、沖縄漁業基金事業ということで100億円の基金を設けまして、この日台漁業協定の影響を受けた漁民に対して安定的な経営を図るためにいろんな、例えば監視業務、通常の漁を行いながら外国漁船の漁操業の監視を行うということで基金を設けて、それから通常の漁を行いながら監視業務をすることによって、1回当たり約7万2千576円の日当と費用弁償、報酬が支払われる制度もできております。燃料費については100%満タン返しで返しますよという制度もその見返りとして出ておりますので、今後この基金事業がうまく機能して漁民の不利益の補填になっていくかどうかというのを見極めながら対応していきたいと思っております。

因みに、監視業務につきましては1人あたり年間最高で14回までできるということで、そして今、その監視業務に登録した漁船が68隻ございますので、1人あたり100万円以上年間支払われるということになります。この基金事業が久米島町の漁業者の経営安定につながるかどうか、それも見極めながら対応していきたいと考えております。

基本的には日台漁業協定については見直しを求めるという立場です。あと、どうしても協定そのものは必要だと思います。日台についてはですね。国と国の一定のルールがなければいろんなトラブルが生じますので、この分については見直しを求めていくと。

それから、日中漁業協定については、27度線から以南についてはほぼ規制できない状況で、これも既にご承知の事と思っておりますがなっていて、これは一旦破棄して新たな協定をも

つべきじゃないかと考えております。これも国と国との協定、約束事でございます、市町村行政の段階で関与するのは難しいところでもあります。また中国という国じたいが特異な国でございますので、非常に難しいところはあるかと思っておりますが、これはいろんな機会をとらえて、そこは強く町としても主張していきたいと考えております。

#### ○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

#### ○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま産業振興課長から答弁がございましたけれども、100億円の大きな漁業基金、それから迷惑をかけているということで漁業無線の設置に対する助成、それからその100億円の3年間の使い切り基金ということで、さらに制限は加えられていないということで、先ほどの監視業務とか、そういうことをやった場合に金銭的な助成があるということも聞いておりますけれども、やっぱり漁業者の生の声を聞いてみると、先ほど報告しましたように、船同士が異常接近して、本町、特に沖縄側の船の規模が非常に小さいものですから、衝突事故があれば大破または沈没と人命にかかる事故に至る可能性があるということで、非常にこの協定は破棄、見直しした方がいいと、そういう声も聞こえております。

それから、先ほど久米西の特別協力水域の話をしていただきましたけれども、石垣島と尖閣の間にある三角水域においては衝突事故も実際に起きております。それから周辺海域での違法操業で昨年から今年にかけて台湾漁船が2回拿捕されております。その度に石垣市の市長はマスコミを通じて声を大にして、全面的な見直しがぜひ必要だと訴えております。そ

ういうことからして久米西についても昔から沖縄県で非常に有数のマグロ漁場として、それから本マグロの産卵場所として確認しておりますので、その漁場の開放がぜひ必要だと思っておりますので、機会ある度に町としても県、国に訴えて、ぜひ見直しなり、破棄なりしてもらいように進めていっていただきたいと思っております。町長、この件につきまして。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

この件に関しましては、私が就任して具体的に調整したことはありませんが、これからまた今の担当課長から答弁があったとおり、いろんなかたちで見直しに向けて、そして県、国に要請すべきのは要請、そして問題が発覚するものについてはマスコミを利用して取り上げていただいて改善する方法を検討しながら進めてまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

この日台、日中に関しては以上でございます。

次に、3点目の仲原家の利活用についてでございます。前回、平成26年第2回定例会におきまして、その定例会の答弁で、仲原家は仲原善忠先生の生まれた家ではなく、あとの兄弟が住んでいた家ということで文化財的な価値については今の段階では評価できないとありましたが、実際、仲原家は仲原善忠誕生という石碑も建立されております。敷地内には生家という立て看板も立てられております。この件につきまして執行部として、生家として確認できないのかどうか。

また先だつての定例会での答弁のとおり生家ではなくて兄弟が後々住んでいた家ということなのか、それを確認したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの棚原議員の質問にお答えします。仲原家については、やはり生誕の地ということで内外に発信しております。記念碑も生誕の地ということで建立しておりますので、生家でなくても、やはり生誕の地であったということで、その利活用についても仲原善忠先生の教育、そして歴史研究の功績も紹介できるような利活用を図っていきたくと考えております。あくまでも生誕の地として発信していこうと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

室長の方から生誕の地ということで取り組んでいきたいということなんですが、議事録を見ましても、町民の方々、それから内外にこの件を統一しておかないと非常に不信感を与えるというか、間違っただ情報を発信するんじゃないかと思うのは、仲原家の家屋について博物館の方にもいろいろ調べてもらったんですが、仲原先生が生まれた家じゃなくて、そのあと兄弟の方々が住んでいた家ということで文化財的な価値については、今の段階では評価できないという答弁なんです。これじゃあ向こうに建立している生誕の地という石碑と矛盾する内容になっていないかと思うんですが、これについていかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。議員からありましたとおり、生誕の地と生家は違うわけです。元々この屋敷にあった家で生まれたのが善忠先生。兄弟の《仲原喜秀》先生が建てたのが今のこの家です。元々そこの地で生まれたんだが建物は今の建物ではないということのご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

町長から答弁がございましたが、私は今日も行って確認しましたら、表の県道沿いには生誕の地という石碑が建立されて説明書きもされております。それから屋敷の中に入ると看板がありまして、そこは生家という書き方をされておりますので、生誕の地と生家と中と外と意味がちよっと違うんじゃないかなと、統一する必要があるんじゃないかと思いますがいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ご指摘のとおりちょっと紛らわしい表現になっておりますので、そのあたり担当と詳細を調整して、生誕の地という部分で統一した発信をしていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

今回、補修された家屋につきましては、そんなに古い建物ではないということで敢えて町指定の文化財という位置づけもしておりません。そのようなことでまた新たなプロジェクトの方で改修として、今後、観光振興の位

置づけで推進していきたいということでございますので、まずは町民の方々、そして島外の方々にも善忠先生の生家ということではなくて、そして文化財という位置づけもなかったということも、ご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

答弁の中で、仲原先生の功績及び久米島紬を内外に広く紹介、発信できる施設として活用を図るとありますが、久米島紬につきましては現在、近くにユイマール館を含め島内に紬関係のユイマール館という名前の施設が4カ所あると認識しております。その施設では不足であって、この仲原家でも紬関係の情報を内外に広く紹介、発信できる施設として紬も敢えて入れてあるのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

答弁の中に、仲原家の利活用方法として紬の紹介をいれておりますが、紬組合含めて現在ユイマール館でもいろいろ展示、実際の実技の部分も紹介しているんですが、やはりこの仲原家、古民家ということですのでごい趣があることから、ぜひこの真謝地区の散策の拠点としてそこを起点、終点としていろいろ活用したいという声もあります。やはり真謝地区は紬の里ということで仲原家の屋敷を使って展示することによって、すごい価値が出るんじゃないかということで内外の意見も取り入れて紬の展示もできるようにということを入れております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

明日の執行部からの議案の中にも仲原家の条例が提出されていると思うんですが、現在この仲原家の明日提案されるその条例の中には管理についてはプロジェクト推進室が管理するという事になっていると思うんですが、前回の定例会では、管理者は提案公募型で募集するという事であったんですが、その募集した以降に実際何件候補としてプロジェクト推進室が管理して、また再委託のかたちになるかと思うんですが、何件の応募があるのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

仲原家の運營業務については、今2件の応募があります。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

先ほどそこで紬の情報発信ということもありましたが、これにつきましては現在のユイマール館、そこも入っているのでしょうか。またあと1件につきましても、そういう紬関係なのか、業務をやっている方なのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

応募のあった2件とも紬関係の事業に携わっている事業者でございます。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

先ほど申し上げましたように、島内には真謝のユイマール館、町からいろいろ助成も受けて運営しているユイマール館がございまして、ユイマール館には観光客が視察する展示物の展示、販売も行っております。それから織子養成の施設もございまして。そういう近くにそういう施設がある中でこの紬関係のものが仲原家で必要なかどうかという思いがあります。それに代えて逆に美崎地区でも習字の教室とか、三味線の教室とかそういうこともやっておりますので、逆に仲原家を解放してそういう施設として活用させた方がいいんじゃないかと思っておりますが、それにつきまして何かございましたら、よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えします。この施設については、今の2件以外にもいろんな各方面からの要望等もありました。例えば寺小屋にして、今おっしゃるような地域の児童生徒たちが使えるような施設。そして夏休み期間に島外から来る学生さんたちが来て、そこでモニターを使っただけのいろんな事業ができないかどうかと色々な提案等があります。もう少し時間はかかりますが、ちゃんとしたかたちで選定して決める必要があるかと思っております。ちょっと時間はかかりますが、今後そのへんのいろんな角度から見ながら決定していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

次に、管理者を選定したあとなんですが、管理者は町のプロジェクト推進室、その再委託管理する場合の管理料は発生するのか。発生する場合は、その金額はいくらぐらいを想定しているのか。また、発生しない場合は無賃金で管理する者はいないと思われるが、管理者が施設を利用し、物品販売や入場料で利益を得る行為をしていいのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進課長 中村幸雄

管理運営については管理者を募集する中で年間の管理の収支計画も提出しております。そこでいろいろ体験交流とかいろいろする中で利用料も徴収して行うということですので、その収支も含めて年間これぐらいの経費がかかりますということで、事業計画も出させていますので、それに沿って運営していこうと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいま室長から説明がありましたが、そうであった場合に、管理者が利益を得る行為は管理者任せではなく、町も介入するというところでチェックするというところでよろしいでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進課長 中村幸雄

明日の議案の中でも仲原家設置条例でちゃんとそのあたりは謳われております。また詳細についても施行規則を制定して十分な管理をしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

仲原善忠先生の功績を讃えて伝承していくことにおきましては賛同いたしますが、町民の税金を導入し造り上げた施設でございますので、これから先の維持管理にも費用はかかってくると思いますので、造った負の遺産にならないようにしっかりと利活用計画を詰めていく必要があると思われませんが、最後に執行部の答弁をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進課長 中村幸雄

やはり多額の予算をかけて改修しております。ご指摘のあったように負の遺産とならないように、久米島のために活性化につながるような運営をしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

(1 番棚原哲也議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで1 番棚原哲也議員の一般質問を終わります。

次に、8 番島袋完英議員の発言を許します。

(8 番島袋完英議員登壇)

○ 8 番 島袋完英議員

8 番島袋です。通告書に従って質問いたします。まず1 点目に、現代版組踊笠末若茶良の公演についてお聞きします。(1)発表までに掛かった費用を知らせて下さい。それと、

この作品の著作権はどこにあるのか。3つ、制作に当たって、学校現場との意見交換は十分行われたのかどうか。4つ目、40名不足の生徒に投じられた予算の費用対効果、1千100万円余りの計上ですが、その効果はどうだったのか。公演後の学校現場からの意見は聞いたことがあるか。6番、「笠末若茶良」から学ぶものに何があったのかお聞きします。7番目に、那覇公演を行っておりますが、その収支明細を知らせて下さい。それから8番目に、今後もこの莫大な費用を掛けてずっと続けていくつもりか。26年度も600万円余り既に計上されておりますが、これをずっと続けていくつもりなのかお伺いします。

質問の2番目、地域公民館の活性化で福祉向上を図るということで、1つに、各町の自治会加入率を調査したことがあるか。2つに、戸数の少ない町の統合ですね、今30戸満たない町もあります。そういう町の統合を検討したことがあるか。それから、戸数の多いところ、逆にアパートが増えて多いところに従来の町のいろんなものが行き届かない、手が回らない状況になっているところもあります。そういうところは地区ごとに自治会をつくらせてはどうかと思いますが、その2つについてお答え下さい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

8番島袋完英議員の現代版組踊笠末若茶良の公演8項目について答弁いたします。まず1点目、発表までにかかった費用のことですが、平成24年度201万2千円、平成25年度929万円、合計1千130万2千円となっております。

2番目、著作権につきましては、台本、楽曲(2曲)、振付(2曲)については、久米島町教育委員会にございます。

3点目、学校現場との意見交換についてですが、社会教育の分野になります。取り組み前に学校へ協力要請を行い生徒の募集等の協力を頂きました。

4点目、予算の費用対効果のご質問ですが、40名の生徒が演じた舞台は、多くの町民を感動させ、久米島の歴史を伝え、子供達が自信と誇りを持ちました。人材育成、久米島の歴史文化の継承ができると思います。

5点目の学校現場からの意見ですが、久米島高校では、今回の現代版組踊を参考に、また総合学習として位置づけ取り組みをすることがございます。今後、久米島高校と連携を図ってまいります。

6点目、「笠末若茶良」から学ぶものにつきましては、演劇を通して、島の歴史文化の学習、表現力の育成が図られるものと思います。

7点目の収支明細につきましては、お手元の方に配布してございます。

8点目、継続するかとのことですが、高校生の主体的な頑張りが、久米島高校の魅力化、ひいては久米島町の活性化・人材育成にも繋がりますので、今後も子ども達を支援したいと思います。費用面の抑制については、自前で取組めるものを年次的に行い改善に努めていきたいと思っています。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

島袋議員の2点目の質問にお答えします。地域公民館の活性化で福祉向上を。その(1)、各字の自治会加入率の件ですが、今まで調査したことはありませんが、現在、各字区長を通して調査中でありま

す。2番の戸数の少ない字の統合を検討したことがあるか。そして戸数の多い字については自治会を結成させてはどうかということですが、この2点については職員間でも話題としては上がっておりますが、行政内部でまだ検討したことはありません。ただ、私の地域、上江洲、久間地、西銘あたりについては、西銘の公民館等がかなり老朽化しております、その改築の時に3つの字が1本にして中央につくったらどうかという地域の意見等もあります。そのへんはその地域と十分詰めて、今後どうするかについては行政としても支援できる分については支援していきたいと思っております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

再質問させていただきます。まず1点目の費用の問題ですが、これは3月の議会で、発表までにかかった費用を明細を出してくれということで出してもらいました。それを各議員が全部持ち帰って、あれこれ話が広がったと思いますが、結構、感動したということをおっしゃっていますよね。しかしこれだけ費用がかかったということは町民は分からないんですよ。これに1千100万円余りもかかっているということは。ですから私に電話くる人もいます。それから合ったときに、こんなに費用がかかっているのかというようにびっくり

したような言い方もあります。それで敢えて今後またこの模様はFMでも流しますので敢えて言うんですが、まだまだ町民には知られていないところがたくさんあるんです。ですから私は敢えてこの総額を聞いているんですが、1千100万円余りかけてやるような行事だったのかを聞きたかったわけです。

そもそもこれは平成23年に久米島で「読谷山花織の宴」、これを行ったわけです。その時に久米島でもこういうものをやったらどうかという話があったと書いてあるんですが、その話はどこからですか、教育長からですか、それとも業者からじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

「読谷山花織の宴」を平成23年のたぶん2月頃だったと思いますが、その時に上演いたしました、私は一番久米島の子どもたちに懸念していましたのは、内向きな子どもたちが多いということがまずございます。それはなかなか人前で表現できないということもあります。1つは表現力の育成ということがあります。

あと1つは、久米島高校、当時は210名前後の子どもたちがいたんですが、そのうち70%の子どもたちがアルバイトに集中しているわけです。すみません30%から40%です。ですから210名前後の子どもたちの約30%からしますと70名ぐらいの子どもたちがアルバイトにいそしんでおりました。

あと1つは、なかなか島の子どもたち、これは海外ホームステイの派遣のときにも子どもたちの面接をするわけですが、その時に久米島の文化を問いましたらなかなか即答でき

ないというのがありました。いろいろ考えながらエイサーとか、沖縄角力とかそういったことがあるんですが、やはり私たち島にある文化そのものがまだ子どもたちにも十分認識されていないというのがあります。まず1つは学力向上の取り組みの一環としての思考力と表現力、それからまた子どもたちの久米島高校の今の取り組みとして魅力ある学校づくりという取り組みもしておりますので、その中で久米島高校の子どもたちが主体的に活動できる文化面の活動というのがあります。

そして3点目に、今の話がございました現代版組踊りとしての島の歴史、変遷を認識して、島を思っしてほしいということがあります。これは当時私が一番懸念していたことがありまして、それと相まって業者の方からも、そういった打診がありましたので、きっかけとしては両方の考えが一致していたということでの今回の講演、そして今日に至っている状況になっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

自分たちの方から発案するのがあまりない、余所から声をかけられてやるのが多い中で、これは教育長が先にその話をしたと説明ではそうなっていますが、当初にいくらぐらいかかるのか、その見積もりとか、そういうのはとらなかつたんですか。これは私たち議会のチェックミスもあると思いますが、最初に何百万、何百万、何十万と出てきていましたね、予算書に。結局はトータルしてみたら1千100万円超しているという状況ですね。これは以前、具志川村でもビーチ整備にそういうことがあったんです。議会に諮る金額じゃ

なくて、最初400万円から始まったのが最終的には1千万円超したんです。追加、追加で出してきて、トータルしたら1千万円超したという具志川村でもそういうのがありました。ですから、当初からこれぐらいかかるという予測をしていなかったのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

1千130万円というのは、24年度の200万円、そして去年度の930万円ということですので、その時にはきちんと議会での補正、そして当初予算でもご説明はしているかと思えます。これにつきましては全て一括交付金で活用しております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それにしても私は、あまりにも費用のかかる学習になっているんじゃないかと思っているわけです。

それから、2番目の著作権、だいたい市町村が募集するときに、例えば町歌、町音頭、町木とか募集します。そうして決定してあとはこの著作権は久米島町が持ちますという契約をしていると思うんです。この台本じたい、楽曲から振り付け、著作権は教育委員会が持っているんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

脚本、楽曲、振り付けにつきましては教育委員会の方に当然ございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

著作権を自分たちで持っているのであれば、別に600万円余りの予算を掛ける必要があるんですか、今年度。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

脚本につきましては、いろんな久米島の出身の上江洲均先生、そして仲村昌尚先生、それから業者の方と詰めながらやってきたわけですが、楽曲につきましては委託料の中にも入っておりますし、またこちらの方で音楽をやっております。その中には議員もご覧になったかと思いますが、バンドの皆さん方が曲をつくって、当日はそれを演奏しております。振り付けにつきましても沖縄本島のタオファクトリーという業者ですが、そちらの方から何回か久米島の方に来ていただいて、こちらの子どもたちの方に振り付けしておりますので、当然そういった経費もかかっておりますし、また著作権につきましては当然こちらの方で予算支出しておりますので、これは久米島町の方ということでご理解お願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

著作権もこちらにあるわけですよ。楽譜も。そうであれば600万円も要らないんじゃないですか。先につかわれた費用を見ると、700万円近くは、ほとんど島外のその業者にいっているんですよ。これからも600万円も指導料とか出るんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

この著作権といいますのは、平成25年度いろいろ振り付け、作曲したものですので、去年度の929万円の中の金額として考えていただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私が言っているのは、26年も600万円余り組まれていたでしょう。それなんです。26年度もそんなに金がかかるものかと、この行事は、そういうことなんです。終わったものを見ると、600万円というのは、ほとんど島外のこの業者、指導料とか音楽だとか、そういうものについているわけです。これからはじゃあここでまとめて、音楽の高校の先生とかにお願いして楽団もつくれると思うし、そんなに必要なんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

平成25年度が930万円かかっております。ですからその著作権等を除いた分、例えば音響、照明、それから当日の音楽もお願いする予定ということがございますので、それにつきましての音響、照明等への金額となっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

3番目の学校関係と十分調整してやったように答弁しておりますが、実際進んで集まった生徒は何名いるんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

平成23年度の2月頃に「読谷山花織の宴」の組踊りを開催いたしまして、4月頃からこれはぜひ久米島町の方でもやろうということで子どもたちに呼びかけをしましたが、当初は4、5名しか集まることはありませんでした。そして8月の夏祭りに何名かの子どもたちを舞台上げて、そこでダンスをしたことで、そのダンスを見た子どもたちがまた1人、2人増え、そして12月頃に再度情報プラザ等あたりでの音楽、振り付け等をそこで子どもたちに見せた時から徐々に増え、最終的には39名の子どもたちが集まったということがあり、当初につきましては子どもたちも、まずは23年度の2月の現代版組踊りを見た子どもたちが少なかったということがありまして、そんなに関心はなかったと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

当初4、5名からだいたい8名ぐらいになっていましたね。私もその練習風景をちらっと見ていったことがあるんですが、ほとんど練習していません。遊んでいました。結局そこに監督がいないんです。誰がそこをみているのか分からない。そういう状況だったんです。そして2月に発表がありましたが、その時は40名になっています。その40名の10名ぐらいは登武那覇太鼓のエイサーの子どもたちでしょう？ それを含めて40名ですよ。話を聞くと、なかなか参加する人がいなくて、発表前になって出てくれ出てくれとお願いしてやっている状況があったんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

当初計画しましてから生徒の募集にたいへん苦勞しました。高校へ行きまして校長先生と担当の先生といろいろ相談しまして、学校の視聴覚教室におきましてDVDを流して鑑賞したり、学校の朝礼の場へ行って校長先生にお願いして呼びかけ、そういったかたちでいろいろ募集してきました。

議員がおっしゃるとおり、当初、祭り後まで集まりも悪くて、独自でダンスを練習していました。生徒が募集がかないましてからは集中的にやってきた次第でございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ですから進んでやるものだったら分かるんです。ところがこの場合は予算も組んで取ってあるから、そしてやることに決めているから何とかやらんといけないというふうな、なんか教育委員会の、子どもたちというより自分たちの事業を成功させたいと。つくったからには成功させたいという、そういうようななんか回答とは違うようなあれが見えてくるんですよ。子どもたちが自信と誇りをもちましたとか、人材育成、久米島の歴史文化の継承ができると書いてありますが、本当にそういう状況だったのかですよ。これに力を入れていますが、じゃあ久米島の歴史というのはこれだけなのか。球美若獅子太鼓、登武那覇太鼓はどうなっていますか。人数分かりますか、教育長。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

確かに久米島の歴史文化というのは、これだけではありません。これからいろんな分野の歴史文化を子どもたちに学習させたいと思いますが、今ご質問のありました登武那覇、球美若獅子太鼓の人数につきましては、よく存じておりません。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

登武那覇太鼓は仲里村の時に立ち上げました。球美若獅子太鼓は具志川村で立ち上げました。あの時の青年達が青年団の達成感を生み出そうということでふるさと創生資金、それから予算を立ち上げて太鼓とか買ったんですよ。その時は40名超したんじゃないですか団員が。小学校6年から高校、一般成年まで。青年会が中心になってやったものですね。おそらく登武那覇太鼓もそうだと思うんですよ。球美若獅子太鼓も。これがどんどん下火になっていっているのに、そういうものの育成には全然手が届かない。新しいものにまたこれだけ予算をかける。これも本当に続けられるんですか。今、社会教育の中で球美若獅子太鼓と登武那覇太鼓の位置づけはどうなっていますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

登武那覇太鼓につきましては、その主宰者であります松本一也さんが代表となって小学校の子どもたち、そして中学校、高校まで異年齢交流をしながら、その中で育成していますのでたいへん素晴らしいことだと感じております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

そういう自主的にやるものほど応援していくべきじゃないですか。球美若獅子太鼓はこの前、新任教員の歓迎会の時に見たんですが12名ですよ団員が。それから地謡が青年1人、これは役場の職員みたいですが。あとの2人が中学生の地謡、地謡3名と太鼓やってるのが11名ぐらいですよ。今日はこれだけですかと言ったら、これで全部ですと言うんです。青年は1人しかいないんですよ。そして行政から補助金とか助成金ありますかと言ったら、行政からは1円もないと言うんですよ。しかも暗闇で練習しているんです。そこに街灯1つぐらい付けてもらえたらと、私は前に教育長にも話したことあると思うんですが、暗いところで練習してるから街灯1つぐらい付けたらという話もしたんですが、結局まだ付いていないんですけれど。その子どもたちが進んでやるようなものにもっと力を入れていくべきじゃないですか、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

ご指摘のとおり全ての物事において主体的に取り組むというのが、まずは一番よろしいんですけれども、これまで社会教育におきましては今回の組踊りにつきましても教育委員会が事業をもってきて、子どもたちにお願いしたわけなんです。それ以外に例えば三線教室とか、いろいろ踊り教室とか、これも何かのきっかけをつくらなければなかなか町民の方々が集まらないということがあります。今回の組踊り現代版につきましても教育委員会がまずは音頭をとって子どもたちの方にゼ

ひやってくれということがありました。それも先ほど議員の方からご指摘がありましたとおり、本当に当初予算の方でお願いした手前、それが無いということは、たいへんまた予算の無駄遣いということもありまして、それを1つのきっかけでもあります。ぜひ高校の子どもたち、中学生の子どもたちについても参加をし、久米島の歴史文化を学びながら、それを取り組んでほしいということをお願いした経緯があります。

私が申し上げたいのは、確かに900万円で今年も600万円の予算のついておりますけれども、その記念公演の時に昼、晩併せて850名、そして沖縄本島でも800名の関係者の方々がご覧いただきました。これはこれまで久米島町においてはそういったことはたぶんなかったのではないかとということがございます。そういった意味ではたいへん久米島の関心で、そして久米島町の成長を町民は大きく感じたものではないかということがございます。私たちも文化協会、そしていま島袋議員が関係されている民俗芸能につきましても、たいへん感動します。感動はしますけれども涙は出てきません。今回多くの町民の方々が舞台を見て感動し涙したと思います。これは沖縄本島でもいっしょです。そういったことで私たちが期待するものは子どもたちのこれからの人材育成、そして子どもたちの成長でもありますので、ぜひそのへんもご理解いただき、今後も私たちも町長の方へお願いし、継続していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

沖縄本島でも、元々は勝連町ですか、今の

うるま市ですか、14年前にそういうのが立ち上がってやっている。これがきっかけみたいですが、しかしあのへんでもあまりにも金がかかりすぎるといった意見があるんです。なんでこれにこんなに金がかかるのかと。しかもうるま市で立ち上がった「阿麻和利」は今は既に興行団体になっているんですよ、独立して。卒業した父兄がそのまま終わらすのはもったいないということで父兄たちが集まってそれをつくっているんです。結局、興行になっているんです、いろんな団体と一緒にあって、音響ですね。

ここもそういうふうなものになりかねないわけですよ。逆にそういうふうな団体をつくらせてやった方がいいんじゃないかと私は思ったわけです。教育委員会のあれじゃなくてね、球美若獅子太鼓とかそういうものみたいに誰かが代表リーダーになって立ち上げてグループをつくってやる、そういうものに移行すべきじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これからの方針としましては、父母会を結成し、その中でいろんな組踊り現代版につきましても意見交換をしながら、出来るものは自分たちの活動で、そしてまた高校、一般の吹奏楽部がございいますので、そのへんから活用できるのか、いろんな分野から検討してその現代版については継続していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これはこのままですと私は続けられる可能

性はないと思います。こんな予算をかけて、毎年600万円の予算をかけてやるのは続かないと思います。逆に早めに民間団体に下ろして、1千万円かけて楽器も買ったじゃないですか教育委員会は。高校にそれを預けているわけでしょう。それを中心にしてつくらせればいいんですよ、楽団も。久米島オーケストラみたいな。やろうと思えばできますよ、今は音楽の先生もたくさんいますから。だから早めにそういうふうなものに移行して、行政からそんな金がかかるようなものではないような団体に私はすべきだと思うんです。とにかく費用対効果、結局は30名ですよ、実際は、登武那覇太鼓を除けばね。その30名に1千万円余りつかうというのは、私はあまりそんな行事ではないと思います。

子どもたちにもっと支援するものがたくさんあるでしょうが。いま学校現場は派遣費とかがなくて毎年どの学校もチャリティーグラウンドゴルフ大会やっていますよね。この前高校がありました。一般からみんな寄附を募るためにやっているんです。そういうふうはまだまだつかえるところはあると思うんです。私はこれは無くしなさいということじゃないんです。感動しているのはいますよ。しかし中にはそんなに感動するものではないと言う方もいるんです。結局なんで久米島の歴史はそんなものかということになってくるわけです。ですから考えるべきだと思います。

5番目の、その終わったあと、学校現場から、その子どもたちの担当の先生方とか、その現場から話を聞いていますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは何名かの先生方しか聞いていないんですが、やはり久米島高校としても、その子どもたちを活用して12月もしくは1月あたりに再度久米島高校の方でも取り入れたいということがあります。これにつきましては1年生の総合学習の中で1年生から取り組み、そして次の1年生、次の1年生へ引き継ぎたいという思いでいま久米島高校の方で取り組んでいるというお話を聞いておりますので、久米島高校でも、たいへん評価が良かったんじゃないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番 島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私も学校の先生と話しました。考えてみると、子どもたちでクラブ活動しているのはわずかですよ。そういう積極的な子どもたちがこれにも行くわけです。そうすると今あるクラブ、これがどうなっているかと。クラブ活動に支障を来しているという話もあるんです。それ教育長は聞いていないですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

いちクラブの顧問の先生方から、組踊りの練習に熱心のあまり本来のクラブ活動が疎かになったということも聞いております。これは私たち予想もしなかったことでありまして、さっそくその情報が入ってきた時点で子どもたちを集めて、担当の方から子どもたちに強くそれを注意しております。

○ 議長 喜久里猛

8番 島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ですから、一気に久米島高校の魅力化とい

うことになったものですから、一気にこれもこれもというふうにやるきらいがあるんじゃないかと思うんです。子どもたちは少ないのに、しかも高校のクラブでもないのに、それを総合学習の中で取り入れなさいとって誰が責任をもってみますか。教育委員会で誰か責任者がいるんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは教育委員会が主催するのではなく、久米島高校独自の方で校長先生が、ぜひ、したいということでの申し出がございました。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これはおそらく出来るものではないと私は思います。そうするとクラブ活動かどっちかが駄目になります。1人の子どもがこれもあれもって出来るはずなのに。じゃあクラブ活動をやっていない子どもたちに勧めたってやらないわけでしょう。実際発表会の場にもいなかったわけですから。ですから、あまり久米島高校というんだけど、生徒もいないところに無理に高校でお願いしますというのは、これは学者に限らず一般も巻き込んだものにやった方がいいと思うんです。音楽は音楽の先生方が担当してやってもらって、あとは生徒だけじゃなくて一般、青年も含めたものにして1つの劇団をつくらせた方が私はいいと思います。

若茶良から学ぶものが何かというと、私も勉強不足だと思いますが、仲村昌尚先生が書いた『久米島の按司物語』という本がありました。この質問の前に資料を見ようと思って

博物館に行って調べたらないんです。この本が。《仲嶋》さんは、あったんだけど無くなってる。博物館は貸し出しもするんですかと言ったら、いや博物館は貸し出しはしていません。ただ無くなっていると。それからセンターの2階の図書館へ行って調べました。そしたら司書の《豊中》さんは、パソコンで登録を調べて、それには登録されているんです。『久米島の按司物語』と、291番。ところがこれも無いんです。彼女も、あったけど誰が借りていったかな、みたいな。そういえば、その若茶良のあれになってから誰かが借りていったような気がするというんです。それが戻ってこない。その本をぜひ探してくれと言ったんですが、この若茶良から何が学べるかというとはよく分からないんですよ。お母さんが恋しくて、涙石に座ってずっと泣いていたというふうな、それを史劇化しているんですけど、どうして若茶良は知名按司に訴えられるようになったんですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

この按司時代というのは、当時本当に、それがあったかどうか分かりません。これは具志川城あとの建物についても本当に建物がそこにあったのかどうか。瓦葺きだったのか茅葺きだったのか、それも全く分かりません。そういったグスク時代につきましては、当時の首里王朝、琉球王朝の王が中心となって全ての島々の按司時代というのは、そこで埋没している状況がありますので、本当にそれが史実かどうかは全くありません。これはあくまで脚本、演劇ということで、ご理解お願い

したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

仲村昌尚先生が書いたこの本をずっと何十年か前に読んだことを思い出しているんですが、あの本には、若茶良があんまり初々しくて、今で言えばイケメンで頭も良くて民衆から慕われてすごい人気があるもんだから、これは親の伊敷策按司がこのままにしておくとして将来は自分が攻められるんじゃないかと妬みをもって伊敷策按司が仕掛けたというふうにあの本では、仲村先生の本ではそうになっていたと思うんです。ですから、結局若茶良だけとって久米島の歴史をやっているんですけど、じゃあその裏で伊敷策按司のところはどんな感じになるんですか。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

若茶良について若干説明したいと思いません。若茶良については、粟国の女性の方が久米島の方に流れ着いて、伊敷策按司の側室となって生まれた子が若茶良と言われていまして。その若茶良が生まれた場所ということで宇山里の方にはそのお家がございます。その若茶良のヘソの緒を埋めたというのが山里の方にウガンジュとして残っています。そこには大きなソテツがありまして、昔から仲地、山里の方々はそこを拝んでいます。

西銘の方には、若茶良が清水の前の海岸で釣りをするとき、そこに釣り竿を置いた場所ということでチナバクということで西銘の方にあります。そういった歴史的なことを自分たちは聞いて育ってきました。

ただ、その若茶良が大きくなって登武那覇グスクを築いたわけですが、その中でいま議員からありましたように、若茶良は人望があって、それが首里王府の方から目を付けられたということで、伊敷策按司が親でありながら若茶良を討つという。その中でお母さんは粟国に帰されて、若茶良はそれを慕って泣いたのが涙石でございます。

仲村昌尚先生の本の中にも、そういったことが書かれていまして、久米島の歴史的な物語について、島民の方々も知らない方々いっぱいいました。なんで登武那覇グスクがあるのか、そこの按司は誰だったのかも知らない。その中で島の子どもたちも、そういったことを知らない部分がありまして、ぜひそういった歴史的なものを島民、島外に伝えたいという思いもありまして、島の子どもたちにそういった組踊りを、しかも子どもたちが表現しやすいようにということで現代版を取り入れたわけでございます。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後2時52分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後2時52分)

○ 環境保全課長 保久村学

すみません、言葉の中で不適切な妾という言葉がありましたので訂正したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

教育課長からもあったんですが、それがこんな大げさにやるような久米島の歴史なのかと、伊敷策按司が非常にかわいそうに思えてきたんです。すごい悪者ですよ、伊敷策

按司は。自分の息子を攻めるわけですから。裏にはそういうのがあるというのも考えてもらいたい。ひょっとしたら兼城あたりに、その子孫もいるかもしれないし、若茶良は子孫はいませんよね。ですからこれだけのあれで史劇で楽しくやったと思うんですが、こんなに金かけてやるべきものかなと私は今でも思います。逆に伊敷策按司の娘、南に渡った娘ありますね。これ教育長分かりますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

すみません、そのへんの具体的な話は分かりませんが、いろいろ久米島においては民話集がございます。その民話集の中にそういったこともありますし、あと私たちがよく話にしますのが君南風、具志川按司、それから宇江城按司ということで、当時いろんなグスクがあって、その中で私たちの文化が受け継がれてきたわけですが、そういったことでこれが本当なのかということはありません。これは先ほど伊敷策按司が本当に登武那覇按司に討たれたのかということもありましたが、これも定かではありません。ただ、やはりいろいろ劇をつくる場合には脚本家という方、これは上江洲均先生、それから仲村昌尚先生の文献も参考にしながら、今回の脚本が出来ておりますので、それが事実ということではありませんので、そのへんご理解をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

私はかえって按司の娘、宮古に渡っているわけです。ところがこの記述というのは久米

島にはないです。だけど宮古とか、与那国にはあるわけです。久米島から来たということが。お宮もあるわけです、ウガンジュも。その按司の娘が流されて、向こうで生活してまた親に会いにきた。

宮古に鉄の製法を教えたというのも久米島だと言われていきますよね。これも久米島にはないわけです、こういう資料が。ところが宮古の方にはそんな話があるわけです。久米島の歴史をおもしろくやるなら、かえってその方が良かったんじゃないかと私は思うんですけれど。

次に7番目の那覇公演。これも決算書を出してもらいました。見てびっくりするんですが、結局、町から50万円、協賛金として124万円、広告、入場料が143万円あります。だけどこれも結局、那覇の公演事業者の方に20万円余りいっているわけでしょう。今後もそういうことになるわけですよね。今後もそういう考えになっているんですか、今年も。教育長。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

今年度につきましては、今の当初予算一括交付金を活用しての舞台公演を考えています。今回の那覇公演につきましては、業者の方が率先して沖縄本島、そして島内の事業者、協賛会社を周り、依頼して協賛依頼金、そしてまた入場券ということを中心に那覇公演を開催してございますので、これにつきましては今回の600万円では久米島での舞台発表ということになります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これはね、那覇あたりでは、この業者があっちこち西原、豊見城あたりも、そういう話を持ちかけているみたいですが、一般の悪く言う人たちは、子どもたちをだしにして興行をやっているという話もあるわけです。それを教育委員会に持ちかければ、いかにもいいことだからといって、しかもまた一括交付金があることは知っていますから。どうせ国から出たお金じゃないかと思っているかもしれないけれども、周囲ではそういう声もあるわけです。ですからそういうものを払拭するような形で私は自前の金のかからないような事業をつくっていくべきだと思うんです。

今年26年度も私たちは予算は決定したんですが、私はそんなにつかってほしくない。つかわないで出来るようなものに移行すべきだと思います。それと、先ほども言ったんですが、早めに久米島で楽団を立ち上げて、久米島オーケストラみたいなのを立ち上げて、それで出来るような、そんなものを育成していくべきじゃないかと思います。

時間がありませんので、次に公民館についてですが、これは特に仲里側では比嘉あたりがアパートが多くて、イーフとか、おそらく自治会費といいますか、字費といいますか、これが取られていないところが多いと思うんですよ。これはうちの太田でもそうですし、仲泊あたりもそうなんです。払うところだけ取ってるような状況なんです。ですからこういう状況がどんどん増えていくと、結局、久米島は田舎だといいいながら那覇の大都会と変わらないような状況になりつつあるんです。アパートの隣にいても挨拶も交わさない、顔も見つけない。こういう状況に今なってい

るわけです、久米島でも。私はこれは敢えて行政のほうに、早めに調査をしてもらって、出来ましたら自治会制、区を分けて自治会長になってもらって、公平なもっと田舎の昔のそういうものを取り戻せるような地域づくりに力を入れてみてはどうかと思うんです。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

島袋議員の質問にお答えします。現在合併して12年目を迎えているんですが、合併して現在32字になっています。確かに字が多すぎる部分は皆さんも感じていると思います。ただ、この問題に関してはいろいろ字の大小に関わらず、若年層の減少によって少子化傾向に歯止めがかからない状況であるということはお察しのとおりであります。以前の活気が失われたように感じます。

字の統合とか自治会の結成については各区長さんのご意見や、また地域の皆さんのご意見等を拝聴しながら慎重に進めていかないといけない部分があると思います。

今後、区長会とか十分議論しまして、また来月あたりから地域懇談会に入っていくと思います。その中で町民の声を聞きながら十分検討していきたいと思いますので、ご了承をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

以上ですが、特に地域活性化においては、地域公民館の有効活用を図るためにも私は今一度真剣に協議してもいいじゃないかと。IT時代に入っているわけですから、逆に先ほど町長が言いました3島部落で1つの案もあ

ると。それは非常にいいことだと思います。ですからその公民館に逆に職員を置いて、公民館でだいたいのはできると、窓口の、住民票とかが取れるぐらい、そういう公民館も検討してみてもいいと思います。

以上で終わります。

(8番島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで8番島袋完英議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午後3時02分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後3時12分)

5番宇江原総清議員の発言を許します。

(5番宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

5番宇江原総清です。私は4点質問いたします。第1は、鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。本年5月22日の沖縄タイムス紙に「久米島沖合で爆発音・黒煙上がり地面揺れた」と、きのこ雲の様な黒煙が上がった写真が掲載されております。またRBCニュースでは、(1)きのこ雲のような煙が上がった。(2)米軍は鳥島射爆撃場に航空機を使った訓練をしたが、使用した機種や具体的な訓練内容は明らかにしていない。(3)役場は島の北側5カ所を放射能測定調査を行ったが、異常は確認されなかったと、字幕で放映しております。

次の3点について町長に伺います。1点目は、放映されたきのこ様な黒煙、これははつきり言ってきのこ雲ですよ。これを見ると、私はこれを劣化ウラン弾ファミリーの中の砲弾だと見ております。町長はどの種の砲弾と見ていますか。2点目は、町は放射能の測定

調査を実施したとしているが、専門家を含めた調査なのか。また今後の調査はどう進めていくのか。3点目は、町民の健康的・環境的被害は、じわりと後世にも負の遺産として引き継がれると私は見ていますが、町長はどう思うか。

第2は、コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川を含みます。1点目は、県南部農林土木事務所から、町のコンクリート護岸のハザードマップの作成と優先順位の提出を要求されました。このことは2回の定例会でも執行部に伝達、質問をし、要請もしましたが、なしのついでです。進捗状況はどうなっているのか。

2点目は、ふれあい広場一帯が何回も越波で水害を受けてます。同一帯の護岸と河川の見直しをしたらどうでしょうか。加えて浦地川を一部石積みにし、両岸をクメノサクラ、サガリバナやオキナワサザンカ等の花木を植栽した公園を造ったらどうでしょうか。

第3は、真謝、天后宮の対聯に対する歴史認識と奉祀についてであります。約250年前に中国の冊封船が真謝沖で遭難した。喜久村 絜聡地頭代を先頭に中国の乗組員200名全員を救助した。琉球の尚穆王は久米島への感謝の意で真謝に天后宮を建立したと言われております。そして副使周煌は、天后宮に対聯を寄贈された。しかし、その対聯は現在、愛知県岡崎市の世尊寺にあると言います。私は、この天后宮に係る史実、歴史認識を町民が共有し、この対聯をあるべき姿に戻し、奉祀するのが自然だと思います。十分な意見と議論をつくして、対処すべきと考えるが、教育長の意見を伺います。

第4は、久米島一周線謝名堂から泊間の拡

張工事についてであります。本件道路は、前回の定例会でも質問した。5年程前、2009年8月31日ですが、その時に地権者の86%から同意書を取り付け、県土木建築部長にも本件同意書を添付した陳情書を前町長が提出しています。また、同区間は以前から杭打ちもされていますが、町長は本件道路拡張工事をどう進めているか伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

ただいまの宇江原総清議員のご質問にお答えします。まず、1点目の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。1番目に、短時間の映像記録しかありませんので素人では断定することは不可能かと思われまます。(2)専門家を含めた調査は実施しておりません。5月27日に原子力規制庁から毎年、実施している放射線量の測定で連絡がありましたので、今年は早期に実施する様、要望しております。(3)劣化ウラン弾誤射事故の後、これまでの国の対応、現在の社会情勢の中、これ以上の期待は可能性として極めて低いものであります。

追加になりますが、私は当日5月21日に東京出張に行きましてちょうど飛行機から降りて羽田空港に着いた同時にマスコミからの電話がありました。その時初めてこの事実を聞いております。その後、担当者が役場にいるからその内容等は役場の担当の方から細かい情報は聞いて下さいと。そしてその日に新聞に掲載していいかということでありましたので、併せてそれは事実であればそれで書いてもいいということであり取りをしております。

す。早速26日に出張から帰って、その日に防衛局の方に足を運んで、11時30分午前中ではありますが、防衛局の次長ほか担当の者に強く抗議をしております。詳しい事情についてはその後、今現在報告はございません。

次、コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)であります。まず、1点目の質問につきましては、県で調査しております新しい海岸のあり方の動向結果をを踏まえながら町の計画を検討していきたいと考えております。

2点目の質問につきましては、ふれあい公園一帯は台風時の潮位上昇が主な要因で越波が起こっており、ふれあい公園一帯の波高をいかに抑えるかを検討する必要があるものと考えております。花木を植栽した公園については具志川浄水場北側で公園整備を実施しておりますので浦地川での公園整備計画は現在時点ではありません。

久米島一周線謝名堂から泊間の拡張工事についてであります。国、県へ随時要請しておりますので、引き続き要請していきたいと考えております。

追加になりますが、5月26日に建設行政に関する懇談会が総合事務局の局長を中心に各自治体からの代表者の皆さんが集まって、その時点でも久米島のこの路線については要望事項の1つとして提出しております。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

5番宇江原総清議員の質問にお答えします。天后宮がどのように建立されたか町民も

大半が認識されていないようですが、私たちの先人達の活躍を久米島博物館を通して発信できればと考えます。対聯に関しましては、100年以上前に島を離れ現在は愛知県岡崎市の寺にございますが、今日に至るまでには、私たちの知る事の出来ない経過があり、再度、天后宮に奉祀するのは困難であると考えます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

再質問します。まず、第1の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。町長は1点目の放映されたきのこ雲について、私の質問に対し、短時間の映像記録しかないの素人では判断は不可能だと答弁しています。それでは町長、劣化ウラン弾に厳しい専門家に調査判断してもらうことにしたらどうかということ伺います。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまの宇江原議員の質問ですが、その前に、その当時の経過報告をさせていただきたいと思えます。まず、5月21日、皆さん新聞でご存じのように午前10時半頃、鳥島射爆撃場付近で黒い噴煙が上がりました。行政には当時通報はなく、翌朝21の夕方のニュース等でそういう放映がありましたということで職員から情報があり、それで知った次第です。

当時、町長が公務出張中で町内外の関係者への問い合わせをしながらインターネットや各方面からの情報収集や確認作業を行いました。

まず、沖縄防衛局に事実関係確認を行ったところなんですけれども、アメリカ軍からの特別な訓練をやっているとの情報提供を受けおらず、確認もできていないとの報告でした。そして引き続き確認作業の継続をお願いしたところ、アメリカ空軍の方から、その日の10時から11時の時間帯で鳥島射爆撃場にて空軍の航空機が訓練を実施した趣旨の回答があったことを22日の4時頃に連絡がありました。

そして、島内の関係機関ですが、久米島漁協の方から同日の午前10時から11時にかけて演習を実施する趣旨の連絡が米軍の方からあったことが確認取れましたので、その後22日、23日の両日にかけて、毎年定点観測を行っている箇所なんです。真謝漁港、シンバルの漁港、そして具志川城址の3点に加えて2カ所追加して測定器で測定を実施しましたが、日本の自然界で受ける放射能も基準値でありました。インターネットを通じて様々な情報が流れ住民の不安、観光の影響が懸念されますので、町のHPにて状況を掲載しました。また、この内容についての問い合わせは把握しているだけで、島内から2件、島外のマスコミや報道関係者を中心に観光で来島予定の観光客をあわせ10数件ありましたが、現在は落ち着いている状況です。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長は、このきのこ雲の件を他人事のように答弁していますが、危機管理はどうなっているのかと言いたい。町民の生命・身体の保護の任にあるものが、この種の事件に対して、アメリカ軍や日本政府を擁護するとは何か

と言いたい。劣化ウラン弾等放射性物質に厳しい専門家にも調査に参加させることは、ごく当然なことであり、自然ですよ。きのこ雲について、町が素人で判断するのが不可能であれば、なおさら、前述の専門家の調査・判断を求めるべきですよ。

また、2点目の「放射線の環境調査」についても、矢ヶ崎克馬琉大名誉教授は「単発的な調査では、検出は難しい」と言っています。私は原子力規制庁に頼ることなく、独自の専門家チームを編成して調査・対応すべきだと考えますが、町長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

これまで、原子力規制庁放射線環境対策部において、放射能測定を実施していますので、この測定結果をもって、町として対応していきます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町は、「久米島本島の北側5か所の放射能測定調査を行ったが、異常は確認されなかった」とコメントしています。いつ、誰が、どのような方法で実施したのか伺います。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

5月22日の15時から16時55分、翌日の5月23日14時43分から16時の2日間、私と2名の職員3名で、放射能測定器（JG22N）で地上1メートル程度の高さで、1カ所当たり5回測定し、5カ所の測定箇所を調査しましたが日本で自然界で受ける年間の放射線量の基準

値以内でありました。

観測で基準値以上の測定値であれば、今後の対応についても検討すべきかと思いますが、今回は基準値以内ということで、今後は例年実施している通常の定点観測になります。

又、国の担当部局である原子力規制庁放射線環境対策部監視情報課放射線環境対策室へ、今年度の調査については早急に実施できないかお願いしたところ、早い時期に実施できるようにしたいとの連絡が5月30日にありました。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は、前回の定例会で「アイリーン・ウェルサム」の著書、「プルトニウム・ファイル、いま明かされる放射能人体実験の全貌」という本を紹介しました。戦後、アメリカで人体実験が行われたことは、クリントン政権での「人体実験調査委員会」の調査結果でも明らかになっています。

この様なアメリカの本質と歴史的な経緯から、私は前回の定例会でも嘉手納弾薬庫の40万発と言われる劣化ウラン弾は、鳥島射爆撃場で消費されると、質問をし訴えました。私に言わずと案の定、5月21日にきのこ爆弾を打ち込みました。アメリカ軍は使用した機種や具体的な訓練内容を明らかにしていません。という事は国連決議で製造・使用が禁止されている砲弾を使用しているからですよ。アメリカ軍は今後ともクラスター弾・ナパーム弾あるいは劣化ウラン弾を平気で打ち込むと、私はみています。何故か。これは「特定秘密保護法」をたてに軍事的機密を明かさな

いことが出来るからです。

加えてアメリカという国家は、戦争依存症で、先程から説明をしているように、自分達の多くの国民・子供や女性さえプルトニウムなどの放射能で人体実験をした歴史的事実があります。このように、アメリカ軍は、日本政府に、差別的で捨石のようにされている沖縄県の、しかも反対の声が届きにくい、本町鳥島射爆撃場に平気で国連決議で製造・禁止された劣化ウラン弾やクラスター弾を打ち込んでいるとしか考えられません。

町長に伺います。まず一つは、アメリカの放射能人体実験の歴史的事実を認識していますか。

二つ目は、きのこ雲の実態と放射能測定について、原子力規制庁以外の専門家に実施させる予定はないのか。

三つ目は、「原子力規制庁に、早期の実施するよう要望した」との答弁ですが、見せかけのパフォーマンスで消極ではないのか。町長の答弁をいただきたい。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

劣化ウラン弾については、私も勉強不足であり、議員の質問に対して明確な答弁ができませんのでご理解下さい。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が「鳥島射爆撃場の早期返還」の三点目の質問で、町長は「劣化ウラン弾誤射事故の後、これまでの国の対応、現在の社会情勢の中、これ以上の期待は可能性としては極めて低いと思う」と答弁しています。私の質問に

全く答えていません。この答弁の意図することは何ですか。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

これまで国による調査では、長年、自然界と同レベルの結果で推移していることから、現在おこなっている測定調査の範囲でとどまるものと考えています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が心配し、質問しているのは、「町民の健康的・環境的被害は、後世に、我々の子孫に負の遺産として引き継がれるのでは」という事です。再度伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

劣化ウラン弾による放射能被害については、明確な調査やデータによって判断されると考えます。劣化ウラン弾誤射事故後、再三、国への被害調査を要求してきましたが、年1回の環境調査にとどまっています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

矢ヶ崎克馬・当時の琉大教授は「鳥島射爆撃場に劣化ウラン弾が発射されたとき、高濃度のウランが検出されたが、アメリカ側はその危険性を認めなかった。被爆についてはアメリカの核戦略の下、内部被ばくのデータが隠されてきた」と、こう訴えています。この事は、前述の戦後50年間もの放射能人体実験をしてきた、戦争依存症のアメリカの体質で

もあります。

アメリカの人体実験の結果、要約して五つが判明しています。①アルファ線粒子が一日わずか5ミリシーベルトでも3か月間にわたって触れれば、子孫に障害の出る可能性が高い。②妊婦が鉄の放射性を飲まされたら、一時間もしないうちに鉄は胎盤をくぐり抜け、胎児の血管をめぐっていた。③10歳未満児の調べで、胎児が子宮内で10から20ミリシーベルトの放射能を浴びると、幼児期のガンと白血病の発生率が50パーセントも上がる。④子供が成人の3から4倍も多いストロンチウム90を骨にためる。⑤放射能を浴びた男性の睾丸萎縮や不妊化の確認で、0.5から1.0シーベルトの低線量でも突然変異を倍増しかねない等々が判明しています。

また、放射性物質は、食物連鎖を通して人体にガンや遺伝子の破壊等健康障害を与えている事も判明しています。それでも「これ以上の期待は、可能性として極めて薄い」と、しらをきるのですか、伺います。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

町単独で島民全体の健康被害調査を実施することは、多額の予算が必要となってきます。単年度だけにとどまらず、継続的に健康調査を実施しなければ、データの蓄積はなされません。以前にも平良前町長が答弁されましたが公共的機関の見解を基本として、現在の久米島町にける放射能の測定結果及び沖縄県福祉保健部と沖縄県環境研究所が昭和48年から平成14年の30年間の沖縄県民平均寿命、年齢死亡率の推移、主要死因の年齢別死亡状況等をまとめた基礎資料が公表されていますの

で、死亡原因の分析や健康診査等のデータについて、分析が可能かと思われます。そのような客観的データをもとに、判断する必要もあるのではないのでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

5月21日の鳥島射爆撃場における「きのこ雲爆弾」は、私は劣化ウラン弾の大きい砲弾だと見ております。それでも「鳥島射爆撃場の早期返還ののろし」を町民挙って挙げない限り、アメリカ軍は「消極的な町政の声をイエス」とみなし、劣化ウラン弾をますます打ち込んでくると思います。

町長は、「鳥島射爆撃場早期返還の総決起大会」を決意されていますか、伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

町内の各種団体等の意見を聞き、調整の上、早期に総決起大会を実現できる方向で進めて行きます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

次に、第二の「コンクリート護岸の撤去等」について再質問をします。

一点目の「ハザードマップの作成等」についてですが、「新しい護岸のあり方の動向結果を踏まえて、町の計画を検討する」ということですが、町としての主体性、独自性を持った計画をしていただきたい。平成15年に施行された「自然再生推進法」は、「ボトムアップ」、つまり「地域住民の意見を聞く」事をうたっているからです。

私が何故、海岸線や川辺のコンクリート護岸を「自然に戻せとか、作り直せ」と、言うのか。まず、見苦しいこと。生態系を壊しているからです。静岡県、三保の松原のテトラポッドが富士山の「世界文化遺産」にふさわしくないとして、撤去を条件とされました。それに最近の新聞では、「岸辺にコンクリートで固める護岸などをした割合が高い河川や沼湖ほど、ニホンウナギの漁獲量の減少が激しいと、東京大大洋海洋研究所等がまとめたとのことです。「餌、隠れ場所を失う」とも。また、「ニホンウナギ絶滅危惧種に」として、今年も稚魚の漁獲量は増えたが、短期的な変動の範囲内とみられ、長期的には激減しているとも報道しています。

コンクリート護岸は、これまで治水として施されてきましたが、そのために海の幸・川の幸の激減や自然体系が壊されたことも事実であります。この機会に、是非、島の自然再生を図っていただきたい。コメントをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田喜秀建設課長。

○ 建設課長 大田喜秀

私も6月に異動してきたばかりですので、再度、県の動向調査結果を確認して、調整していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

中国の乗組員200名を救助いたしました。そしてこれにまつわる天后宮と対聯について、町民とともに歴史認識をするために、足を運んで検証したらどうでしょうか。また、天后宮を素晴らしい宮にして、文化振興の再

建に繋げたらどうかということについては私に思っておりますけれども、町長の意見を伺いたい。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほど、教育長から答弁がありました。天后宮については、これまでの歴史、いろいろな過程がありますので、専門家の先生方、博物館に携わった皆さんの意見も拝聴しながら、これから後世に残すためには、こういう価値のある施設については、保護すべきものと思っています。

返還等のものについては、専門的ないろいろな角度から詳しい方々の意見を拝聴しながら教育委員会と協力して前向きに検討したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

天后宮については、建物もだいぶ老朽化しています。仲原家も私は見てまいりましたが、素晴らしい建築を、改修工事やっております。特にですね、沖縄本島でも見られないような改修工事を行っていることに私は感心を覚えております。そういうようなかたちでぜひ天后宮の見直し、そういうものもやっていただければと考えています。

それに、先ほども申しましたけれども、天后宮の菩薩像、これについては昔の人から、昔と言ったら我々の時代の幼少の頃の時代の人たちから言わせば、そこを通るときには立ち止まって一礼をして去ったというような習慣ができていたようです。それを、私は神仏とか、自然の畏敬に対する認識が非常に欠如していると考えております。そういうような

意味で、ぜひ、この菩薩像を久米島町の文化遺産ということだけではなくて、子どもたちの精神的文化、それに対する情緒ですね、そういったものにも繋がっていくようなことを、町長の手腕でぜひ実現をさせていただきたいと思っております。これについて教育長からもう一度。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

私たち沖縄県、そして久米島町の方におきます首里城の扁額というのがあります。あと一つは、お話のあった周焯の対聯というのがありますが、現在、首里城の扁額につきましては、岡崎市の美術博物館の方に収蔵されております。あと、一つは岡崎市の世尊寺という寺に本堂の両端の柱に据え付けられています。これにつきましては、5月2日に沖縄県の文化財課の方に行きました。当然、副知事の方から指示があったということで文化財課の方について対応してほしいということが知事の方からメッセージがあったそうですが、文化財課としては、沖縄県としては、扁額につきましては900万のレプリカを岡崎市の方でつくり、そして沖縄県の方に寄贈した経緯があって、沖縄県からあえて求めるということはないという話がありました。

あと一つは天后宮の対聯に関しましても世尊寺の方にあります。去った5月31日、私用でありますけれども、岡崎市の方にまいりました。前もって博物館、美術館の館長と副館長の方に、世尊寺の方に行きたいということでの打診をしたわけですが、世尊寺の方から来るなというお話がありました。これはこれまでいろんな出来事があり、それに

ついて、沖縄県、久米島町にはぜひ来てほしくないということがありました。先ほど議員の方から、最初からできないということをするなということですが、今回のことにつきましては、相手方があり、相手方は行政ではなく、いち世尊寺ということがあります。その世尊寺につきましては、志賀重昂氏の関係者の皆さんの思いで建てられた菩提寺でありまして、その住職が3代目ということですが、その住職は、久米島の皆さんの考えと私たちの考えはまったく違います。180度異なりますというお話がありました。最初の答弁でもご説明しましたが、やはり相手方がまったく会いたくもない、話もしたくない、来るなということもございます。これは行政でしたらいろんな交流をはかっているわけなんですけれども、いちお寺ということで、関係者も多数いらっしゃいますので、その関係者の皆さんの意向として、これは返還すべきものではないという、向こうのはっきりした意志が表れ、そして私の方にも明確にも話をされておりました。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私が言っているのは、帰されたからといって、難しいからといって、はいそうですか、というような状態におくのがおかしいと言っているんですよ。いいですか、そういった難しいからこそ、その対聯について、僕はすぐに帰してくれとはいいません。町民の対聯や天后宮に対する共通認識を持って、あるいは歴史認識を持って、そして何回もそういうような相手方の胸襟も開くような措置もとりながら対応していく。これが説得の自然なカタ

ちなんです。できませんと帰されたら、はいそうですというようなものは、やはり行政というのはそうではないと。私も行政の経験はあります35年間やってきました。そういったものほど、やっぱりやりがいがあるというような感覚とか、あるいは地元のために相手の胸襟を開くためにはどうすればいいかと、こういうようなものを考えながら、もちろん相手も尊重しながら、そういうかたちで対応していくのが筋だと思っています。

新しい教育課長も来ていますので、そのへんのところをどう考えていくべきかというのを答弁願いたい。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

確かにいま、議員のおっしゃるとおりなんです。これまでの過程があります。私は前もって世尊寺の住職の方にも昨年度お電話しました。その時にも電話したくないというお話がございました。やはりそれまでの経過があり、そして今年度5月31日に行った間においてもいろいろな経過がございます。あえてそこは触れませんが、そういったいろんな思いがあって交流という話には、まったく現在のところできそうもありません。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

繰り返しになりますけれども、これは相手方の意見も尊重しながら、そしてこちらも意図も説明しながら胸襟を開いていくと、こういう手法でないといけないと思っております。最後に伺いますけど、町長、今のような手法でやっていくかと、こうなったら最初か

ら諦めありきというようなかたちで何のための行政かと、私は疑ってみます。町長の意見を聞きたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほども申し上げましたが、できたらその専門チーム、係わる専門の方々を組織してですね、検証し、検討し、場合によっては、博物館でお借りして、展示をすとか、いろんな方法があるかと思っています。それは専門チームで、実際議論していただいてやる方向が私は望ましいかと思っています。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

最後の要望ですけれども、いま博物館に展示されているのはその対聯の説明がないと、それから喜久村潔聡氏の絵図がまた別個、さらに天后宮の図がまた別個だと、こういうようなかたちでありますけれども、一つにする方法はないものか、しかもこの対聯というのは、そういう天后宮の方に厳重な警戒のもとに保管してみんなが観覧できるような方法はないものか、ぜひ、町長を含めての執行部で対応していただきたい。ということをお願いして、私の質問を終わります。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで 5番宇江原総清議員の一般質問を終わります。

次に、3番平良義徳議員の発言を許します。

(平良義徳議員登壇)

○ 3番 平良義徳議員

3番平良です。1点だけご質問いたします。

旧久米島中学校跡地について、旧久米島中学校は統合により新しい球美中学校へ移行したが、跡地の野球場、体育館等も含めて校舎(学舎)の今後の管理や利活用方法等の方針を伺う。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

平良議員の久米島中学校跡地についての質問にお答えします。平成25年度の山里議員の一般質問の答弁でも説明されていますが、現在の状況は校舎は社会福祉協議会やさくらが利用し、体育館は健康づくりで活用、管理は福祉課となります。運動場については今後のスポーツキャンプの誘致やパークゴルフ場の拡張も含め、環境保全課の管理に移りますのでよろしく願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

旧校舎は社協、さくらが利用するという事は前から聞いております。福祉施設としてつかわれることは、地域住民としても喜ばしい限りだと思っています。ただ、旧校舎は3階建てで各教室や体育館に面した2階のコミュニティールームも含めて多くのスペース空間があります。その一部を文化活動、交流の場としてつかえないか、伺います。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田 明

2階、3階に関しては、だいぶ厳しい部分があるということで、例えば災害が起こった

時の、避難体制はどうするのかとかと、今帰仁の社協さんの方で2階を使用しているんですが、エレベータを設置しているんですが、いざ災害となったときに停電するだろうということで、それが課題として残り、そこに車路を造るか避難道を造るかという難題が持ち上がっているということで、以前に2階、3階については教育委員会で塾とかあるいは議員からお話がありましたいろんな団体が事務所として利用する計画でしたが、原則的に2階、3階については教育委員会は、現施設で十分対応できるということで、2階、3階あるいはミーティングルームとかに関しては、現在、フリーの状況です。スタートから固めた計画にするのではなくて、今後いろんな提案等があると思いますので、そのへんも参考にしながら、取りあえず全体を福祉施設という位置づけをして、その2階、3階については、今後、柔軟性をもった計画にしていきたいということで進めていきたいと思えます。

ただ、学校廃校手続きは終わっているんですが、まだ県立学校教育課の管轄ですので、そのへんの手続き等が済んだあとにしか、改修とか移転等ができない部分がありますので、それは教育委員会と連携しながら、進めている最中であります。また改修については当初予算、そして今回の補正でも計上しております。一部利用できるように社協とさくらが利用できる部分に関しては予算化しております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

地域には書道家、舞踊家または音楽活動をやっているメンバーもおります。学校行事と

か地域行事を積極的にイベントに参加して人材育成に貢献しています。それで活動する文化交流をする場、そういったことも要望があるわけです。後々は、その他に複合施設とかこういった文化交流の場とかを視野に入れているということであるわけですか。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

確かに学校としての施設ですので、だいぶ面積的にスペースがあります。今現在でも使われていない状況に関して、各団体等から問い合わせがあります。今後、決まるまでの間でもいいから臨時的に使わせてくれないかとの要望もあります。例えばグラウンドに関して、久米島高校の陸上部さんが使いたいということで、教育委員会の方に相談があり、陸上部が使用しております。一部、野球の指導等で日曜日だけなんですけど使用させております。

2階、3階や先ほどありましたミーティングルーム等に関しても、2階、3階は決まる間には柔軟を持たせた使用法を考えてもいいんじゃないかということで、これについては総務課を中心にして、今後の活用を検討していきます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

ある地域の方から要望書を預かってますので、ちょっと紹介したいと思います。

久米島町内で文化施設として気軽に使える場所が必要である。よく観光施設や公民館があるので、必要ないと言われていたのですが、町内で永年、文化活動が続かない要因だと思っております。町民のための文化的場所が足り

ない。子供達や青年たち婦人、老人に至るまで多くの方が必要性を訴えております。現在具志川改善センターや老人福祉センター、仲里改善センター使用できないとそれから目的以外では使えない。公民館は各字にあるが、この行事以外ではなかなか使えない。文化活用等は一番目に大人は仕事で心身共に疲れ、若い人たちは育児や周りの人たちとの兼ね合い等心を語り、育て、踊り、発散できる場所です。

2つ目に子どもたちは学校を終え、スポーツ以外は行き場所が少なく、感性が豊かな時期なのに指導し、語り合う場がない。

3つ目に町外から定期的に来島して久米島の芸能や文化的芽を作ろうとしている人たちもおりますので、旧久米島中学校の跡地利用の活用はどうでしょうか。近年すてきな町に変わろうとしている久米島の今後に関して文化施設はぜひ必要だと思います。島の人口を増やすためにも魅力ある場所づくりをお願いします。文化づくりの委員会は町内の担当者だけではなく島に通ってくる文化人や観光的なアイデア等、男・女・地域の関わりをもつ若い方々も参加できる委員会を作ることが将来の久米島の活性化を導くことに繋がると思います。こういったメッセージをもっているわけです。町長これに対してコメントをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えしますが、この施設については行革の方で跡利用についての検討をこれまで進めてきております。今、総務課長からあったとおり、2階、3階の使い方に

については教育委員会も関連しますので、その関係課を含めて、今要望にあるようなものが、使えるかどうか、そしていろんな団体がありますので、その団体の事務所としても使えないかどうか、それも検討を進めていきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

こういった方針について詳細に答弁いたしましたので、これはこれとして終わりたいと思ひます。

次に、運動場に関しては、スポーツキャンプの誘致、それからパークゴルフ場の拡張ということではありますが、具体的に説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

具体的にという部分なんです、実はまだ具体的に議会の場で説明できる状況までいってありません。ただ案ということで、各団体あるいは関係課を中心に庁舎内で、これから詰めていくという状況ですので、具体的な部分で、あとでパークゴルフ場の拡張をどういう事業でやる。どういふふうにするという青写真等が必要です。あるいはスポーツ合宿に関しても、産業振興課が中心となり進めておりますので、その詳細がある程度できあがった時点で、議会の皆様にも公表するべきだと思ひますので、その時点で説明していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

なぜこれを申し上げるかと言ひますと、皆さんの答弁がこういった誘致やパークゴルフ場の拡張ということで質問したわけ、僕が知りたいのは、今、現状どおり運動場がありますよね。少年野球とか、例えばグラウンドゴルフこれもやはり開放して自由に使えるということですか、今の現状の場合は、それを知りたいわけ、ということはパークゴルフもブームになっていますが、やはり老人達の話の聞けば、着いていけないという方々もいるんですよ。平坦地でこれまでグラウンドゴルフが普及してきていましたが、パークゴルフ場ができて、皆さん向こうに関心を持たれているようなんですが、そのへん僕が確認したいのは地域の方々がグラウンドゴルフできるか、それと少年野球も今自由に使用できるか、それなんです。今聞きたいのは、お願ひします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

グラウンドについての部分だと思うんですが、先ほど申し上げましたように高校の陸上部と一部の野球部の練習に使っている状況です。今議員から質問のあったグラウンドゴルフ使えるとか、各種団体が、その情報を得て利用したいという要望がでてくるのが十分考えられます。その点に関しては、グラウンドは1つですので、その団体間で協議されてスケジュール等バッティングしないように調整したうえで使用すべきだと思ひますので、どういふ団体が希望してくるのか、その後、協議していくべきだと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

中学校の跡地になっていますグラウンドにつきましては、今、久米島高校の陸上部も活用していると思います。これは従来、久米島高校のグラウンドで野球それから陸上ということで一緒に練習していたんですが、今年度から野球部の部員が45名と増えだいぶ狭いような状況になっております。そうした中で危険性があるということもあり高校の陸上部の方から久米島中学校跡地のグラウンドをぜひ使わせて欲しいということがございましたので、そこにつきましては、いろんな運用管理規定を作りながら利用すると思うんですが、現時点では高校の陸上部が使っていますので、できればその時間帯をずらして午前中でできればいいかなということがございます。

ただ特に行政の方として、芝を張ってということは、今後、久米島高校の陸上部の方には支障がございますので、そのへんいろんな関係課とそして久米島高校、そして私たち教育委員会の方で調整を図りながら管理課が何処になるのか、そのへん少し調整をしながらやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

3番平良義徳議員。

○ 3番 平良義徳議員

今、答弁がありました。久米島高校が使っているということは良いことではあります。ただ、そのへんは今後調整しながら、もし開いている時間帯をスムーズに利活用できるように行政の方も、また考えていただきたいと思っております。久米島中学校跡地のことに関して十分理解はできました。

最後に隣に久米島小学校がありますので、こちら今後利用する方々、登下校のとき通学

路になっていますので、このへんぜひ気をつけて関係団体に周知させるようお願いしたいと思います。以上で私の質問を終わります。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで3番平良義徳議員の一般質問を終わります。次に10番饒平名智弘議員の発言をゆるします。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 10番 饒平名智弘議員

10番饒平名智弘、保育士や幼稚園教諭採用をすべきでないか。久米島町は、一般職員や消防士は採用しているが、保育士や幼稚園教諭は、ここ何年も採用していない。久米島町の若者が久米島町の職員として、保育士や幼稚園教諭として働きたいと考えているが、その機会が与えられていない。今後の事を考えると計画的に採用すべきではないかと思いません。

○ 議長 喜久里猛

(大田治雄町長登壇)

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの饒平名議員の質問にお答えします。保育士については今後も、民営化の可能性を進めていく中で検討していきます。幼稚園教諭については今後、教育委員会において幼稚園の統廃合計画が検討される場所ですので有資格者の状況等を踏まえ、今後の計画を検討していきます。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

まずはじめに、保育士の採用について再質

問します。保育所の民営化を進めている中で厳しいというが、しかし、保育士を目指す若者がたくさんいる。私は、採用すべきだと思う。それと中央保育所の職員は何名か具体的に答えてほしい。また保育士の採用を最後にしたのはいつなのか。それと待機児童はいるのか。また、今後、民営化をするにしてもどのように進めていくのか伺います。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

ただいまの質問にお答えします。中央保育所は職員が29名おまして、保育士26名なのですが、そのうち19名が正職員となっています。保育士の最後の採用なのですが、平成9年の4月に最後となっております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

最後の採用は？。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

最後の採用は平成9年4月です。

○ 議長 喜久里猛

饒平名議員、今何の質問、解答ほしいのは何でしょうか。

(「休憩お願いします」の声あり)

休憩します。(午後4時21分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後4時22分)

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

職員の採用についてなのですが、皆さんご

存じの通り合併しまして職員数が類似市町村よりだいぶ多い状況です。行政の中でも行政運営する段階で定員管理計画というのがどうしても作成せざるを得ないです。その類似市町村に持っていくために、じゃあ職員数をどうするのか、あるいは部門毎にいろいろ国県の指導を仰ぐわけなんです、現在、福祉部門に関してはだいぶ超過している状況で、それとどうしても合併、当時の職員数となっていますので、やっぱり年齢層も高いです。確かに若年層を雇用すべきじゃないかというご意見はいっぱいございます。そういう中で長い時間をかけて職員層、適正規模をもっていくのか、その採用をちょっと控えて、早めに適正規模に持っていくかというどっちかの選択になるかと思います。現在、町の方では、退職者に対して、だいたい年間の採用が3名程度ということで、適正規模に達するまでは、その計画でもっていこうという部分で適正化計画を作成しております。議員のご指摘のとおり確かに保育とか福祉部門の子どもたちが今、島外で勉強してだいぶ帰ってきている現状は十分承知している状況ですが、その行政運営の中で運用しないといけないということは承知いただきたい思います。よろしくお願いたします。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

職員の年齢はバランスが悪いですね。保母さんの平均年齢が53才ということで報告受けております。それが良いのか悪いのかというより、私は、この17年間も保母さんを採用していないのが、問題だと思うんです。17年というと本当に長いと思う。それだけ久米島町

は保母さんを採用していないということは、保母さんになりたくて町の職員として働きたい人たちに対してとっても冷たい感じがする。民営化も分かるんですが、でもそれでも私はやっぱり職員採用は将来のことを考えれば少しでもやっていった方がバランス的だと思いますよ。それとさっき数字の方では待機児童がいるという話ですが、町長は施政方針で待機児童をゼロにすると公約しています。私が聞いたら数はちょっとはつきりしないということなんですが、いっぱいいるような話が聞こえます。町長は待機児童をゼロにするというのをちゃんと言っていますので、そのへんはどのように今からやっていくか。担当課長。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

私は、公約の中で保育所の待機児童をゼロにするということをうたっております。これは先ほど申し上げたとおり、その年齢層の段階の保育士の数が決まっておりますので、特にゼロオ児は基準で5名ですか、そういう基準がありますので、その年齢構成に応じて対応できるような、今後、民営化するにしても新たな基準作りを、もう少し専門的な立場で議論させて対応したいと思います。

そして将来的には、今の中央保育所が正職員おりますが、段階的に退職がどんどん増えてきます。あと2、3年ではだいぶ減ってきます。その時点で、残った職員を民営化する保育所に派遣するというような仕組みをとりますので、そして民営化の基準として、もっと見直しをする必要があると思います。

今聞きますと民営化した保育所が本採用が

全くないということも聞かされております。それでは我々の当初狙った民営化の本来の目的にはちょっとずれがあります。それを今、議員から指摘のあるとおりの久米島の若い子たちが島に帰って来て安定した保育士を目指して、その夢を潰さないようなかたちで、なるべく安定するようなかたちの採用のあり方を今後指導しながら検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

今話を聞いて、私もそう言ようとしたんです。今後、本当に中央保育所を残すか改めるか、もし民営化するにしてもやっぱり久米島の保母さんを目指す子たちが、安定して働きやすい民営化をやるべきだと思うんです。

次に幼稚園について、幼稚園も10数年年間、職員の半分は保育所との人事交流でやっています。幼稚園も統合計画が検討しているといいますが、やはり保育士と幼稚園教諭の仕事や身分も異なると私は思う。やっぱり保母さんは保母さんでやってほしいし、そこを幼稚園の先生がいないから免許を持っているから、そこに派遣するというのも、ちょっと先生たちが、とても負担を感じると思う。特に初任研とかそういうものに大変な話も聞こえます。そういうことで、今後やっぱり私は幼稚園教諭も採用すべきだと思います。町長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

ただいまの質問にお答えしますが、保育園の今後の統廃合の計画も確定した後に、今の

年齢構成も見ながら退職が何時何名いるのかいろいろなシミュレーション出しながら、私は循環として若い子たちの採用も必要だとは思っていますので、そのへんもう少し、担当課とも相談しながら統廃合に向けての検討を含めて平行して検討していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

次に、幼稚園の統廃合の計画が検討されていると、回答もらったんですが、統廃合の計画を検討しているということは、もう何年なるかわからないような僕の受け止め方なんですよ。そのへん、何時この計画をやって、統廃合をやるのかということは教育長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

いま幼稚園の園児が89名おります。しかし、それぞれ6園におきましてはバランスの悪い数字があります。議員の方からご指摘のありましたその教諭の問題があり、そして園児たち、子どもたちの数があって集団の学びがいまできない状況になっています。これは5月におきまして幼稚園教諭を集めまして、幼稚園の教員の考え方、それから各学校の校長先生、小学校の校長先生、園長という肩書きも位置づけもありますので、園長先生のお話も聞いており、やはり意見といたしましては、ぜひ統廃合を早めにやってほしいということが大半となっております。私たち教育委員会もこれは前回の議員の質問でもありましたが、統廃合計画を推進するということがございます。そういった意味で幼稚園の教諭の意見

そして園長の意見、また保護者の意見も聞かなければなりません、どうしても私は統廃合をするためには地域説明というのが、まずは前提でございますので、そのへん保護者の意見を踏まえ、それを1園にするのか2園にするのか、またいろんな考え方がございますので、そのへん早めに皆様方の意見を集約し、そして幼稚園統廃合検討委員会を設置して、その中で早い時期の幼稚園の統合ができるようなかたちで、また進めていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

いつこの計画をやるのか。そこは答えることはできないですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

まずはこれを年度をやってしまった場合、どうしても行政ありきということが保護者からありますので、このへんは保護者にきちんと説明責任を果たしながら準備委員会の中で1園の場合には、例えばそれから計画をして基本設計、実施設計、そして建築となった場合には年数がかかります。2園となった場合には、またそれぞれの2園の今の園の校舎の改築、増築もしなければなりませんので、今の段階では何時というのは申し上げられるような状況ではないと思っています。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

私は、いつと決めた方が、目標が、そこにあるから早くできると私は思うんですよ。私

も幼稚園の統廃合は早めにやるべきだと思うんですよ。今回、統廃合計画を検討するというのが出ていますので、人はやっぱり目標をもったら、それに向かってやりやすいんですよ。早めに統廃合をやるために、目標は持つべきだと思うんですよ。教育課長に答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

初めての答弁ですが、統廃合の件につきましては昨日総務課長からもお話し聞きました。今、教育長からもありましたように前向きに進めるというかたちで、昨日そういう話をやっています。ただ細々と詳しい経緯は聞いておりません。

その件につきましては、帰りまして、担当の職員とも話し合いをしながら経緯を探りながら、今後また前向きに進めていきたいとおもいます。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

幼稚園の統廃合、教育委員会では給食センターの改築もあります。あと一つ博物館の建設推進というこの大きな3つの大きな事業を抱えて、そして箱物、そして財政のけっこうなお金がかかりますので、そのへん財政を少し調整をしながらやっていかなければ財政の負担というのかなり厳しいものがございしますので、財政と調整をしながら推進していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

話聞けば図書館もいいんですが、子どもにはやっぱり早く統廃合した方がいいですよ。子どもは1年1年成長しますので、早くやった方がいいと思います。最後になりますが、教育長、長い間ご苦労さんでした。また教育長、まだ教育課長が真っ白なうちでやった方がいいですよ。いろんな話を聞いたらやりやすいですので、本当にそこを頑張ってください。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで10番饒平名智弘議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後4時35分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号2番） 幸地 猛

署名議員（議席番号3番） 平良義徳

平成26年（2014年）

# 第4回久米島町議会定例会

2日目

6月13日

平成26年第4回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成26年6月13日（金曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	6月13日 午前10時09分	議長	喜久里 猛
	散会	6月13日 午後2時02分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員  出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	3番	平良 義徳	9番	崎村 正明
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	4番	翁長 学	5番	宇江原 総清
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	書記	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	大田 治雄	教育課長	上里 浩	
副町長	桃原 秀雄	環境保全課長	保久村 学	
教育長	比嘉 隆	建設課長	大田 喜秀	
総務課長 兼行政改革推進室長	平田 明	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	津波 実	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	真栄平 建正	
税務課長	上原 厚	消防長	上江洲 勝志	
福祉課長	田端 智			
会計管理者	儀間 由紀			

## 平成26年 第4回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕  
平成26年6月13日（金）  
午前10時09分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	81 p
第2	議案第33号	平成26年度久米島町一般会計補正予算(第1号)について	81 p
第3	議案第34号	平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	98 p
第4	議案第35号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	99 p
第5	議案第36号	久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	99 p
第6	議案第37号	仲原家設置条例について	100 p
第7	議案第38号	議決内容の一部変更について	105 p
第8	議案第39号	ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について	105 p
第9	報告第2号	平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書について	108 p
第10	報告第3号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	109 p 109 p
第11	同意第3号	久米島固定資産評価審査委員会委員の選任について	110 p
第12	同意第4号	教育委員会委員の任命について	111 p
第13	同意第5号	教育委員会委員の任命について	112 p
第14	同意第6号	監査委員の選任について	113 p
第15	選挙第1号	久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について 閉会	113 p 113 p

(午前 10時09分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、4番翁長学議員、5番宇江原総清議員を指名します。

日程第2 平成26年度久米島町一般会計補正予算(第1号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第2、議案第33号、平成26年度久米島町一般会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

それでは議案第33号、平成26年度久米島町一般会計補正予算(第1号)の概要について申し上げます。

予算書ページを捲っていただきまして、平成26年度久米島町一般会計補正予算(第1号)の概要につきましても、歳入歳出それぞれ1億9千288万2千円を追加し、総額77億6千540万9千円といたします。

歳入歳出の主な内容についてご説明いたします。予算書6ページをお開きください。歳入につきましても、13款国庫支出金で7千86

万5千円を計上しております。内訳としまして、社会保障税番号制度のシステム整備にかかる総務費国庫補助金542万4千円、臨時福祉給付金、国庫補助金5千87万6千円、子育て世帯臨時特別給付金、国庫補助金1千456万5千円を計上しております。

続きまして、15款県支出金の2項県補助金で8千245万円を計上しております。その内訳としまして、1目の総務費県補助金で沖縄振興特別推進交付金が県支援分を含めまして6千722万5千円の増額、震災等緊急雇用対策事業として533万5千円を計上しております。また3目の衛生費補助金で沖縄県海岸漂着物地域対策推進事業費補助金として689万円。4目の農林水産費県補助金で青年就農給付金の追加分として300万円を計上しております。

続きまして3項県委託金であります。1目の総務費県委託金では農林業センサス、経済センサス基礎調査等にかかる県委託金が56万6千円、3目の農林水産業費県委託金で県立自然公園管理費として14万4千円、ミバエ地上防除委託費として9千円、そして7目になりますが、教育費県委託金では沖縄県教育委員会研究指定校事業費として15万円の計上となっております。

次、7ページに入りますが、18款繰入金では財源調整分として、財政調整基金より2千503万8千円を計上しております。

次に、20款諸収入では176万円を計上しております。内訳としまして農地中間管理事業の委託金として164万円、FMくめじま電気使用料として12万円を計上しております。以上が歳入の内訳となります。

続きまして、歳出について説明いたします。

まず人件費の減額補正が3千469万1千円に

ついて説明いたします。これは平成26年度当初予算編成後の職員の退職に伴う人件費の減額及び市町村職員共済への負担金の掛率変動に伴う減額となっております。なお、人事異動に伴い各課間で人件費の組み替えを行っております。

次に、款別の内訳を説明いたします。予算書8ページになりますが、1款議会費では人件費の減額7万7千円を計上しております。

続いて、9ページに入りますが、2款総務費では1億1千937万4千円の増額となっております。主な内訳につきましては、これは10ページになりますが、3目財産管理費「その他公共施設等管理事業」において旧久米島中学校校舎の改修にかかる費用を福祉課に組み替えるために190万円を減額しております。

次に、9目電算管理費では「町内LAN管理事業」の光回線利用料、賃借料、工事請負費として356万円の増額計上となっております。また「総合行政システム管理事業」では、社会保障、税番号制度導入にかかるシステム改修整備費として552万7千円を計上しております。

次に、11ページに入りますが、10目防災対策費は、防災無線の修繕にかかる費用40万円を計上しております。

次に、14目プロジェクト推進費では旧仲原家の運営にかかる光熱水費13万5千円。

12ページに入りますが、「海洋深層水複合利用プロジェクト推進事業」では、海洋エネルギー実証フィールド整備に伴う調整旅費46万1千円。ハワイ郡との姉妹都市提携3周年セレモニーにかかる費用として需用費62万円。そして海洋温度差発電プラントの説明用プレハブ設置の整備にかかる費用として47万

5千円を計上しております。

またICT街づくり推進事業では昨年度設置しました全島Wi-Fiのプロバイダー料金及び回船使用料として141万6千円を追加計上しております。

続いて13ページに入りまして、21目沖縄振興特別推進交付金事業関連では、「久米島観光プロモーション事業」では35万6千円の増額また安心安全な観光まちづくり事業においても281万8千円を追加計上しております。また「久米島観光誘客促進事業」では185万6千円の減額をしております。

続きまして、14ページに入りますが、「スポーツ合宿誘致事業」では150万円の増額、「自動車運転実証フィールド事業」では5千700万円の増額を計上しております。

15ページに入りまして「Wi-Fiアンテナ設備導入事業」では6千136万2千円の増額計上となっております。

17ページに入りまして戸籍住民基本台帳費の「結婚披露助成事業」では100万円の増額計上となっております。

続いて18ページで選挙費では町長選挙にかかる326万8千円を不用額として減額しております。

次に、19ページに入りまして、統計調査費では経済センサス基礎調査にかかる費用11万6千円、農林業センサスにかかる費用45万円を追加計上しております。

次に、21ページに入りますが、3款民生費では6千294万4千円の増額となっております。主な内容としましては、社会福祉総務事業において旧久米島中学校校舎を社会福祉施設として活用するためにかかる光熱費100万円、修繕費406万3千円を計上しております。また

今年4月の消費税率8%への改定に伴い所得の低い方々への影響を鑑み暫定的臨時的な措置としまして実施される臨時福祉給付金の経費として5千87万6千円。

飛びまして24ページになりますが、子育て世帯臨時特別給付金にかかる経費として1千456万8千円を計上しております。

25ページに入りますが、公立保育所運営事業では献立等作成業務委託料として37万円を健康プロジェクト推進事業の委託料から組み替えて計上しております。

次に、26ページの4款衛生費では845万4千円の増額となっております。主な内容としまして、3目環境衛生費の環境衛生事業で臨時職員賃金で152万円。そして沖縄県海岸漂着物地域対策推進事業費として689万円。

28ページに入りますが、2目環境衛生施設費ではクリーンセンター運営事業で269万8千円。

29ページに入りますが、クリーンセンター事業運営費で169万円。火葬場運営事業で8万3千円を追加計上しております。

続きまして、30ページに入りますが、30ページの6款農林水産業費は1千93万7千円の増額となっております。主な内容としましては、31ページに入りますが、4目畜産業費において県の震災等緊急雇用対策事業を活用して実施する久米島山羊ブランド化事業の委託料53万3千円を計上しています。

続いて、7目構造改善事業費において青年就農給付金事業の追加分として300万円を追加計上しております。また新規事業としまして、下の方になりますが、農地中間管理事業として164万円を追加計上しております。

次に、33ページに入りまして、2目農業振

興費では林業振興事業と県立自然公園管理事業において組み替えを行っております。

次に、36ページの7款商工費では623万7千円の減額となっております。主な内容としましては商工費の商工振興事業の旅費で20万5千円。離島フェア支援事業において負担金15万3千円を計上しております。また観光費の「バーデハウス管理運営事業」で設備の改修工事にかかる費用として412万2千円。「フィッシャリーナ管理運営事業」の修繕費として52万3千円を計上しております。

37ページに入りますが、「ウミガメ館管理運営事業」での修繕費を52万7千円を計上しております。また「路線バス運営事業」では球美中学校へ通学する生徒への支援のため路線開設に伴う委託料127万2千円を追加計上しております。

続いて、38ページの8款土木費では134万2千円の減額となっております。主な内容としましては、39ページに入りますが、「道路維持管理事業」において使用料を50万追加計上しております。

続きまして40ページに入りまして、飛行場管理費の「空港管理事業」において231万6千円の減額補正を行っております。

42ページに入りまして、9款消防費では39万6千円の減額となっております。主な内容としましては人件費の組み替えによるものです。

最後に、44ページの10款ですが、教育費では77万5千円の減額となっております。主な内容としまして事務費の特別支援教育事業においてタブレット端末の購入にかかる費用11万4千円、沖縄県教育委員会研究指定校委託事業にかかる経費15万5千円を計上しており

ます。

また46ページに入りまして、「小学校管理事業」では修繕費を31万円。

47ページに入りますが、中学校管理運営事業では修繕費22万7千円、備品購入費で66万2千円を追加計上しております。

次に、49ページに入りまして、3目文化振興費では、なんくるさんしんの新唄大賞グランプリ受賞に伴うハワイ沖縄フェスティバル派遣補助金として25万円を計上しております。4目の博物館費では施設警備委託の切替に伴う費用として11万7千円を計上しております。

51ページに入りまして、3目保健体育施設費では、パークゴルフ場の券売機の購入費用として20万6千円を計上しております。

以上が平成26年度久米島町一般会計補正予算（第1号）の主な概要となっております。

平成26年6月13日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

2点ほど質問したいと思っています。14ページのスポーツ合宿誘致事業、これは主に旅費だとか、消耗品、印刷費ですが、これはどういった競技を久米島に誘致しようとしているのか、それとも県内のスポーツ団体なのか、県外なのか。またこれまで相手方と交渉して

きてほぼ確定してるものなのかお願いします。それと予算全体見まして賃金の項目が多いですね。16ページのこれ組み替えですかね、税務課。22ページの社会福祉、福祉課です。26ページもありますね。28ページ、クリーンセンター。29ページ、リサイクルセンター。それから32ページで、これは農林水産課ですか、構造改善事業、48ページもありましたかね、49ページにもありますね、52ページ、けっこう臨時職員当初予算でみて6月補正に上がってきていますね、これは仕事量が増えたのか、去年より増して今年の仕事が増えてどうしてもやらなくてはいけないものなのか、この内容、補正予算にしては数多く出ているような感じがしますので総務課長の方から説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは14ページの61番スポーツ合宿誘致事業についてご説明をいたします。スポーツ合宿キャンプにつきましては、これまでは野球を中心に受け入れをしてまいりました。平成25年度から陸上の長距離の合宿がヤマダ電機とパナソニックの2つが誘致を実現いたしました。それで当面、今、久米島町で何ができるかということを考えた場合、何も施設が必要なくてできるのは陸上の長距離でございます。それで今陸上の長距離に狙いを定めて、今年度あと4チームぐらい誘致できればというふうに考えております。それに合わせて野球でも12月と1月は施設が開いていますので、その12月と1月の部分にやっぱりノンプロ、社会人含めて高校、大学を含めて誘致できればと考えております。今回の補正につき

ましては、これらのものの誘致にかかる費用や広告料等を計上しております。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

賃金の全体的な説明をいたしまして、個々の事業については担当課の方でお願いしたいと思っております。今回の賃金総額で1千86万1千円補正しております。その内容としましては、報酬委託からの組み替え、その他に補助事業、例えば先ほど幸地議員からもありましたとおり、臨時福祉給付金支給事業とか、子育て臨時特例給付金給付事業等、そしてまた26ページの沖縄県海岸漂着物地域対策推進事業等、そしてもう1点は去年の年度末にクリーンセンター、リサイクルセンターの資格者が退職したものですから、補填をするために賃金職員を配置しております。個々の事業については、各課の方でお願いしたいと思っております。

補足追加します。その他に病休の補填等もございます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

スポーツ合宿につきまして、野球につきましては会場ありますね。陸上ですと今どこでやっていますか。去年も来たということですが、今年ほどの場所を使ってどのグラウンドを使ってやるかどうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

陸上の長距離につきましては、基本的にはロードワークでございます。それぞれコースを作って道を走るということでございます

が、いま今年度の補正予算で具志川の総合グラウンドの外周タータンのトラックあれを若干改修を予定しています。今、急に高低があったりコーナーがきつかったりということがございますので、それを改修すれば、ちょうど周回500mのコースが取れますので、そこを使ったインターバルトレーニング等も次年度からはできるんじゃないかと考えております。

それから先ほど説明抜けておりましたが、このスポーツ合宿の誘致事業の中にはパークゴルフを使ったパーゴルフの大会誘致等も入っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

昨日も総合計画の中でいろいろ質問しましたが、ぜひ将来に向けて、この久米島町に専用の400mトラック、それをぜひ考えてほしいと、そしてぜひ次の総合計画の中に盛り込んでほしいと思っています。といいますと去った全日本の陸上競技大会で當間汐織さんが4番目でした。彼女曰く、専用グラウンドがあればもっともっと記録を伸ばせたはずだと、要するに高校じぶんにもっと記録を伸ばせば、今回さらに60m近くも投げたんじゃないかなということです。相当予算もかかるかもしれませんが、そういうかたちでちゃんとしたグラウンド、400mのグラウンドを造って誘致をすればもっともっと多くの方々をフィールドとか、短距離だとか、そういった方々も誘致できるのかなと思っていますが、担当課長。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

以前に陸上競技場400mトラックの陸上競技場については一応部内で検討しまして、やっぱり費用対効果からして非常に難しいんじゃないかという結論に至った経緯がございます。ただこれから長距離の合宿等の実績を積み上げていって、今年度スポーツコンベンション推進協議会も発足いたしましたので、そういった協議会をとおして実績を積み上げていけば、あと400mトラックにつきましてはサッカー場との兼用も可能になりますので、そういった可能性も考えてできれば建物の部分はなくともいいと思うんですね。面だけの整備で、面だけの400mトラックを整備したうえで、そこを陸上競技の合宿の誘致あるいはサッカーの合宿の誘致ということで取り組んで誘導していくような方向でできればいいなど産業振興課としては考えています。これからまた部内で提案して、そこらあたり議論してやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

3点質疑いたします。13ページお願いいたします。13ページの説明の39の久米島観光誘客促進事業、久米島シュガーライド内部事業の59万2千円の減額の充当、そして時期は3月から11月に変更になったということを聞いていますが、11月の開催は何時になるのか。そしてその変更になった理由についてお伺いします。そしてその下の下久米島桜まつりの開催事業、当初予算そのまま133万円が減額補正になっております。この減額になった理由をお聞きします。

それから44ページの説明9の幼稚園・小学

校・中学校の統廃合事業で食料費に29万7千円の補正が上がっています。その内容についてお伺いします。3点お願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまの久米島観光誘客促進事業185万6千円の減額でございますが、これは観光振興事業全体の組み替えの中で、新たに久米島観光プロモーション事業に35万6千円を増額いたしましたして、あとスポーツ合宿誘致事業に150万円新たに設けましたので、その増減の補正をするために、その執行内容を見直したものでございます。去年の実績をもとに、それぞれの細かい項目を減額して積み上げたのがその数字になります。シュガーライドの11月に変更した理由でございますが、3月の開催となると一括交付金の締め非常に厳しいところがあります。これとトライアスロンとの合体の実施が非常に厳しいという部分でじゃあ、それ以外に何月がいいかというところで見えた場合、全体の行事の中で11月がいいだろうということで変更をしております。

それから久米島桜まつりなんですけど、これにつきましても、やっぱり観光プロモーション事業全体の事業の見直しの中で、じゃあ、どれだけ誘客効果があるのかということをお客を含めて査定をしていった場合なかなか誘客、費用対効果が見込めないということの中で、新たに今言ったスポーツ合宿とか、あるいは観光プロモーションの部分と、じゃあ何が効果があるかといった比較をして、今回は桜まつりは事業としては取り止めということになっています。

ただ金をかけないやり方もありますので、

部内で金をかけない方法でやろうじゃないかというような話もありますので、そこはちょっと今後また観光協会含めて検討していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

昌慧議員の質問にお答えします。幼稚園、小学校、中学校の統廃合事業ということですが、これは球美中開校式典食糧費の不足分です。この件につきましては、1千円会費で300名で予算見積をやっておりましたが、参加人数が100人程度で、そして寄付金を含めても10万円そここの会費しか回収できなかった実情があります。実質的に経費として使用されたのが37万6千円の経費です。それから差し引いた額、食糧費の不足分として27万9千円の補正となっております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

まずシュガーライドの開催時期の変更については一括交付金との兼ね合いということでの答弁でしたが、実は第1回大会24年の3月4日に行われました。それは23年度の途中に入ってきた事業で去年3月4日の第1週で今後続いていくものかなということで、私はその3月議会の補正の審議のときに、今後の開催についてはどのように考えているかということ質問しました。来週でやりますかと質問したら、いや3月が一番適当であると久米島は3月の観光は非常に厳しいから3月の方が適当で、それでやっていきますという答弁でありました。今の説明の中ではいろんな予算との兼ね合いということで理解できます

が、当然3月は製糖時期で非常に車の運搬もあるし、危険だと思っておりましたが、1回目の大会は久米糖が機械が故障したために、その日は休みになって何とかできたと、今年も休み取れて何とか調整できた部分がありますが、やっぱり時期は変更すべきだと思っておりました。11月は適当であるかもしれませんが、今後そういった事故のないように進めていきたいなと思っております。

それから桜まつりについて、もう3回目ですか。そろそろまだ浅い時期で、名護、本部、今帰仁、久米島の桜まつりが沖縄の4大サクラということで、これから非常に発展していく、期待しておりました。その中で今回取り止めになるということであるんですが、先の説明の中で、これは当初予算に上げる前に事業計画を立てる観光協会が立てるときに、その取り止めするかどうかは決定すべきであって、当初予算で計画を上げておきながら6月は補正するという、あまりにも無責任じゃないかなと思っております。計画立てたらその計画を実施してちゃんと進めるべきだと今回どうしてもやるべきだということやって、そのあと来年はどうするかということ事業計画を立ててやるべきだと思うんですが、そここのところが計画性が全くないなと思っております。本当にこれ無責任だと思いますよ。そこはいかがお考えなのか。

それから教育委員会の食糧費として球美中学校との、そのときに非常に参加人数少なかったですね。ちゃんと案内が行き届いていたのかどうかそこをお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

桜まつりにつきましては、ご指摘のとおりだと思っております。できればしっかりとした事業計画を年度当初でつくって、それはそのとおり執行していくというのが理想的だと思っておりますが、やっぱり年度途中でこの一括交付金の評価等が入ってきますし、またそれ以外の当初予定外の事業等も入ってきますので、今回やむを得ない変更となっております。それと先ほど申し上げましたとおり、金のかからないやりかたもあるんじゃないかというようなご意見も観光協会からもきてますので、そういうやり方が可能であればできるだけ継続してやっていけるようなかたちでやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

上里浩教育課長。

○ 教育課長 上里浩

案内の件についてなんですが、個別にご案内申し上げたのが議員の皆様、民生委員、そして各種団体の方々へは個別で案内しております。そしてその他の方々につきましてはチラシ、広報等で参加を促しておりますが、実際、久米島中学校の閉校式典を逆算して300名程度ということで考えた経緯があるんですが、その分なかなか参加がなかった分その経費に足が出たということになります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

桜まつりについては観光客の誘客があまり効果がでないと、まだ開催してまだ間もないのにそこであきらめてしまうんですかと非常にこれから期待される、これから作っていきこうという中で、今回取り止めになれば、次年度以降どうなるのか。金のかからない方法で

やりましょうと、やるのかやらないのか、そこをはっきりしないと、また曖昧にして久米島の悪いところはそこですよ。そこで投げてしまうといところがありますが、次年度以降どうするのかということをはっきり示してほしいなと思います。

それから、幼・小・中の統廃合検討委員会について、昨日の一般質問の中でも幼稚園の統廃合については前向きに進めていきたいという答弁でありましたが、小学校について当初予算で予算も計上されていますので、統廃合の幼・小・中の統廃合について全体的にどう考えているのか、そこもお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

桜まつりにつきましては、観光協会の事業でございます。私は一理事という立場でございます。ただ仲村議員がおっしゃるとおり、非常に見えない効果という部分もかなりあると思っておりますので、できるだけ金をかけないような方法で、その事業は継続できるように提案をしていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

統廃合につきましては、中学校が今2つの学校、幼稚園につきましても昨日ご説明しましたとおり推進するということを申し上げました。小学校につきましては現在500名弱の子どもたちが在籍しております、比屋定小学校の完全複式、そして美崎小学校、それから久米島小学校の複式ということがあり、子どもたちもだんだん在籍数が減るような状況

にございますので、将来的には統廃合もやむを得ない状況になろうかと思いますが、まだまだ地域の方々が小学校の統廃合までには至っていないという考えが多々ございますので、それにつきましては幼稚園の統廃合を含めまして、これから小学校まで検討できるようなかたちで推進していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

3点ほど、15ページのWi-Fiのアンテナはどこに付けるのか。

もう一つは36ページのバーデハウスの管理工事請負費412万と。

次は、51ページのパークゴルフの運営事業の備品購入について詳しく。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

63番、Wi-Fiのアンテナ設備導入事業、これは既に地域ICTで整備されたアンテナを購入するという事業です。今Wi-Fiアンテナを町内、約20箇所ぐらいに付けているんですが、現在リースで利用しています。そのリース物件の一括買取、県の特別枠で購入する予定です。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは36ページの観光費の中のバーデハウス久米島管理運営事業について、ご説明をいたします。今回の補正で412万2千円これ工事請負費で計上しておりますが、主に修繕の請負でございます。まず1つ目がボディーマ

ッサージ用のインバーター、ボディーマッサージ用の水圧のポンプがありますが、それをコントロールするインバーターの交換がございます。これが23万9千円です。あとチラー冷凍機の基盤の修繕、これは水を冷やすものチラー機、そのコントロールの基盤の修繕です。それから、ろ過ポンプの部品の交換がございます。あと給湯冷水系統ポンプの取り替え、それから消火器と屋内消火栓の取り替えがございます。あともう一点が塩素の精製装置の取り替え等がございます。このように実際10年は経過して海水を使う設備になっているものですから、次々設備の更新が今発生しております。従って、できれば新しい事業を導入してリニューアルをまとめてできればいいなと考えております。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

51ページのパークゴルフ場、備品購入費についてお答えします。今回、備品購入としまして、パークゴルフの販売機です。今、窓口の方で徴収しているんですが、その券の販売機を予定しています。

○ 議長 喜久里猛

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

このアンテナの件は、もしかしたらFM久米島が入らない所がありますよね。それを補うためになとも思った。このWi-Fiと合わせて電波を飛ばすような話していましたが。そのへんはどうなっていますか。パークゴルフ場の件なんですが、これはとてもいいことである。現金扱わない方が一番いいと思っております。一つ要望がありまして、夏はすごい暑くなり

ます。あそこは水飲む所ないんですよ。暑い時期に子どもたちも年寄りもいっぱいいる中で半日も歩いて水を飲む所がない。あるのはトイレだけなんです。販売機あるんですが、販売機はどうしてもお金がかかります。せめて冷水機ぐらい入れて、水も飲む所もぜひ欲しいという要望もあります。やっぱり絶対、水分は必要なんですよ。僕は冷水器かなと最初思いました。要望をどう思いますか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

Wi-Fiアンテナは、前議会でWi-Fiラジオ関連で電波が届かない地域を補うためもあります。実際、今Wi-Fiアンテナのエリアは弱い所もありまして、今回の事業ではリース物件の一括買取なんですけど、地域ICTの継続事業の募集が今かかっています、今月20日締め切りで、その申請の準備をしているところです。継続事業が取れた場合にWi-Fiの電波の弱い所補っていく、FMとも関連しますこれは。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

ただいま饒平名議員がおっしゃるとおり、パークゴルフ場においては自動販売機が2台設置されています。冷水機に関しましてはいろいろ利用者の意見を聞きながら検討していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

10番饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

利用者は、ぜひ欲しいと言っています。実際、回ったらわかります。水分は絶対に必要

ですよ。特に今から暑くなります。子どもたちも来るので、やっぱり冷水機はぜひ必要だと思います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

今予算に上げておりませんので、前向きに検討していきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

36ページ、7款商工費の3目観光費、これの一番下なんですけど、泊フィッシャリーナ管理運営事業、先ほど副町長から修繕費という説明がありましたが、泊フィッシャリーナの管理棟については、回って見るんですけど、これといった備品もない、建物についても傷んでいるような所が見受けられないんですけど、52万3千円の増額補正されておりますが、これについてどういった修繕を予定されているのかお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

36ページの観光費の泊フィッシャリーナ管理運営事業の中に修繕費として43万3千円を計上しております。その内訳につきましては、今現在、浮棧橋に下りる橋がございまして、橋に滑り止めとして三角の山の鉄板を打ち付けてありますが、これは滑り止めとして設置してあるんですけど、最近、障害者がダイビングするお客さんがけっこうちょくちょく出てきております。障害者の車いすを押して行くとき、非常に入りづらいということで、その三角の鉄骨を取って、そこを別の滑り止めに

やるためのものがございます。これが16万6千円ぐらいです。あとトイレの便座と鏡の修繕が5万7千円余りです。あと管理棟の南側の日よけの設置でございます。その3点で合わせて43万3千円になっております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

2点ほど確認お願いしたいと思います。先ほど提案理由のときでも説明あったんですが、ちょっと聞き逃してしまいまして、詳しい内容の説明をお願いします。21ページの説明の7番、臨時福祉給付金普及事業、国庫補助金として新規に5千万計上されております。

次の24ページの子育て臨時特例給付金支給事業も国庫補助金として1千400万計上されておりますが、詳しい内容をもう一度説明お願いできますか。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

お答えいたします。これは先ほど副町長からもありましたが、消費税増税に伴う低所得者それと子育て世帯への臨時特別給付金ということです。臨時給付金につきましては、非課税均等割が非課税のものに対して1万円とそして加算給付として老齢基礎年金とか児童扶養手当を受給している方とかいくつか要件を満たす方には5千円の加算給付があります。子育てについては対象者1名について1万円ということで、これは税務課が賦課してあと、その対象者のデータを貰って7月あたりから支給の事務を始めていくということで、先ほど補正で賃金の件もありましたが、臨時職員

を雇用して、その事務に1年間限りですが、やるということで、支給についてはその事務が整え次第支給していくということになります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

臨時特別給付金というのは全世帯年寄りまで、低所得者は該当するというかたちでよろしいでしょうか。子育て臨時特例給付金は今から賦課して決定するというかたちでよろしいでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

臨時福祉給付金につきましては、非課税世帯ということになります。子育てについては今年の1月の児童手当の受給者ということで、その前年度の所得が児童手当の制限額に満たない者ということが支給対象になっております。因みに支給対象者が臨時福祉給付金については3,500人、その内の加算が2,500人という概算で予算は計上してあります。それは賦課してあと出たときに、また、ちゃんとした対象者は通知を出すというかたちになります。

子育てについては、対象1,254名とみておりまして、予算はその分計上はしております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

31ページの久米島山羊ブランド化事業の委託料の中身の説明と、それと青年就農の給付金事業の300万、これは新たにまた2人の新規の就農者がでたのか、その説明お願いしま

す。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

31ページの畜産費の中に委託料で久米島山羊ブランド化事業533万5千円を計上いたしております。これは別事業で一括交付金を予定しています久米島山羊振興事業と関連いたしまして、この事業でもって、青年を2人雇用いたします。山羊の多頭飼育をしていきますので、多頭飼育は、これまで農家が2、3頭飼っているものと違っていろいろな病気が発生したりもしますので、そういった衛生管理の技術だとか、あるいは去勢、除角、削蹄、人工授精、あと屠殺する場合の衛生管理者の資格、そういった資格とか技術とかが必要になってきますので、この1年間でそういった技術を習得させるということが目的の事業であります。この委託料の中に職員2人分の人件費と、あるいはいろいろな研修のための旅費等が含まれております。

それから7目構造改善事業費の中の青年就農給付金事業、これにつきましては平成25年度で7人の新規就農支援者が決定して7人に対して年間150万の給付金を給付しております。26年度は当初予算で4人を計上いたしましたが、さらに今回の補正で2人分を追加して、合計今年度が、今のところ6名の給付予定としております。

○ 議長 喜久里猛

7番喜久村等議員。

○ 7番 喜久村等議員

この新規就農者については、まだ待機している農業者いるのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

相談はあります。その相談を受けて、その要件に該当する、しないとか。あとはいろいろな営農の計画書を作ったり、ある程度目処がついた段階で予算計上ということで対応していきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

21ページの社会福祉総務費で、これは担当課を回れば済むことですが、次に繋げていくためにあえて議事録に残したいと思っております。今回、工事請負費、わりかし細かく406万3千円と上がっております。この根拠を担当課になりますか総務課長でもよろしいですし、説明願います。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

社会福祉総務費の工事請負費なんです、久米島中学校の跡地に社会福祉協議会の事務所とさくらが入ることになりまして、それに伴って段差の解消とか、それからスロープの設置、身障者対応のトイレの改修とか、そういったものの工事請負費となっております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

この件については、昨日来ずっと話がでておりますので、認識しておるわけですが、これは社会福祉協議会から上げられてきた金額なのか、それとも皆さんの方で独断で出された数字なのか、そこちょっと教えてください。

○ 議長 喜久里猛

田端智福祉課長。

○ 福祉課長 田端智

その改修部分の中身については総務課長と事務局長3名一緒に現場を見て、どの部分を改修しましょうということで相談の上での今回の改修となっております。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

社会福祉協議会の全体像の一部がぼやけて見えてくることで非常に進んだなという感はしますが、2階の手すりあたり、外壁、剥離しております。崩落しております。あの施設全体を考えた場合に、この金額ではとてもじゃないですが改修できないんですが、1階部分に限定しているのか、1階部分にしてもあれ建物そのものの耐用年数、もう30年以上になると思っておるわけですが、それを考えた場合に、何千万も投じて改修するのも問題だなと、そういう議論もしたわけですが、つい最近、耐久度はどうなのか、コンサルを入れてしっかりしたものを作って10年、20年先まで対応する施設にするかどうか、そこも議論しましょうやという話をした矢先ですが、こうして具体的な数字が上がってきたもんだから、うれしいやらびっくりするやらで、今聞いているわけです。

今回の予算措置は1階だけに限定されているのかどうか、たぶんこれ最後だと思いますので、より具体的に説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

今回の予算計上については1階部分のみであります。先ほど福祉課長からあったように

段差解消とか教室の出入口が障害者や高齢者に対して段差がきつい部分がありますので、スロープにするとか、2階、3階については、昨日の一般質問の中でも答弁いたしました。まだ利用計画が今後でできます。そして剥離、塗装等に関してはやっぱり多額の費用予算が必要ということで、その分に関しては社会福祉施設に目的替えしたあとに、そういう社会福祉資本整備事業や、そういう事業とか、そういう補助メニューを充ててやらないかということで、今大きな改修に関しては控えております。

○ 議長 喜久里猛

質問しますか。

○ 山里昌輝議員

はい。

○ 議長 喜久里猛

山里昌輝議員の本件に対する質疑は既に3回超えておりますが、会議規則第55条の但し書きの規定によって特に発言を許します。

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

非常に心配されるのが予算は投じた。しかし手戻り工事にならないかどうか。この区切られたあのスパーンで何にもできないですよ。だからいわゆる内部の壁をぶち抜いて行かなければ事務所として使えない。彼らの作業場として活用できない。そういったこと等も考えたら壁を触ることで、また天井と事務所もそうなります。中の備品等々も含めて考えてみた場合に、これだけでできるのかなと。たぶん社会福祉協議会、事務局長だけが参加したかどうかは知らないですが、非常に財政当局に気を遣っているんですね。役場がこれだけでというから、これだけでやらないといけ

ないみたいな、そういった感覚で彼らは捉えていますので、今後そういうことがないように、私も議会から派遣された理事の一人ですので、今後またこのことについて、もっと具体的に検討していく時間がありますから、そこはまた随時対応していただきたいと思っております。以上お願い申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

3点質問いたします。まず1点目は13ページの久米島桜まつりの開催事業が133万減額されております。この件については桜まつりというのは非常に大事かと思っておりますが、その開催する場所が場違いじゃないかというふうに私は思っております。他府県見ても3月、4月あたりの桜まつりを見ても川沿いにやっているのがほとんどなんです。本部町については山の方にやっております。名護は山にやっていますが、向こうの方はだいぶ枯れております。そういった塩害との関係とも考えて場所を選んでほしいということ。

それから2点目は31ページの久米島山羊ブランド化事業、これについては、国からの肉の規制緩和というのがあったやに聞いております。私もこれについては非常に賛成していますが、多良間村の事業の方法、あるいは課長は本島のミート会社を視察してきたというふうに伺っています。そこにおける販売方法とCAS冷凍の関連、費用対効果あるのかと、こういうようなことを伺いたい。

3点目に44ページの一番下の方の説明のところ12の幼稚園、小学校、中学校統廃合事業27万9千円計上されておりますが、これ中学

校は統廃合を行いました。小学校についても教育委員会は統廃合をやりに聞いております。こういった種の問題については、私は根源療法を求めたい。人口増やせば良いわけですよ。特に若い人たちに、ならば人口を増やすためにはどうすればいいか。こういった根源療法の部分の論議はされていない。使用末端の対症療法、風邪ひいたら風邪薬を与える。こういう使用末端の手法というのは限度がある。これは根源的に考えてどうかということ伺いたい。その3点です。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

それでは13ページの久米島桜まつり開催事業について開催場所についてなんです。開催場所についてはこれまで場所も転々としています。最初はアーラの林道のところでやってあと、だるま山に移って、それからふれあい広場に会場を移したり、いろんな意見がございます。その場所については、今後、宇江原議員の意見も観光協会の理事会に伝えまして、またみんなで議論して場所は何処がいいのかということ提案していきたいと思っております。

それから久米島山羊ブランド事業なんです。これは単に山羊を飼育して山羊を生体のままで販売するというのではなくて、基本的には山羊を久米島ブランド山羊を飼育して、それを久米島のと殺場でと殺して枝肉にして付加価値を高めて島外に売り出すということでもあります。そういうことで久米島と畜場の有効活用も図りながら、さらに付加価値を付けて島外に対して出荷していくということでもあります。その出荷する場合、食肉は

基本的冷凍はしません。冷蔵の状態でお荷するということでございますので、CAS冷凍の導入は今のところ考えておりません。冷蔵の状態ですと0度から5度の間の状態でお荷しますので、当面は設備投資は急に設備投資をするということは考えておりませんので、漁協の例えばマグロ用のコンテナがございませぬ。そのコンテナに氷を敷いて、そこに5頭ぐらいずつ詰めて送るということがもっともコストが低くて安くついてお荷できるということになりますので、まずはそれで考えています。そのあとには軽冷蔵車、軽の冷蔵車を導入できれば手軽に10頭ぐらいずつまとめて送ることができますので、そういうかたちでお荷をしていきたいというふうにご考えておられます。したがってCAS冷蔵というのはいま考えていません。

多良間村の山羊の問題のご指摘もございましたが、基本的には多良間村の会検の指摘事業は山羊舎と食肉加工場があるんですが、問題指摘されているのは山羊そのものではなくて隣に作った食肉加工場に入れたいろんな備品が購入してから1回も使われていない備品があるという点が会検の指摘事項でございます。合わせて、その事業の繰り越して続きを2千万円余りやらずに事業を執行してしまったということで補助金の返還がだされたということでございまして、基本的に山羊そのものが問題になったわけではなくて、食肉加工場の部分に問題があったということでございませぬ。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

統廃合につきましては、子どもたちの減少

というのが大きな課題ということがございませぬ。子どもたちの取り組みというのが、今後、久米島町の方で求められていると思うんですが、昨年度の久米島町の出生人口80名ぐらいだと記憶しているんですが、これからだんだんそういったかたちで現在の80名、それから今少なくなっているような状況がありますが、今後こういったかたちでの子どもたちの出生が少なくなればなるほど学校の統廃合というのはさけて通れないような状況になるかと思っておりますが、今久米島の農業とか漁業ですと年間18億それも農業も漁業もたぶん同等ぐらいの金額だったかと憶えておられますが、そういった生産額が少なくなっていくような状況があります。今後、若い青年層が久米島で暮らす場合においてもやはり、そういった雇用の場というのが確保しなければいけないような状況がございませぬが、ただ現実的に農業も大変厳しいような状況がございませぬので、そのへん今後、新しい大田町長の方針の下、久米島町の方で雇用確保できればということがございませぬ。そのためにもやはり久米島高校の魅力化発展を考える会でいまやっております島外からの子どもたちの受け入れ、その子どもたちが久米島町の方に魅力を感じて卒業して大学に進学して再度久米島の方に来るとすることも、また将来的には可能性としては大いにあるのではないかと思います。それからまた海洋温度差発電それから衛星を使った電子カーとかいろんな先端技術を久米島の方では今実証実験とかありますので、そのへんも将来を含めたかたちでのいろんな農業分野とか、そういった産業分野、製造業とそれからまた先ほどありました観光関連についても、これからいろんな取り組みをしてい

ますので、そういったかたちで久米島町の方に若い皆さん方が雇用できれば当然増えていくものと思われ、そしてまた青年層が集まることで子どもたちの出生も今後増える可能性もありますので、そうなってくれば一番理想的な状況だと思いますが、ただ現状としましては現時点におきましては、やはり子どもたちがいま減っていくような状況がございますので将来的には統廃合ということもお話を申し上げた次第でございます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

産業振興課長、非常に説明したことは理解できました。ただ、桜まつりの件についてはよく考えてほしいと、例えばパークゴルフ場の方に向こうにクメクレナイ100本ぐらい植えて植えるなよ。向こうは塩害を受ける大きく受ける場所だよと忠告したにも関わらず全部枯れてしまった。それと浄化水の所の土地も購入して、そこに花木を植えるということ私も手を上げました。しかし、向こうもだいぶ塩害を受けてクメクレナイなんか立ち枯れしています多くは。場所も勘案してやってくれよということを前も指摘しましたが草刈るときに草刈るのが目的というような感じでサクラの根っこを傷付けてしまった。そこから白アリが入ると、これも前々から指摘したとおりでありますから、そういったところを勘案して今後、銭田川あるいは謝名堂川そういったところの中流から以北の所、上流の方をどういった場所がいまいう祭りにできる、しかも気軽に足が運べるところになっているかということの場所の選定も合わせてやってほしいということ。そういうものをもう一度

答弁してほしいと。

教育長については確かに、ものの本に書いているような答弁であります。私が言いたいのは久米島の人を引きつけるために何が良いかということなんですよ。例えばの話、鳥島射爆撃場あれだけインターネットで送られて、こちらに観光者が来ますか、住んでみたいと思いますかということ。それからコンクリー護岸見てごらん。これじゃ海が死んでしまう、川も海も死んでしまう。そういった観点から物事を町長も言いましたが、答弁を求めますが、そういう観点から人口を増やす手法というのを話し合ったらどうかと、こういうことなんですよ。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

サクラの所管につきましては環境保全課の所管となりますので、環境保全課長の答弁をお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学環境保全課長。

○ 環境保全課長 保久村学

サクラとか、公園関係の草刈り等については環境保全課の方でやっています。今、先生から指摘がありました草刈りについては花木に傷をつけないように作業班の方に伝えて、それを重々徹底していきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これで議員はいろいろ放射能とか、そういった自然環境の方をご質問されてきました。これにつきましては確かにいろんな久米島町

は良い環境であることがまた島外からたくさんのお客さんを招くことができます。

あと一つは環境もたいへん重要ですが、まずは久米島に雇用の場が少ないということがあります。確かにいろんなアルバイト、そういったことでの職種は多いんですが、やはり夫婦が生活をするためには少し給与が低いかなということがあります。

あと一つは久米島の若い皆様方の出生が今平均でたぶん2人から3名だと思えます。私たちの頃は8名ぐらいいました。そういった段々少子化減少ということがあり、これもひいては各地区の子どもたちが少ないような人口になっているんじゃないかということがございますので、そのへんはこれから町の取り組みとしていろんな久米島町はラムサール湿地登録もありますし、昭和58年の方においては久米島町の第1号の自然公園の位置づけもこれも発進されていますので、ただ単に放射能とか自然環境が悪いということではなく、久米島町もそういった発信もしていますので、そういった状況も踏まえながら久米島を発信し、ひいては久米島の方での産業に就業できるようなそういった体制づくりが今後も久米島町の一つの法則としてできればいいかなということがございます。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先ほどのサクラの件にもなりますが、これまで旧村時代に植栽してきたのが、今のだるま山の林道のサクラそしてアーラ林道のサクラそれぞれが30数年たってちょうど今のかたちになっています。これは当時発想をもった職員の皆様に対しては非常に私は先見の目が

あったなど逆にほめてあげたいです。確かに気象条件の要因で枯れた箇所もあります。これはまた今後にそういう経験を踏まえて、あらたに検討をする必要があるかと思っておりますが、それから今の教育委員会に質問あった人口を増やすものとかも、これまで我々、内部だけの力でいろいろやっているんですが、なかなか成果がでていないということがありますので、今後は外部の力も借りていろんな発想をもって今の人口をどう増やすかというのやる必要があるかと思っておりますので、これまたいろんなかたちの、いろんな角度からそれぞれの意見を拝聴して一緒に頑張っていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

今は町長の答弁にありましたように、ぜひ各方面からも意見を聞きながら単なる小手先の対応じゃなくて根源療法的な体力を付けるような対処方法をしていただきたいということです。それから最後に言いますが、やはりコンクリー護岸の河川海浜のコンクリート護岸は早めに取り壊す見直す。そういうような事と同時に農業漁業が盛んになるような政策手法を取っていただきたいというふうに訴えてこれで質問を終わります。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第33号、平成26年度久米島町一般会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第33号、平成26年度久米島町一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

日程第3 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議案第34号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
桃原秀雄副町長。

（桃原秀雄副町長登壇）

○ 副町長 桃原秀雄

それでは議案第34号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の概要について申し上げます。

予算書の次ページをお開きください。

平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の概要については、歳入歳出それぞれ75万8千円を追加し、総額12億4千826万3千円といたします。歳入歳出の主な内容につきましてご説明申し上げます。

予算書の5ページをお開き下さい。

歳入につきましては、12款繰入金において1目一般会計繰入金2万9千円。

そして14款諸収入では、一般被保険者延滞

金72万9千円を計上しております。

続きまして歳出についてご説明いたします。

予算書6ページをお開き下さい。

人事異動に伴いまして、1款総務費の1目一般管理費の給料、職員手当等また共済費の組み替え補正に伴う経費2万9千円を増額し、2目の連合会負担金では国保連合会事業報告システムのバージョンアップに伴う負担金として72万9千円を増額となっております。

以上が平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の主な概要となっております。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

ご審議のほどよろしく願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第34号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 喜久里猛

多数挙手です。従って、議案第34号、平成

26年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第4 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について

##### ○ 議長 喜久里猛

日程第4号、議案第35号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

（桃原秀雄副町長登壇）

##### ○ 副町長 桃原秀雄

議案第35号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。久米島町火災予防条例の一部を次のように改正する。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。

なお下線の引かれた箇所が今回の改正内容等になります。また大枠の改正後の中で目次の第5章の2と、そして下の方なのですが付則の第18条の（9）号の2、また次のページになりますが、第5章の2の全文とまた次のページになりますが、第45条の6号と、その次のページの第49条の4号及び50条第2項が新たに挿入されます。

附則としましては、この条例は平成26年8月1日から施行します。

ただし、この条例の施行日から起算して14日を経過する日までに終了する催しについて

はこの条例による改正後の久米島町火災予防条例第42条の2及び第42条3の規程は適用しない。

提案理由、消防法施行令の一部を改正する政令が公布されたこと等に伴い、久米島町火災予防条例の一部を改正する必要がある。

これが、この条例案を提出する理由であります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（桃原秀雄副町長降壇）

##### ○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

##### ○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

##### ○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第35号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

##### ○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第35号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第5 久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

##### ○ 議長 喜久里猛

日程第5号、議案第36号、久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第36号、久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例。

久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を次のように改正する。

大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。

なお下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。付則としまして、次のページでこの条例は公布の日から施行する。ただし、平成26年1月1日から適応する。

提案理由であります。地方税法の一部を改正する法律が、平成25年3月30日に公布されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要がある。これが、この条例案を提出する理由であります。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第36号、久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第36号、久米島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第6 仲原家設置条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第6号、議案第37号、仲原家設置条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

議案第37号、仲原家設置条例。

上記議案を提出する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

仲原家設置条例。条文の朗読は割愛して説明をしたいと思います。

設置条例の第1条に設置そして第2条に名称及び位置、第3条に管理、第4条に使用、第5条に入場の制限等、次のページなんですが、第6条に損害賠償、第7条に委任を示してあります。

附則で、この条例は公布の日から施行する。  
提案理由であります。沖縄の古民家を活用し、町民等の体験学習等の利用に供することにより、久米島の歴史・文化に触れる施設及び地域活性化の拠点施設として位置づける仲原家について、適正な維持管理をするために条例を定める必要があります。

これが、この条例案を提出する理由であります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

この仲原家の設置条例についてでございますが、管理の条例の第3条仲原家は久米島町プロジェクト推進室が管理すると。昨日の一般質問でも質問いたしました。公募した2団体の内の1団体に委託管理させると思うんですが、これは通所型の管理になるのか定住型、住居兼用の管理になるのか、それと入場の制限等、仲原家においては県道側からの入場は、そこを通る方々が直ぐ確認できるとそういう状況なんですが、西側の道路側、駐車場側からの敷地内の出入りについては囲いも何もございません。自由に入場できるような屋敷に入ることができるような状況になっております。入場の制限、それから次の損害賠償6条なんですが、そこについてはちゃんとした屋敷の囲いをして入場ができないような特に通所型、通いで管理す場合には夜間は管

理人がいない状況になると思いますので、そういうふうに入場の制限、それから損害賠償についても関連して対策しないと難しいんじゃないかなと思っておりますが、それについての方法、その説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの仲原家設置条例に関してなんですが、実は仲原家の管理については、やはりそこに居住はさせないということで通常の管理の仕方で行っていきたくて考えています。入場の制限なんですが、ご覧になってわかると思うんですが、柵等そういったものがなくて自由に入場できるような感じになっております。特に役場に行く町道側の出入口、駐車場に面した所もすぐに入れるようになっております。そのあたりは委託管理が決まった後、いろいろそういったところを工夫して行っていきたくて考えています。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

8 番 島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

この条例管理者はいるんですが、プロジェクト推進室が管理となっておりますが、今の説明では募集して、また別の管理使用人というのか、使用団体を探すという条例の中にそういうのがないんじゃないですか。例えば使用人設置、名称、管理、使用、入場の制限とかありますが、その使用のところをどのへんにこの建物については、別の団体に管理させることもできるとか、そういうのもうたわいとおかしくなるんじゃないですかね。これを見るとプロジェクトの方で勝手に何でもでき

るような感じにとれるとも思うんですよ。ですからこれは条例に入れるべきだと思うんですね。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

まず設置条例についてなんですけど、この施設、実際、仲原家を町の方で設置するという条例制定がまず先にないと、やはり管理の募集もできないということで、今回、設置条例制定して議案を出したわけなんですけど、実際、細かい内容等については、また施行規則等で定めていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

そうすると条例の中に、そういう条文も入れるべきだと思うんですよね。これは設置条例、使用条例、またはその中に使用料だとかいろいろでてくると思うんですよね。やっぱり条例の中にこれも加えるべきだと私は思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいま質問のあったとおり使用料、入場料も含めてなんですけど、今、管理者が決まって利用形態も含めて、これから追加で条例改正というかたちで提案したいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

2、3質問してみたいと思っています。この管理は町の方でやりますが、管理費は何処

が負担しますか。それと2団体公募がありますよね。一般質問の答弁の中では、久米島紬事業協同組合とその他1社ということですが、紬関係者で他の団体も紬関係者なのか。と言いますと仲原家で紬を展示だけするのか、例えば販売もできるのか、販売となりますと、ひょっとしたらこの設置にそぐわないので、この管理費を稼ぐために、販売だけが主になるのかなという懸念もされるわけですね。そこのご説明をお願いいたします。

それと第4条の中に公益上、特に必要と認めるものということになっています。その内容の説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

仲原家の管理を委託募集したところ2団体から応募がありまして、1団体は久米島紬組合ということで、もう1事業者も紬関係に携わっている方です。そこで実際、中で販売とかそういったものがあるのかということなんですけど、その中では紬の織り体験とか、商品開発とか、そういった内容になっております。

あと第4条の2項の公益上、特に必要と認めるものについては使用許可することができます。というふうにはうたわれていますが、実際、紬関係、伝統工芸品のピーアールといいますか、そういった情報発信を含めて、それ以外にも仲原善忠先生の功績等を紹介するために、そこでちょっとしたワークショップを開いたり、そういったことをやる場合に、その条項の中で認めていくというような解釈です。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

1問抜けていますが、管理費は町が持つのか。公募された団体が持つのか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

すみません、答弁がもれていました。管理費については、実際、募集の条件の中で、独立採算といいますか、自分たちの収入で運営するというようなかたちで募集しております。ただ、提案事業者から、そのところを心配する声もありまして、そのあたりは調整していきたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

といいますと、公募する団体は、そこで紬の販売とか、別の販売しないと収益上がりませんよね。僕が心配しているのは、そこです。販売を主にされると本来の目的の設置規程に合わないんじゃないかなという心配なんです。そのへんのところお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

そうですね、やはり心配されるとおりなんです。実際、収入というのは入場料ということで、先ほど島袋議員からも質問あったとおり入場料の制定、実際、条例ですべきところなんです。ただそのところの詰めができていなくて、次の議会にでも入場料、ある程度の基本の額を決めて、次の議会に提案したいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

昨日来、この問題取り沙汰されておるわけですが、今の執行部、議会の同僚議員のやり取りを見ていて、これはもはや、入場の制限じゃなく、利用の制限もかけられてしまっていると。昨日、町長は今後、具体的にこれを検討していきますと、いわゆる寺子屋的なそういった要素も兼ね備えた施設として多くの人たちに利用できるような、そういったことも検討していきたいと、そういう答弁だったんですが、今日、聞く限りでは紬、紬、紬といわゆるそこで利用は制限されております。この設置、第1条からしても町民等の体験学習、提案理由、ここにも同じく体験学習と紬の体験学習をさせるために、まずこの施設は整備したんではないはず。なぜ、ここにきてそうなったのか。

5条の3項、物品等を破損または滅失するおそれのあるとき、紬を持ってこられたらもう体験学習どころか、当然、こういう状況に陥る、滅失するおそれがある、破損するおそれがあると。いわゆるこれはそこで完全に制限されてしまいますので、本当にこれでいいのかどうかということです。

実はこれは私事ですが、整備している途中で私もこういうのに利用して貰ったらどうかと、地域からもまた声もありました。だけど確かにプロジェクトの方に私は立ち話で、これこういう声もあるよということは申し上げました。口頭だけでしたのでわかりませんと言われれば、もうそれまでですが。

ただ、昨日の町長答弁のように再考を促したいと。昨日も出ていました紬に関する施設が久米島町にはもう4つもあるわけです。これも紬、2者とも紬がでていますと、早い者

勝ちじゃないですね。いわゆる町は今後どう  
いう方向に、こういったものをみんなで検討  
して進めていくか、そこを再度やるべきだ  
と思っております。プロジェクト推進室長、答  
弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

仲原家の活用について、先ほどの質疑の中  
で紬に重点があるようなイメージになってい  
るかと思えます。実際、紬に関してはやはり  
久米島を代表する伝統工芸品ということで、  
クローズアップされている部分であるんです  
が、実際その設置条例にあるとおり、この古  
民家を保存活用して久米島の歴史・文化に触  
れ、体験できる施設地域活性化の拠点施設に  
するためとうたっております。今の段階で2  
提案とも紬関係の事業者になっております  
が、まだその2事業者に決まったわけではあ  
りません。今後、選定委員会を開催して選定  
することになります。場合によっては2提案  
事業者に対して実際許可、不許可というのも  
まだ決まっておきませんので、そこらあたり  
は、まだいろいろ検討するような段階にあり  
ますので、お願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

11番山里昌輝議員。

○ 11番 山里昌輝議員

これまでの諸々の問題取り上げてみても声  
を大にして意見を申す者に引っ張られていっ  
てそこでもう終わってしまうと、ややもする  
と。やりたいやりたい、控えめではあるが、  
本当に町にとってもっとも必要なものそこ  
には散在しているわけですね。だからこの紬に  
関する2者が申し出ているから、そこを中心

に進めるありきで話しを進めることだけは絶  
対避けてほしい。本当にみんなが造って良か  
ったな。改修して予算投じて良かったなと思  
えるような施設利用、これはぜひ皆さんで議  
論してやっていただきたいと思います。  
機会があれば、また結果いかんによっては、  
このことについては、私、質問させていただ  
きますので、どうぞご検討よろしくお願ひし  
ます。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第37号、仲原家設置条例につ  
いてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成  
の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第37号、仲原  
家設置条例については、原案のとおり可決さ  
れました。

(「休憩」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時54分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時29分)

日程に入る前に報告します。崎村正明議員  
と平良義徳議員から、所用のため欠席届けが  
ありました。報告いたします。

## 日程第7 議決内容の一部変更について

### ○ 議長 喜久里猛

日程第7、議案第38号、議決内容の一部変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

### ○ 副町長 桃原秀雄

議案第38号、議決内容の一部変更について。

平成25年第8回久米島町議会定例会で議案第66号で議決されたマンホール形式ポンプ自家発電設備工事請負契約に係る、議決内容の一部を次のように変更する。

記

契約金額「50,872,500円」を「67,299,120円」に変更する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由ですが、マンホール型式ポンプ自家発電設備工事について、追加工事により改定契約を執行する必要性が生じたため、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得る必要がある。

これがこの議案を提出する理由であります。

なお、次ページに改定契約書の写し、そして位置図、次のページに設計図を添付してあります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

### ○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

### ○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

### ○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第38号、議決内容の一部変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

### ○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第38号、議決内容の一部変更について、原案のとおり可決されました。

## 日程第8 ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について

### ○ 議長 喜久里猛

日程第8、議案第39号、ビーチクリーナー整備事業物品購入契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

### ○ 副町長 桃原秀雄

議案第39号、ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について。

ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について、下記のとおり車輛購入契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 ビーチクリーナー整備事業物品購入

2. 契約の方法 指名競争入札

3. 契約の金額 10,318,104円

4. 契約の相手方

沖縄県宜野湾市大山7丁目11番12号

ヤンマー沖縄株式会社

代表取締役 福山研二

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由ですが、ビーチクリーナー整備事業物品購入契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由であります。

なお、次ページには物品売買契約書の写し、ビーチクリーナー整備事業物品購入の共通仕様も添付してあります。今回の入札は3社を指名しまして、ヤンマー沖縄(株)さんが落札いたしました。今回の請負比率は80.29%であります。

ご審議のよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

これの内訳、ビーチクリーナーはいくらなのか。このトラクターとか、内訳をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

全体の設計金額に対しての落札率ですから、結果としてどれがいくらというのは正確には出てきません。設計段階の大まかな金額は出ます。設計金額をトラクターとかビーチクリーナーとか付属品も全部別に見積りを取って、全体の価格に対する入札をかけるので、20%落ちてますので、じゃあどの分をいくら落としますという結果は出てこないんです。トータルで入札しますので。トラクターはいくら、付属品はいくらという入札はやりませんので、ここの本体がありますよね、あとクリーナー部分がありますね、あと付属品、トータルの設計金額に対しての入札をかけるので、入札結果の金額としてはトラクターがいくら、何がいくらという内訳は出てきません。そういう仕組みになっています。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時35分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時37分)

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

あくまでもこれは設計金額でございます。設計金額はそれぞれの業者さんから、トラクターとビーチクリーナー、あとレイキとか、グランドマット、チューナー、付属品も含めて見積もりを取りまして、それぞれの最も低いものをもって設計するというかたちになります。トラクターが600万円、設計金額です。ビーチクリーナーが520万円、スプリングレイキが60万円、グランドマット20万円、併せて1千200万円。これは税別でございます。併せて1千200万円となっております。この設計金額に対しての予定価格を設定して、それに対する入札ですから、個々のものが結果とし

ていくらになったかという数字は出ません。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

10番 饒平名智弘議員。

○ 10番 饒平名智弘議員

管理はどこがやりますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

管理は産業振興課で管理していきます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

8番 島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

契約書で納入期間、今日から9月12日までとなっています。具体的に夏場に間に合わないとは今年あまり意味がないと思うんですが、夏場に間に合わせることはできないですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

夏場に間に合わせればいいと考えていましたが、やっぱり業者さんとの納入期間の調整等をやりますと、やっぱりこの時期にしかできないということで9月の時期を設定しております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

6番 安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

ビーチクリーナー、トラクター1台、スプリングラ、グランドマットとあるんですが、これは注文するときに、知ってる人も知らない人もいると思うんです。クリーナーの形状

的なものとかね。そういうものは写真とかを撮って、こういうものですよという説明ができないものかなということ。

それから、トラクターは牽引車ですから3000cc以上で管理する人が1人いるということでしたけれど、1500cc超えると大型特殊免許が必要だと。そしてグランドマットとかスプリングレイキとか、ビーチクリーナーというのは、これは車輪が付いているということですか。これで牽引されるので750kgを超えることになるので牽引免許が必要になってきますが、そういうところは加味されているのかなという単純な質問ですが、答えられますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ビーチクリーナーの形状としましては、トラクターにロータリーを付けるのと同じような感じで、アタッチメントとして…。

(「そんな説明では分らんよ」の声あり)

トラクターにアタッチメントで付けるようなかたちになります。ちょっとお待ち下さい。写真探します。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時50分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時52分)

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第39号、ビーチクリーナー整

備事業物品購入契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第39号、ビーチクリーナー整備事業物品購入契約について、原案のとおり可決されました。

日程第9 平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書について

○ 議長 喜久里猛

日程第9、報告台2号、平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。  
桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

報告第2号、平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書について。

地方自治法施行令第146条第2項の規定により平成25年度久米島町一般会計予算の繰越明許費にかかる繰越計算書を調整したので別紙のとおり報告する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

次ページに繰越明許費の繰越計算書が添付されております。因みに、今回は16事業で金額にして10億6千865万1千円となっております。ご審議のほどよろしくお願いたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。  
これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

明許繰越、トータルで10億6千800万円余りです。その繰り越しした事業の中でまだ未契約の事業があると思います。どれが未契約で、いつ頃までに契約完了するかお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平田明総務課長。

○ 総務課長 平田明

ただいまの未契約部分についての資料を持ち合わせておりませんので、後ほどその資料については提出したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

10億といったらけっこう大きな金額です。前年度消化できなかった、実施できなかった事業だと思います。ぜひこういった事業につきましては早期に発注して、そうすることによって島の経済の活性化につながりますので、細かいことは後でもいいとしても、これだけの大きな金額ですので、早期に契約完了して、年度内に事業実施できるようにお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから報告第2号、平成25年度久米島町

一般会計繰越明許費繰越計算書についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、報告第2号、平成25年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書については、原案のとおり可決されました。

日程第10 平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

○ 議長 喜久里猛

日程第10、報告第3号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

桃原秀雄副町長。

(桃原秀雄副町長登壇)

○ 副町長 桃原秀雄

報告第3号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について。

地方自治法施行令第146条第2項の規定により平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書を次のとおり報告する。

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

なお、次ページの方に繰越計算書が添付されております。今回は2事業で8千679万3千円となっております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(桃原秀雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから報告第3号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、報告第3号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書については、原案のとおり可決されました。

日程第11 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について

○ 議長 喜久里猛

日程第11、同意第3号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

同意第3号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任について。

下記の者を久米島町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので議会の同意を求め

る。

記

住 所：島尻郡久米島町字比嘉160  
番地－41

氏 名：吉永安克

生年月日：昭和40年4月16日

平成26年6月12日提出

久米島町長 大田治雄

提案理由、久米島町固定資産評価審査委員会委員の吉永安克氏が平成26年6月30日付けで任期満了するので、再び同氏を選任するため、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由であります。

次ページに略歴書を添付しております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時53分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時54分)

この件につきましては、事務局吉永が関係者になりますので、吉永の退席を求めます。

(吉永千枝美退席)

○ 議長 喜久里猛

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第3号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第3号、久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任については、原案のとおり可決されました。

日程第12 教育委員会委員の任命について

○ 議長 喜久里猛

日程第12、同意第4号、教育委員会委員の任命についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

同意第4号、教育委員会委員の任命について。

下記の者を教育委員会委員に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

記

住 所：久米島町字大田484番地の2  
大岳小教員住宅102号

氏 名：吉野剛

生年月日：昭和32年5月9日生

平成26年6月12日

久米島町長 大田治雄

提案理由 教育委員の比嘉隆氏が平成26年7月9日付けで任期満了するので、その後任を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページ以降、本人の略歴書、関係資料を添付しておりますので、ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第4号、教育委員会委員の任命についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひます。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第4号、教育委員会委員の任命については、原案のとおり可決されました。

日程第13 教育委員会委員の任命について

○ 議長 喜久里猛

日程第13、同意第5号、教育委員会委員の任命についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

同意第5号、教育委員会委員の任命について。

下記の者を教育委員会委員に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

記

住 所：久米島町字宇根511番地

氏 名：糸数真由美

生年月日：昭和49年2月12日生

平成26年6月12日

久米島町長 大田治雄

提案理由 教育委員の儀間周倫氏が平成26年7月9日付けで任期満了するので、その後任を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由であります。

次ページに略歴書を添付しております。ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

今提案されております糸数まゆみさんなんですが、現在、久米島町の民生員としても仕事していただいておりますけれども、兼務で

きるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

大田治雄町長。

○ 町長 大田治雄

先だって、その件について問い合わせ確認しましたところ、特に問題はないようでございます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第5号、教育委員会委員の任命についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第5号、教育委員会委員の任命については、原案のとおり可決されました。

#### 日程第14 監査委員の選任について

○ 議長 喜久里猛

日程第14、同意第6号、監査委員の選任について議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄町長。

(大田治雄町長登壇)

○ 町長 大田治雄

同意第6号、監査委員の選任について。

下記の者を教育委員会委員に任命したいので、地方自治法第196条第1項の規定により

議会の同意を求める。

記

住 所：久米島町字謝名堂98番地－3

氏 名：高嶺 悟

生年月日：昭和27年11月5日生

平成26年6月12日

久米島町長 大田治雄

提案理由 監査委員の高嶺悟氏の任期が平成26年6月30日付けで任期満了するので、再び同氏を任命するため、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに略歴書を添付しております。ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第6号、監査委員の選任についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第6号、監査委員の選任については、原案のとおり可決されました。

**日程第15 久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について**

**○ 議長 喜久里猛**

日程第15、選挙第1号、久米島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を議題とします。

法第118条第2項の規定によって、指名推薦にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○ 議長 喜久里猛**

異議なしと認めます。従って、選挙の方法は指名推薦で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○ 議長 喜久里猛**

異議なしと認めます。従って、議長が指名することに決定しました。

選挙管理委員会委員に山城京子氏、伊良皆松一氏、山里晴美氏、山城保雄氏、以上の方を指名します。

お諮りします。

ただいま私が指名した方は、選挙管理委員会委員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○ 議長 喜久里猛**

異議なしと認めます。従って、ただいま指名しました山城京子氏、伊良皆松一氏、山里晴美氏、山城保雄氏、以上の方が当選されました。

次に、選挙管理委員会委員の補充員には次

の方を指名します。

日高清有氏、新城教明氏、比嘉あや子氏、金城睦原氏、以上の方を示します。

お諮りします。

ただいま私が指名した方は、選挙管理委員会委員の補充員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○ 議長 喜久里猛**

異議なしと認めます。従って、ただいま指名しました日高清有氏、新城教明氏、比嘉あや子氏、金城睦原氏、以上の方が選挙管理委員会委員の補充員に当選されました。

次に、補充の順序についてお諮りします。

補充の順序はただいま議長が指名した順序にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○ 議長 喜久里猛**

異議なしと認めます。従って、補充の順序は、第1順位、日高清有氏、第2順位、新城教明氏、第3順位、比嘉あや子氏、第4順位、金城睦原氏に決定しました。

**○ 議長 喜久里猛**

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

6月12日から始まりました平成26年第4回久米島町議会定例会は予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により無事終了することができました。ここに感謝申し上げます。

これにて、平成26年第4回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

(午後2時02分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号4番） 翁 長 学

署名議員（議席番号5番） 宇江原 総 清